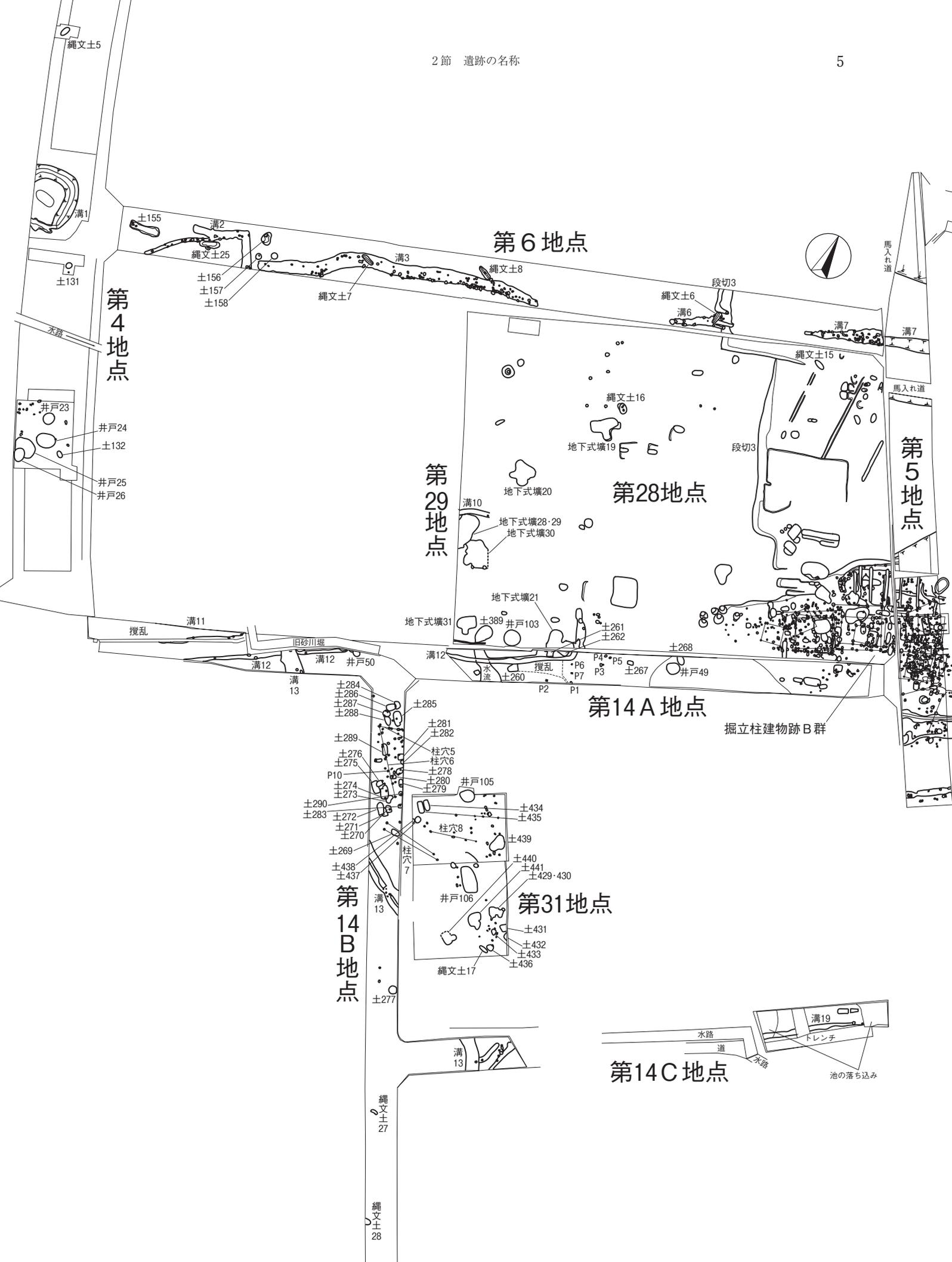


第1図 本村遺跡・大井氏館跡遺跡の範囲と調査地点 (1 / 3000)



第2図 本村遺跡遺構分布図 (1) (1 / 800)

第2章 岩宿時代

6節 層序

砂川が開析した谷にあたる左岸に位置する本村遺跡周辺は、黒色土が厚く、逆にローム層が立川面である。遺跡の土層断面の層序を把握し標準層位を設定することは、発掘調査において欠かせない基本的条件のひとつである。特に遺物の出土層位や遺構の掘り込み面、切り合い関係を検討する際には、特に標準層位との関係において重要といえる。遺跡地は西が高く、東に向かって低くなっており、その比高差は約3mである。

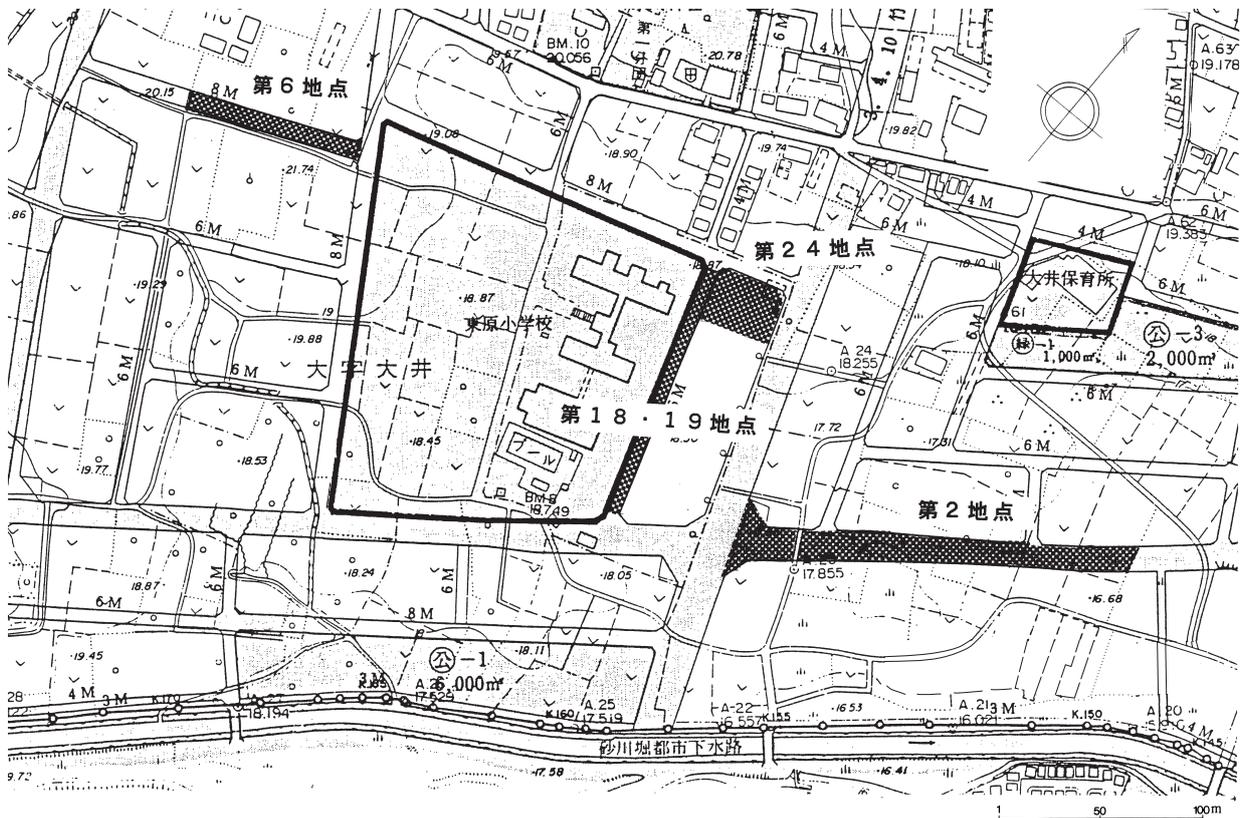
本遺跡は低位台地、旧河川跡、低地と多様な範囲に広がるため、それぞれの地区において基本土層の厚みが異なるところが特に顕著に見られる。よって、標準層位との対比が困難なため、遺物・遺構の属する時代・時期を判断するには、そのまま出土及び出土層位を時間軸として扱うわけにはいかない。

(1) 本村遺跡(旧弁天後遺跡)第2地点(第10図)

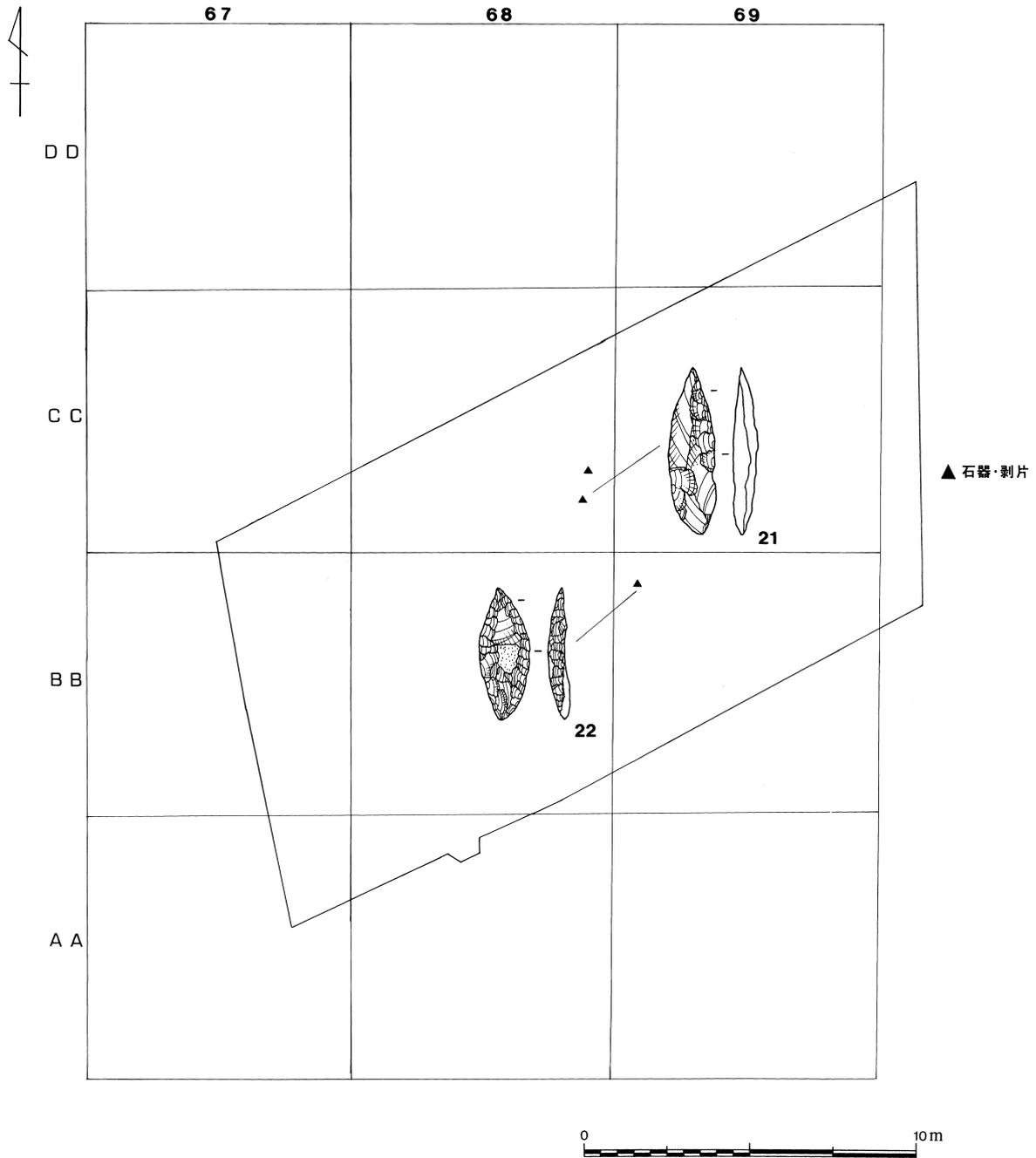
6ヶ所でテストピットを開けた。ここは遺跡全体の南東部で低地にあたり、層序はその地点によって異なっている。特にその堆積土層の発達過程は実に様々で、低位台地故に武蔵野台地の標準的ローム層区分に必ずしも対応できない。

テストピットとして開けた6ヶ所の層序は第11図に示したとおりである。各ピットによって若干相違しているところもあるが、基本土層断面は次のとおりである。

- 1層 表土。黒褐色を呈し、比較的軟質である。
- 1a層 深耕による耕作痕。パサパサしている。
- 2層 黒褐色土層。非常にしまりの強い層。下部にはロームも混在する。
- 3層 明黄褐色土層。ロームと黒褐色土の混土層。第22図21・22のポイントは本層上部より出土。
- 4層 橙褐色ローム層。色調が比較的明るいローム層で粘性をもち、白色粒子が含まれる。



第9図 本村遺跡岩宿時代調査位置図 (1 / 3750)



第13図 本村遺跡第2地点石器群3 (1 / 200)

- 礫群・石器は本層からの出土。
- 5層 明橙褐色ローム層。4層より色調はさらに明るい。
- 6 a層 明淡黄褐色ローム層。粘性にとみべたつく。下部の粘土層の漸移層。
- 6 b層 黄茶褐色ローム層。6 a層よりさらにべたつく。
- 7 a層 白色粘土層。粘性がさらに増す。地点によっては酸化鉄分が認められる。
- 7 b層 7 a層より粘性にとむ。ローム層との混土層。
- 8 a層 灰白色粘土層。地点によっては色調が青灰褐色や黄灰褐色を呈する。
- 8 b層 8 a層より粘性にとむ。ローム層との混土層。
- 9層 灰褐色粘土層。
- 10層 茶褐色砂礫層。礫の大きさは最大でも3~4 cmで、1~2 cmが大半。
- (2) 本村遺跡 (旧東原遺跡) 第6地点 (第16図)
遺跡の北西部に位置し、遺跡内でももっとも標高が高い。一般に武蔵野台地における立川ローム層以上の標準層位は、I~XI層に区分され、それ以深を武蔵野ローム層とされている場合が多い。6地点では台地



第14図 本村遺跡第2地点石器群1 石材別分布図 (1 / 30)

平坦部での立川ローム層が観察できた。

Ⅲ層：いわゆるソフトローム層である。暗黄褐色軟質ローム層。

Ⅳ層以深がハードローム。

Ⅳ層：黄褐色硬質ローム層で、この層以下、硬質化する。

Ⅴ層：暗褐色ローム層。立川ローム層第Ⅰ黒色帯にあたる。本層下部より粘土化が著しくなる。

Ⅵ層：黄褐色ローム層。いわゆるAT(始良丹沢パミス)に対比される層で、BC21,000年前。

Ⅶ層：暗褐色ローム層。立川ローム層第Ⅱ黒色帯上部にあたる。

Ⅸ層：暗褐色ローム層。立川ローム層第Ⅱ黒色帯下部にあたる。Ⅴ・Ⅶ層と共に埋没腐植土といわれる。黒色帯(ブラックバンド)として層序対比

に役立っている。町内最古の遺物は本層上部より出土している。

X層：明褐色ローム層。埼玉県内で最古の遺跡はこの層からの出土である。

XI層：黄白色ローム層。立川ローム層下部に相当する。

(3) 本村遺跡第19・24地点(第45図)

遺跡のほぼ中央に位置し、埋没河川2ヶ所と低位台地の土層の観察をおこなった。埋没河川の河床面までの深度は約220cmで、埋土は8層に分層できる。かたく締めり粘性が強い。土説は第45図に記載した。発掘調査が終了するころまではテストピットの埋没土内にはスギナがびっしりと繁茂していた。

本村遺跡は1987年9月に調査を開始するまでは、

あたり一面に広々とした畑がひろがる土地で、縄文時代を主体とする遺跡とは異なり表面採集できる遺物も皆無に近かった。えてして、岩宿時代調査のきっかけは深耕等による攪乱によって礫群の一部が地表面に露出する状態であったりするが、本遺跡の場合は違った。

せいぜい平坦な地形の中でわずかな起伏や埋没谷を地形図で探したりする程度だけで、調査にあたっては皆目予測がつかなかったというのが率直な思いであった。岩宿時代の調査は、中世の遺構・遺物の分布の少ない区域で、2×2mの正方形の試掘坑を設定し、深さ1mを目安に試掘を実施した。また、遺構の壁面から赤化した礫群の出土によって確認したケースもある。

本書で報告する岩宿時代の遺構は、石器集中と呼ぶほどの出土点数でもなく、かつ調査区域も道路築造に伴うというごく狭い限られた面積であるので、本書では石器が複数以上出土した遺構を石器群と呼ぶ。ちょうど礫のまとまりを礫群と呼ぶのと同様の意である。

本村遺跡からはこの石器群が5箇所、礫群7箇所である。

7節 石器群

5箇所の石器群は大きく2箇所に分布している。遺跡の南側の砂川に沿うように分布するグループaと北側を画す埋没河川に沿うグループbに分けられる。

石器群1～3特に1・2は近接しており、これをグループa。埋没河川の舌状に張り出した部分で石器群4・5が位置し、これをグループb。また、それぞれのグループは、礫群の分布と重複している。石器群3を除く石器群・礫群は、いずれもハードローム層中で確認された。石器群3が武蔵野台地Ⅲ層、他は武蔵野台地Ⅳ上層に属する。以下、各石器群について述べる。石器群1と2は2ブロックに分けて報告するが厳密に分離したものではない。同一の可能性があるが、散漫な拡がりの中でもまとまりがみられるものを便宜的に分けた。

1)、石器群1

出土状態（第12・14図）グループaに属す。

V-56グリッドで低地部に位置する。東西4.5m、南北1.5mの帯状に比較的まとまって11点の石器が

第7表 石器群器種組成表

	尖頭器	ナイフ	削器	台石	石核	剥片	碎片	合計
石器群1		2			1	7	1	11
石器群2		1	1		1	5	1	9
石器群3	2					1		3
石器群4				1		18	1	20
石器群5		1				13		14
合計	2	4	1	1	2	44	3	57

第8表 石器群石材組成表

	黒曜石	チャート	頁岩	ホルンフェルス	凝灰岩	砂岩	合計
石器群1	11						11
石器群2	7	1				1	9
石器群3	1	2					3
石器群4	1	2	13	2	1	1	20
石器群5	11		1		2		14
合計	31	5	14	2	3	2	57

出土した。確認した標高は、16.43～16.58mである。出土した層は第4層の粘性の強い橙褐色ローム中である。器種は、ナイフ形石器2点、石核1点、剥片7点、碎片1点。石材はすべて黒曜石である。

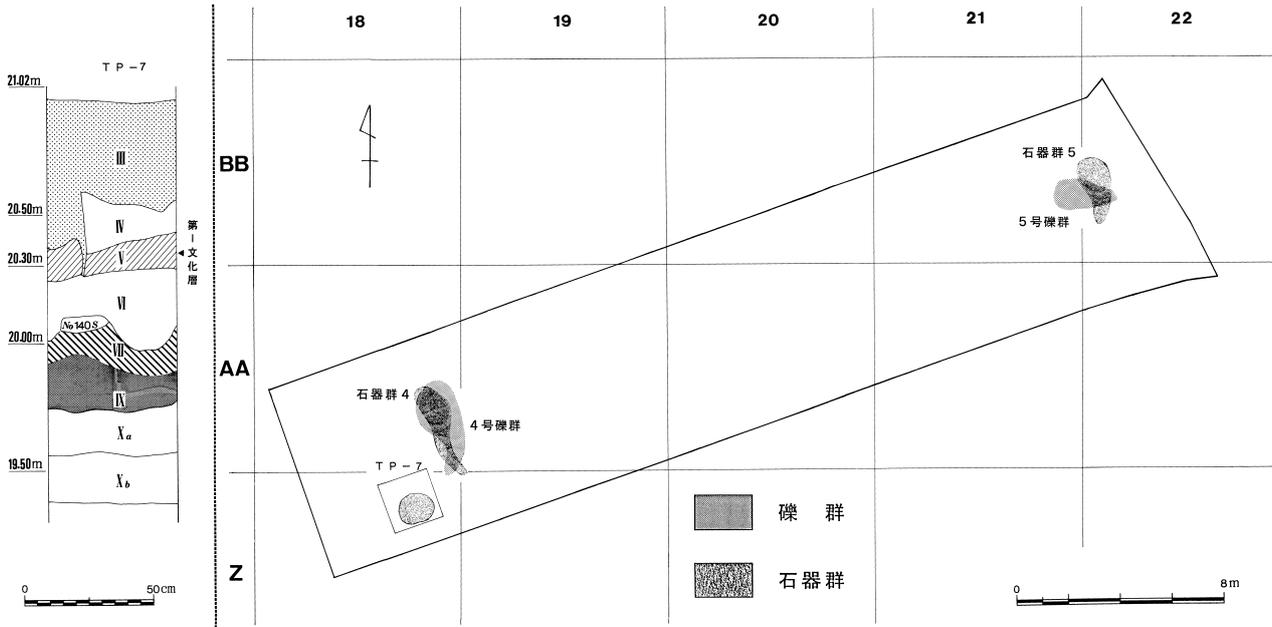
2)、石器群2

出土状態（第12・15図）グループaに属す。

U-56グリッドに位置する。南北2m、東西6mの範囲に散漫に9点が出土した。標高は16.39～16.46mで出土層位は石器群1と同じである。器種はナイフ形石器1点、挟入石器1点、石核1点、剥片5点、碎片1点で石材は安山岩の石核以外は黒曜石である。

これらの一群より5m西側からチャートの剥片1点が出土している。区域外で石器群2よりさらに南側については調査されていないが、一群が延長されているものと想定されよう。

グループaとして見た場合、遺物総数は20点と少ない。器種の内訳はナイフ形石器3点、石核2点、剥片12点、碎片2点で点数の割にナイフ形石器が多いが、ほとんどが破損品である。石器石材は、黒曜石が全体の95%を占め、後は安山岩とチャート1点づつである。遺物の垂直分布は、低地部でも平坦地からの出土のためほぼ均一である。



第16図 本村遺跡第6地点石器群礫群分布図 (1 / 300)・層序 (1 / 30)

3)、石器群3

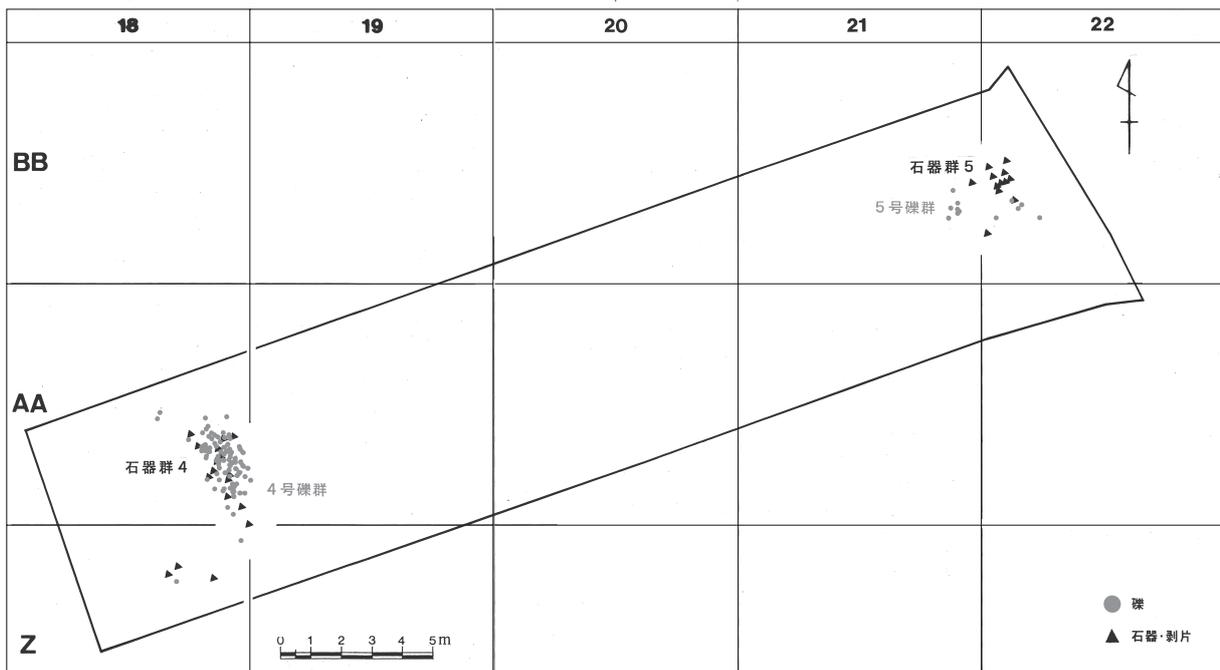
出土状態 (第13図)

BB - 69・CC - 68グリッドに位置する。グループ a から北東に約 110 m 離れている。遺物の分布は 4 m の帯状の範囲内に三点が出土したのみである。内容も尖頭器 2 点、剥片 1 点である。石材はチャート 2 点と黒曜石である。標高 15.34 ~ 15.36 m で出土層位は第 3 層で、ローム層と黒褐色土の混土層の上層からである。縄文時代草創期の可能性もある。

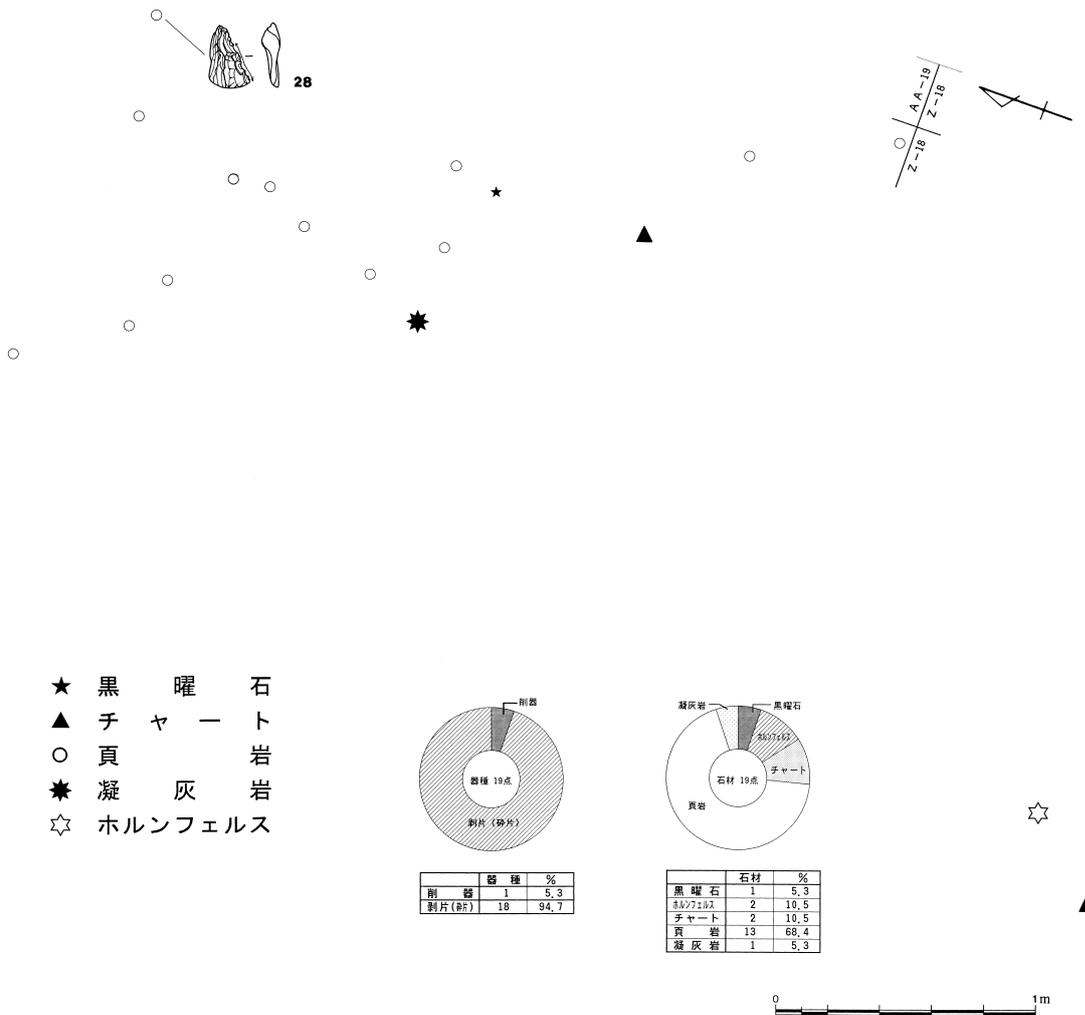
4)、石器群4

出土状態 (第17図) グループ b に属す。

Z・AA - 18グリッドに位置する。遺物の分布は南北 5 m、東西 2.5 m の範囲で、上に一つのまとまりが見られるが、散漫である。出土総数は 20 点で、その内訳は、台石 1 点、剥片 18 点、碎片 1 点と貧弱である。石材は、頁岩 13 点、チャート 2 点、ホルンフェルス 2 点、黒曜石と凝灰岩・砂岩が各 1 点ずつである。標高は 20.40 ~ 20.57 m で出土層位は第 IV 上層であるが、39 のみ第 VI 層からの出土である。



第17図 本村遺跡第6地点石器群4・5、4・5号礫群分布図 (1 / 250)



第18図 本村遺跡第6地点石器群4 石材別分布図 (1 / 30)

5)、石器群5

出土状態 (第17図) グループbに属す。

BB - 22 グリッドに位置する。石器群4とは北東方向に2.7 m離れている。南北2.5 m、東西1.5 mの小範囲の中に13点出土した。器種はナイフ形石器1点、台形様石器1点、剥片3点、碎片8点である。石材は剥片・碎片の11点は黒曜石で、頁岩1点、凝灰岩1点である。標高は19.64 ~ 19.86 mで第IV上層に位置する。

グループbとして見た場合、遺物総数は32点である。器種の内訳は削器1点、台形様石器1点、剥片20点、碎片9点で、大半が剥・碎片である。石器石材は、頁岩の43%、黒曜石の37%で全体の8割をこえ、他にチャート、ホルンフェルス、凝灰岩が各2点である。石器群4は主に頁岩、石器群5は主に黒曜石で構成されている。遺物の垂直分布は、地形にあわせて全

体に西側から東側に緩やかに谷に向かって傾斜している。現地表面での比高差で約0.5 mに対して石器群4の出土標高は20.4 ~ 20.5 m代、石器群5の出土標高は19.6 ~ 19.7 m代でその差0.8 mである。

(坪田幹男)

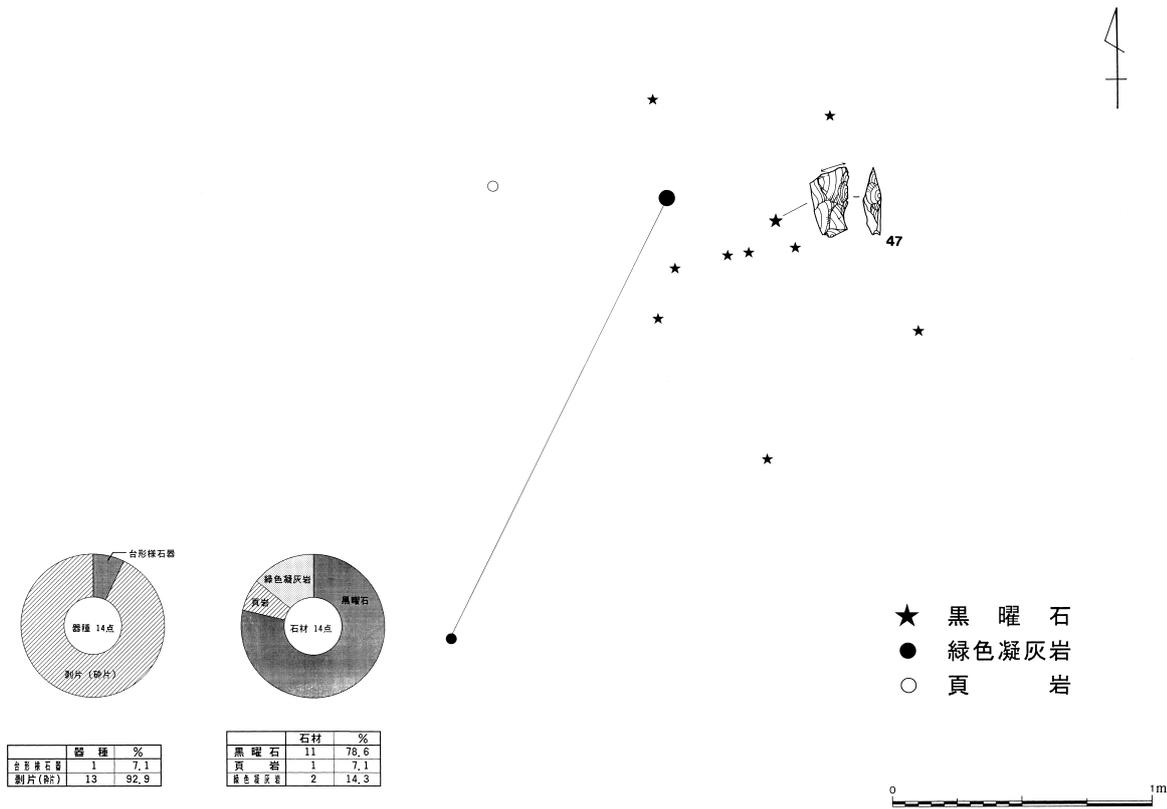
8節 出土石器

本村遺跡2地点

石器群1 (第20図)

1. ナイフ形石器

縦長の不定形剥片を素材とする片縁調整のナイフ形石器。石材は気泡の入る半透明の黒曜石。打面は調整が多く残る。打点は割れ円錐で中央に位置する。整形は右側縁に行なっている。先端部付近で深く、基部に向かうにつれ浅い急斜度調整で歯潰しがなされている。基部付近に調整はなく、石核調整により生じた剥離が見られる。左側縁下部には連続する微細な剥離が



第 19 図 本村遺跡第 6 地点石器群 5 石材別分布図 (1 / 30)

見られる。

2. 搔器・削器

縦長の不定形剥片を素材とするいわゆるサイドスクレーパー。石材は気泡の多い半透明の黒曜石。打面は平坦、打点は中央に位置する。下部は裏面右隅に力が加わり欠損している。整形は右側縁の一部にのみ行われている。大きな急斜度調整を 4 回行い刃部を形成している。最大傾斜度は 63 度で、刃部には細かい剥離も見られる。加工の状況からみてナイフ形石器の未製品とも考えられる。

3～9. 剥片

すんずまりの縦長剥片が主体となる。石材はすべて気泡の多い半透明の黒曜石。4・5には一部、側縁に微細な剥離が見られる。6の右側縁に見られる剥離は二次加工ではなく、先行する剥離または石核調整の段階で行われた剥離の面である。

10. 石核

石材は気泡の多い半透明の黒曜石。作業面は 2 面見られる。まず図面の上面を打面とし裏面左隅から剥離を行っている。石器の下部が切断されている。切断面には割れ円錐が残っている。次に表面を打面とし、裏

面右隅に最後の剥離が行われている。

11. 碎片

石材は気泡の多い半透明の黒曜石。

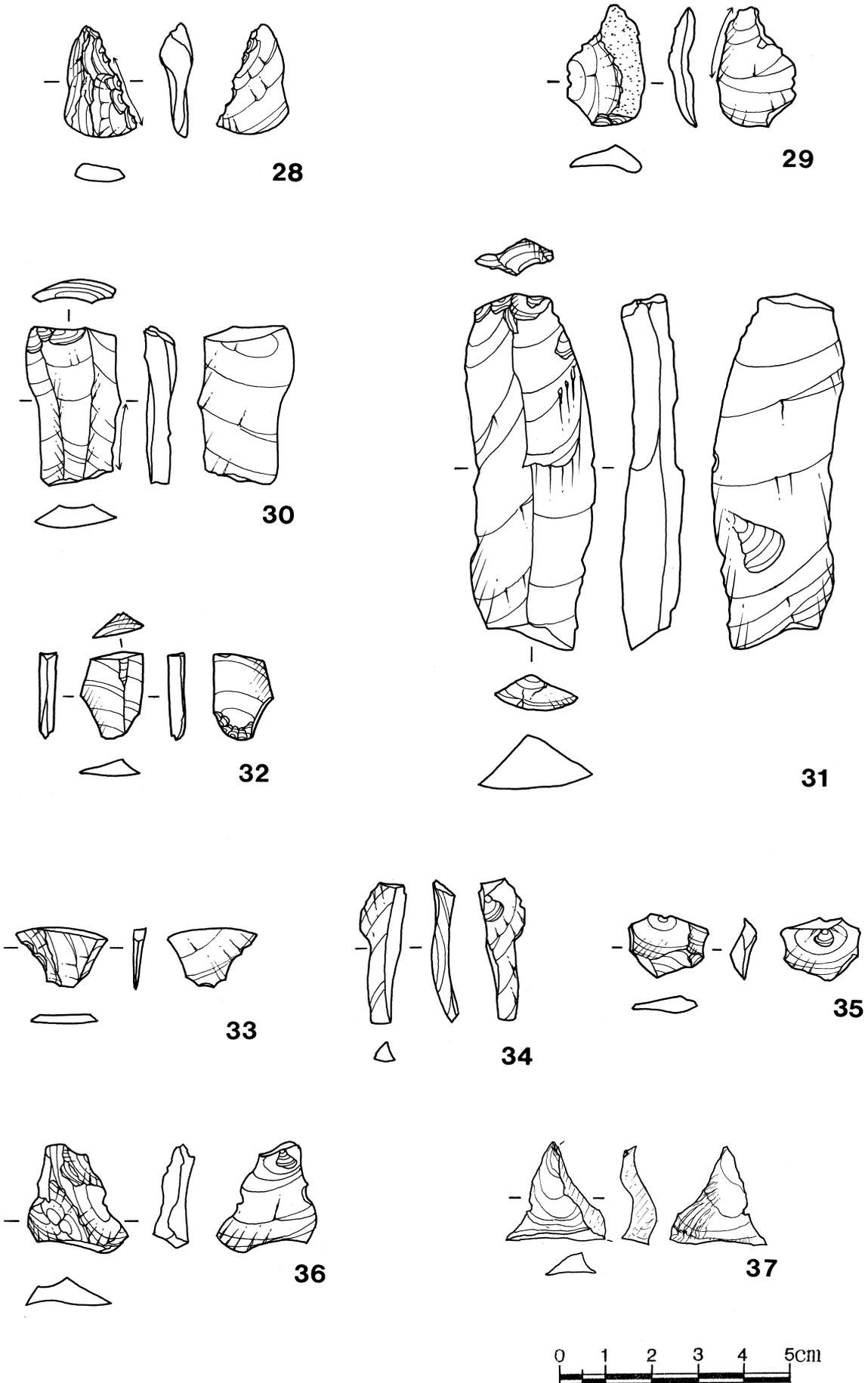
石器群 2 (第 21 図)

12. ナイフ形石器

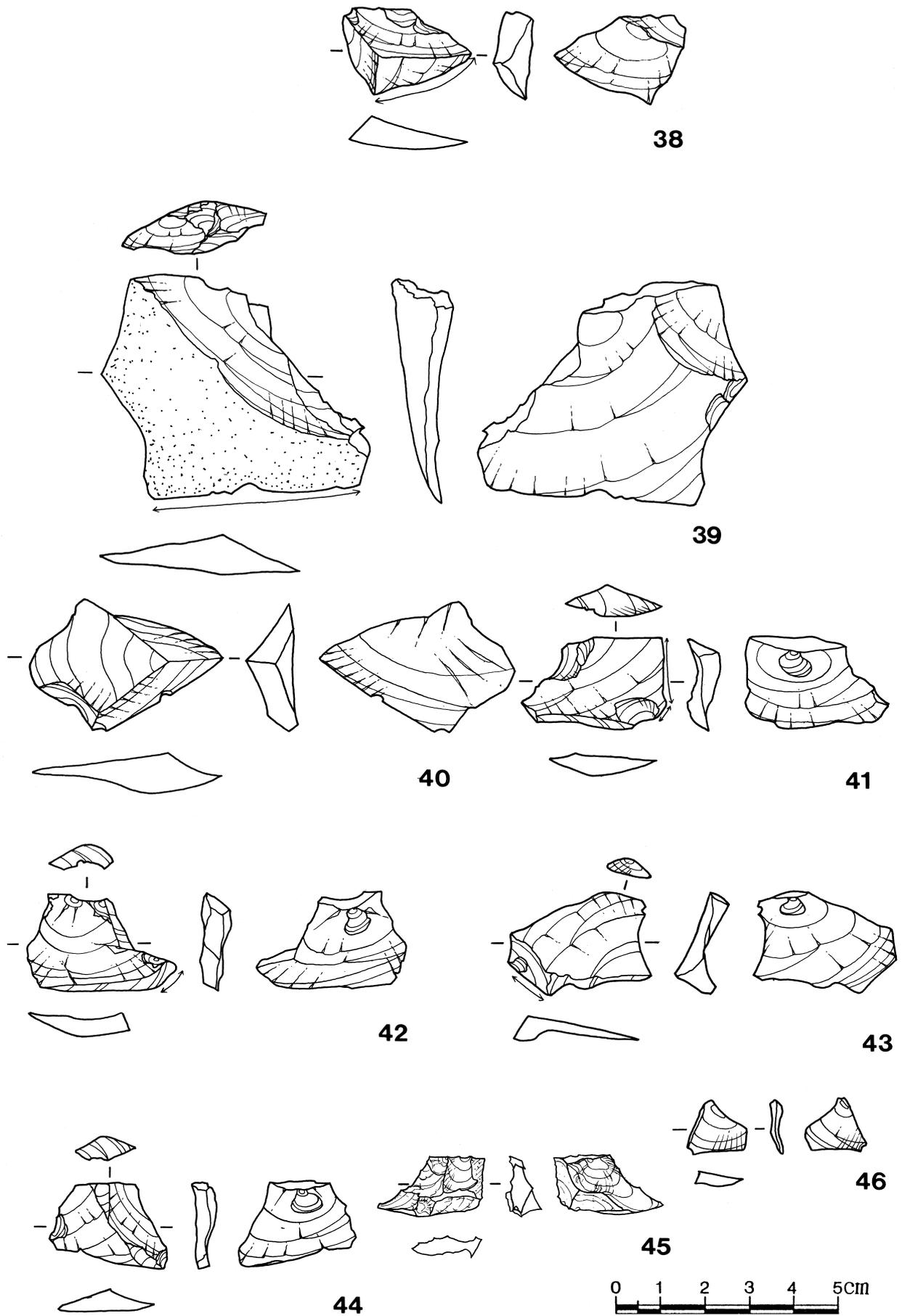
厚手の縦長剥片を素材とする片縁調整のナイフ形石器。石材は不純物が多い半透明な黒曜石。打点・打面は器の先端部に位置するが、欠損のため残っていない。整形は右側縁に行なっている。大きな急斜度調整によって鋸歯状に仕上げている。先端部は整形面に力が加わり欠損している。断面形や加工の状況から角錐状石器とも考えられるが、いずれにしても未製品と思われる。

13～14. 二次加工のある剥片

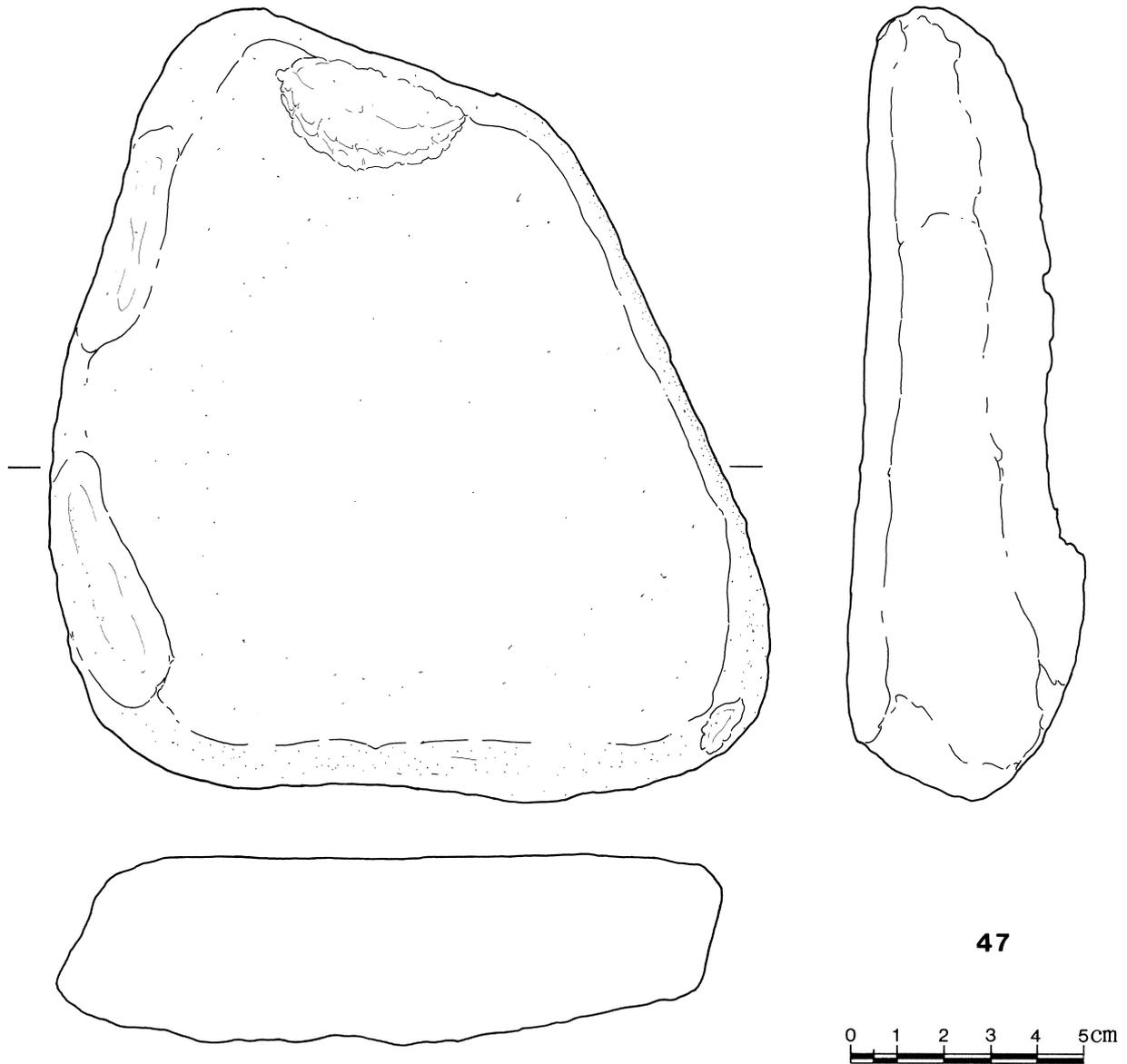
13. 縦長の不定形剥片を素材とする。石材は気泡の多い半透明の黒曜石。加工は基部に 1 回、平行調整を行っている。その他表面に見られる剥離は全て先行剥離によるものである。14. 縦長剥片を素材とする。石材は不純物のない透明な黒曜石。加工は左側縁に 2 回、急斜度調整を行っている。右側縁、基部には加工



第23図 石器群4 出土石器4 (4 / 5)



第24図 石器群4 出土石器5 (4 / 5)



第25図 石器群4 出土石器6 (2 / 3)

痕はないが、右側縁ではネガティブな切断面が見られる。左側縁には連続する微細な剥離が見られる。形状また微細な剥離痕の位置から考え、ナイフ形石器として使用されたとも考えられる。

15～16. 20. 剥片

15は石刃状剥片。石材は縞の入る半透明の黒曜石。下部は折り取られているようである。加工痕、微細な剥離は見られない。16. 横長剥片。石材は縞の入る半透明の黒曜石。加工痕、微細な剥離は見られない。20. 石刃状剥片。石材は水色のチャート。加工痕はない。左側縁には連続する微細な剥離が見られる。下部は摺理面で折れている。

17. 石核

礫石核。石材は風化により灰褐色化した安山岩。打

面は平坦に加工してある。作業面は4面見られる。まず中央に打撃を加えて横長剥片をはぎ取っている。次に左右に展開。左には2面、左隅から始め、縦長の不定形剥片をはぎ取っている。右には1面、右隅を叩き、横長剥片をはぎ取っている。この後右隅の剥離面を打面とし、右側縁に剥離が行われている。

18. 抉入石器

横長の不定形剥片を素材とする。石材は縞の入る半透明の黒曜石。図指した表裏は実際逆で、主要剥離面は図で表面としたほうである。加工は実際の表面から打点を中心に左右に2か所行っている。

19. 碎片

石材は縞の入る半透明の黒曜石。

石器群3 (第22図)

21～22. 尖頭器

21. 縦長剥片を素材とする周縁調整の尖頭器。石材は紺色の塊の混ざるチャート。打点は基部方向。調整は両側縁に行なわれている。右側縁では表面、左側縁では裏面に浅い平行調整を行なっている。基部付近ではほぼ左右対称の位置に、右側縁は裏面に抉り加工が見られ、左側縁には表面に大きな剥離が行なわれている。基部では器幅に合わせて平行調整を行なっている。

22. 縦長剥片を素材とする周縁調整の尖頭器。石材は不純物のない透明な黒曜石。打点は基部方向。整形は表裏両面に周縁加工を行なっている。表面はまず右側縁から加工が始められ、先端部から基部の後にもう一度中央部のみ再調整を行なっている。左側縁では基部から順に中央・基部へと進めている。裏面は逆に左側から始まり、右側へと移行している。調整はナイフ形石器に近く、横断面形は平坦な台形に近い。

23. 剥片

縦長剥片。石材は灰黒色のチャート。加工痕、微細な剥離はない。ところどころ摺理があり、先行剥離、主剥離の方向が変わっている。

その他の出土石器

24. ナイフ形石器

厚手の縦長剥片を素材とする。石材は非常に細かな気泡の入る半透明の黒曜石。打面は自然面を利用、打点は中央よりやや右に残る。整形は右側縁から左側縁の一部にかけて行っている。右側縁では先端部から基部に向かって大きな急斜度調整の後に、細かな調整を行っている。基部は先行剥離面に細かな調整をし、左側縁側で大きな剥離を一度行っている。右側縁の刃部に見られる剥離は新鮮であり、発掘調査作業時にできたと考えられる。

25～27. 剥片

25はすんずまりの剥片。石材は気泡の多い黒曜石。両側縁と下部の一部に微細な剥離が見られる。

26は縦長剥片。石材はチャート。下部は欠損している。左側縁は自然面。右側縁の一部に微細な剥離が見られる。

27は縦長剥片。石材は摺理の多いチャート。裏面

ほぼ全周に表面からの加工が見られる。

本村遺跡6地点

石器群4 (第23図)

28～45. 剥片

28から37までが縦長の剥片、38から46までが横長の剥片。石材は28～29、34～37、40～45は風化により灰色化した頁岩。同一母岩である。

28は右側縁に裏面からの急斜度調整を行っている。28～29、41～43には微細な剥離が見られる。30、31は石刃。石材は、30は風化で褐色化しているホルンフェルス。下部は裏面右からの力により切断されている。右側縁には表面に微細な剥離がある。31はチャート。下部は表面中央の稜に力を加えて切断されている。裏面右側縁に微細な剥離が見られる。32は黒曜石。打面・打点は加工により欠損、下部は裏面左隅に力が加わり切断されている。33はチャート。左側縁に抉りといったような加工が見られる。

38は灰褐色の凝灰岩。下部全体に微細な剥離がある。39は風化で灰褐色化しているホルンフェルス。38に同じく下部に微細な剥離がある。

47. 台石

石材は風化により褐色化した砂岩。図面上部の剥離は加工なのか不明。裏面は破碎を受けている。側面は4面とも平坦だが調整によるものではない。

石器群5 (第26図)

48. ナイフ形石器

いわゆる台形様石器。石材は不純物が入る漆黒の黒曜石。整形は右側縁の上部にのみ行なっている。大きな急斜度調整を1回行なった後、細かな調整を施している。裏面の剥離は加工ではない。切断は右側縁下部、左側縁から見て裏面からの折り取りによると考えられる。刃部には微細な剥離は見られない。

49～53. 剥片

50. 53は縦長の剥片。49、51～52は横長の剥片。50. 53は夾雑物が入る不透明の黒曜石。

50は下部に加工が見られる。53は表裏とも凹面である。右側縁に微細な剥離が見られる。49は緑色凝灰岩。上部に裏面からの大きな加工があり、碎片と

接合する。下部には小さな鋸歯状の加工がある。左側縁上部は摺理面で折れ、欠損している。51は黒色の硬質頁岩。右側縁に表からの抉り加工が3か所見られる。上部から始められ、特に大きな加工部は2回の加工が行われている。52は夾雑物の多い、不透明の黒曜石。加工痕は見られない。

その他本村遺跡出土の石器（第26図）

54. 剥片

横長剥片。石材は夾雑物、黒色の縞の入る透明の黒曜石。打面部は左側縁に位置し、裏面からの打撃で除去されている。加工は右側縁に顕著に見られる。上部は表裏共に3回、平行調整が行われている。中央部では対向調整が見られ、下部に向かうにつれ表面からの鋸歯状の調整へと変化し、下部に至ると、再び平行調整が行われている。左側縁の上部には非常に細かい剥離が見られる。剥離の状況から考えて、尖頭器の製作途中ではないかと思われる。

55. 剥片

縦長剥片。石材は摺理の少ないチャート。打面部と下部の一部は裏面左隅に打撃を加えて除去している。加工は左側縁に数箇所、裏面からの急斜度調整が行われている。また上部には微細な剥離が見られる。

56. 剥片

縦長の剥片。石材は黒色の斑の入る極めて透明な黒曜石。打面は平坦、打点は割れ円錐で、裏面左に位置する。右側縁に細かな加工痕が見られる。表面中央の稜に見られる剥離は、剥離面が新鮮であり、発掘調査中についたと思われる。

57. 剥片

縦長の不定形剥片。石材は黒色の斑の入る極めて透明な黒曜石。打面は自然面を利用、打点は割れ円錐で、右端に位置する。加工は左側縁の下部に2か所行なわれている。上部には連続する微細な剥離が見られる。

58. 剥片

縦長の剥片と思われる。石材は夾雑物が入る不透明な黒曜石。右側縁は裏面左隅に力が加わり、切断または欠損している。加工は左側縁の上部に大きな調整を行なっている。調整面のリングが折れにより切られているため加工の後に折れたと考えられる。また裏面に

は微細な剥離が見られる。

59. 剥片

板状の縦に長い剥片。石材は摺理の入る半透明の黒曜石。打点・打面は切断により欠損している。切断は表面左隅に打撃が加えられて行なわれている。表面には剥離が行なわれた痕跡がある。

60. 碎片

石材は黒色の縞の入る透明度の高い黒曜石。

61. 碎片

石材はチャート。

62. 尖頭器

縦長剥片を素材とする周縁調整の尖頭器。石材は気泡の多い透明な黒曜石。打面・打点は基部方向、加工により見られない。整形は右側縁では比較的浅い平行調整を行なっている。裏面は連続的な加工は行なっていない。左側縁は表面では深めの加工を行ない、裏面では大きな加工も見られる。先端部は表面中央に力が加わり折れている。

63. 剥片

すんずまりの石刃状剥片。打面は平坦、同方向からの加工による複打面。石材は風化で灰褐色化した硬質頁岩。加工痕はない。両側縁裏面に微細な剥離が見られる。

64. 剥片

打面再生剥片。石材はチャート。石核としての打面は平坦、打面調整はなされていない。作業面には右に2、左に1の計3回の剥離が行なわれている。両側面は自然面を残す。裏面は側縁を形成している。剥片自体の剥離は図の右側面を打面としている。打点付近には微細な剥離も見られる。

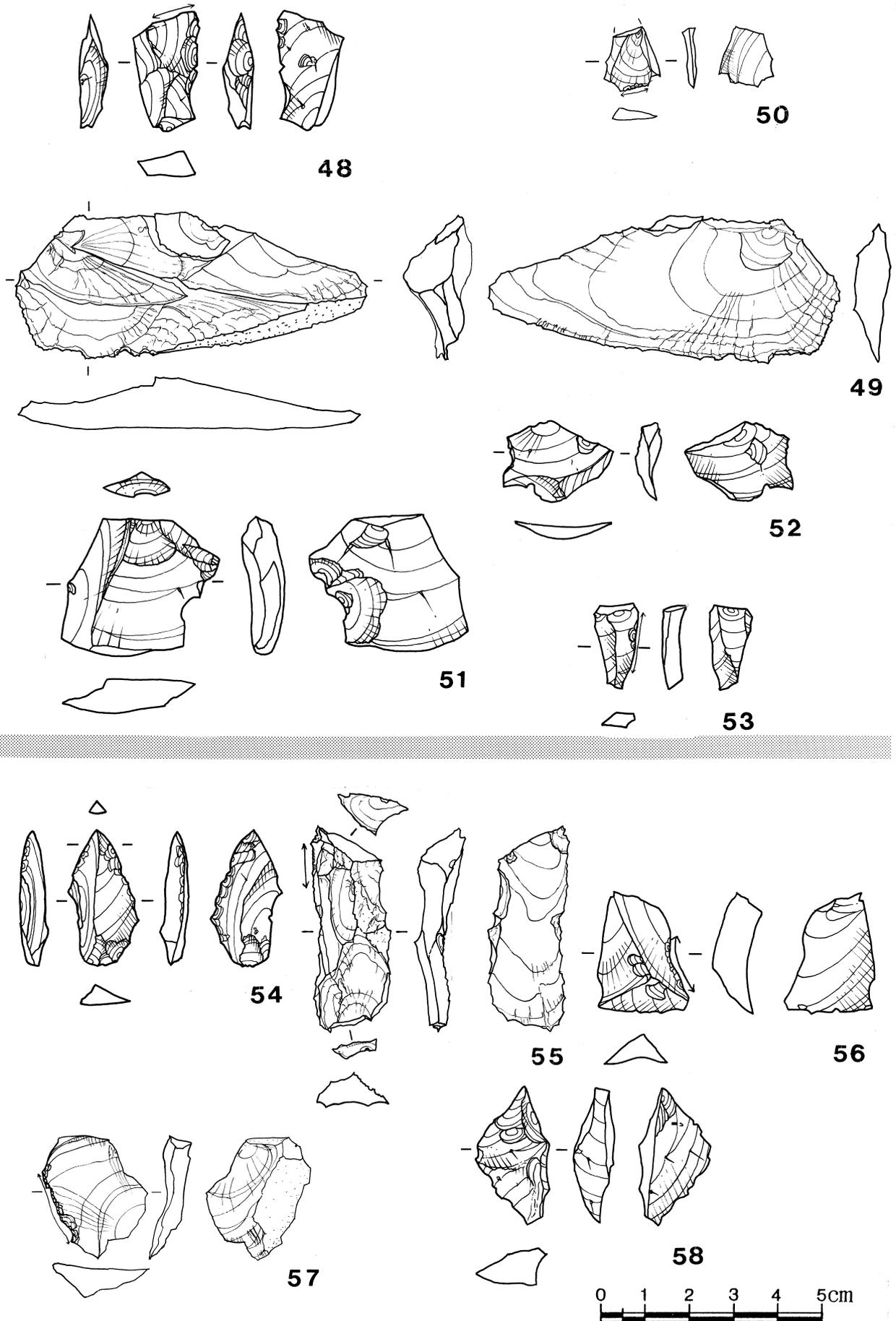
65. 剥片

厚手の縦長の剥片。石材は風化により灰褐色化した頁岩。色調、質感から石器群4の頁岩と同一母岩であると思われる。加工痕はない。打面部は欠損している。

66. 石核

礫石核。石材は赤褐色の珪質頁岩。表裏両面に自然面が残っているため、板状の母岩を用いているようである。作業面は表に6面、裏に5面。表面の剥離面にはバルブはあまり残っていないのに対し裏面にはすべて残っていることから、表の作業終了後、その剥離面

石器群5



第26図 石器群5・その他の出土石器7 (4 / 5)

を打面に利用し、裏面の剥離を行なっているようである。最後の剥離は図の裏面右下隅。概して幅広の剥片を剥ぎ取っている。

67. 錐

縦長の不定形剥片と思われる。石材は夾雑物の多い半透明な黒曜石。打面・打点は欠損している。整形は表裏に1回ずつ行なっている。表面は裏面からの抉り加工で左を、裏面は表面からの急斜度調整によって右を加工し刃部を作りだしている。

68. 剥片

石刃状剥片。石材はチャート。加工痕はない。打面は平坦。下部は裏面から折り取っている。

69. 剥片

縦長剥片。石材はチャート。打面は自然面を利用、打点は剥離され明確ではないが、打面の状況から中央に位置すると思われる。摂理面の影響でリングは一定ではない。加工は両側縁に行なわれている。左側縁では連続する浅い平行剥離が行なわれているが、以外では散発的である。右側縁には切断を行なったと思われる加工も見られる。

70. 石核

石材はチャート。打面は複打面。図の打面部、上下には打面調整が見られる。右側では上下にネガティブバルブが残る。器の打面には同じような剥離が見られるため状況から見て、一連の打面再生作業の剥離と思われる。作業面は表裏2面に行なわれている。縦長剥片の剥離を行なった後に、正面に横長剥片の剥離を行なっている。両側面は左は表面から、右は裏面から石核調整を行なっている。

71. 剥片

すんずまりの剥片。先行剥離面から見て、同様の剥片を剥ぎとっていたようである。石材は乳白色の縞の入る透明度の低い黒曜石。打面は平坦、加工痕はない。右側縁と下部には連続する微細な剥離が見られる。

72. 剥片

横長剥片。石材はチャート。打面は自然面を利用、打点は割れ円錐で中央に位置する。加工は裏面の下部左に連続で行なわれている。下部右の剥離は全体に比し新しく、当該期の加工ではないと思われる。また打面の側縁には表面からの抉り加工が行なわれている。

73. 石核

礫石核。石材はチャート。打面は自然面を利用。作業面は正面のみ。右から始めて中央、左端と計3回の剥離が行なわれている。両側面は、右は打面から、左は作業面から石核整形のための剥離が行なわれている。下面は左から調整がなされている。裏面は摂理面を残す。

74. 剥片

横長の不定形剥片。石材は夾雑物の入る不透明な黒曜石。打面は残っておらず、打点は割れ円錐で残っている。加工痕はない。

75. 剥片

不定形剥片。石材は安山岩。加工痕はない。全周が凹面で形成され打点も見られないため、剥片剥離作業時の意図としない剥片ではないかと思われる。

76. 剥片

縦長の不定形剥片。石材は夾雑物の入る半透明の黒曜石。剥離面以外には自然面が残っている。打面も自然面を利用、打点は裏面右隅に位置する。

77. 剥片

不定形剥片。石材は黒色のチャート。下部に加工が行なわれている。

78. 剥片

横長の不定形剥片。石材は灰褐色の頁岩。打面部、右側縁は欠損している。

79. 剥片

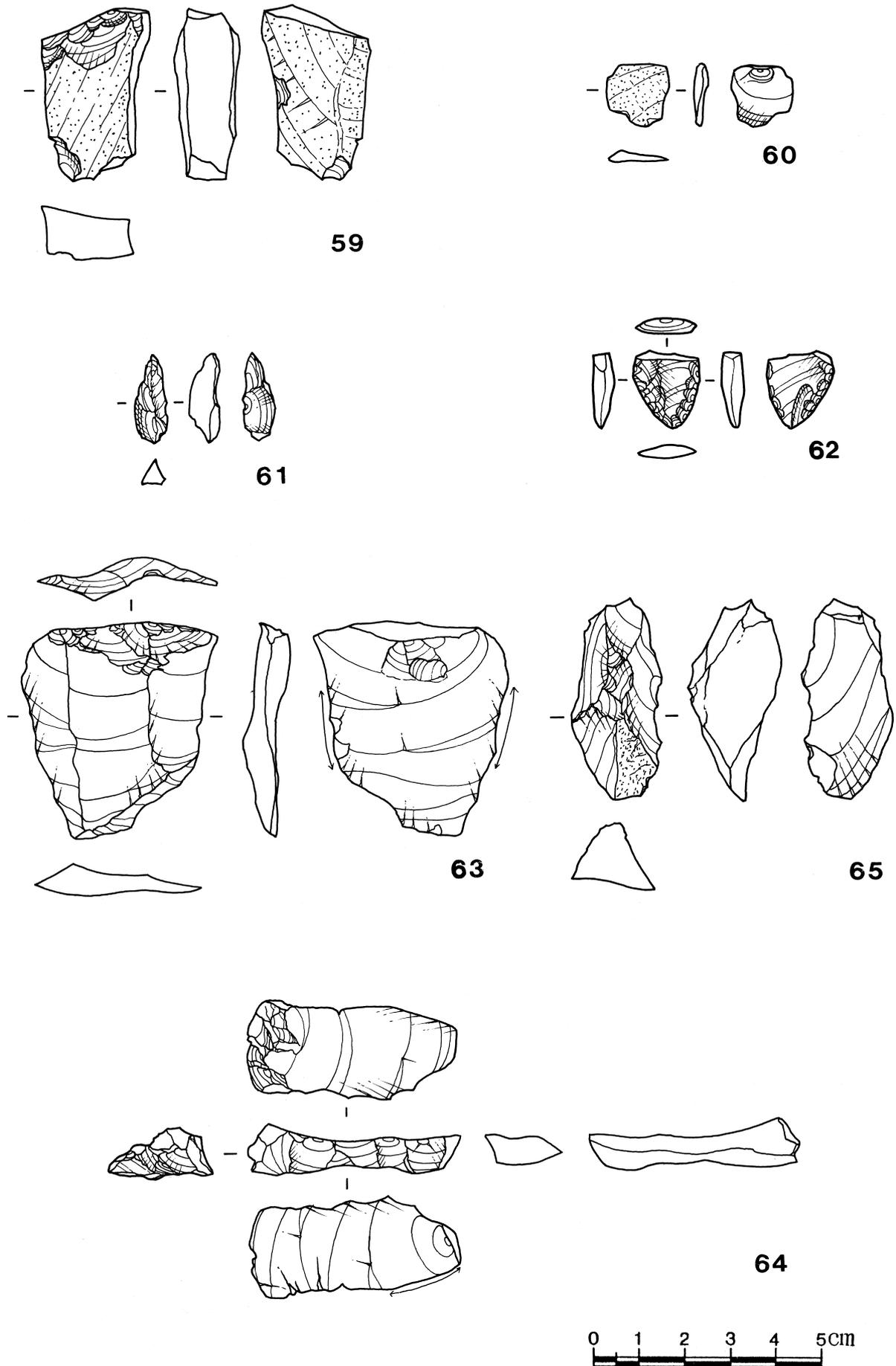
縦長剥片。石材は気泡の入る透明な黒曜石。打面は小さく、平坦。打点は割れ円錐である。加工面は新鮮で、ひっかいてできたような連続する剥離であるため、発掘調査時にできたものと思われる。

80. 剥片

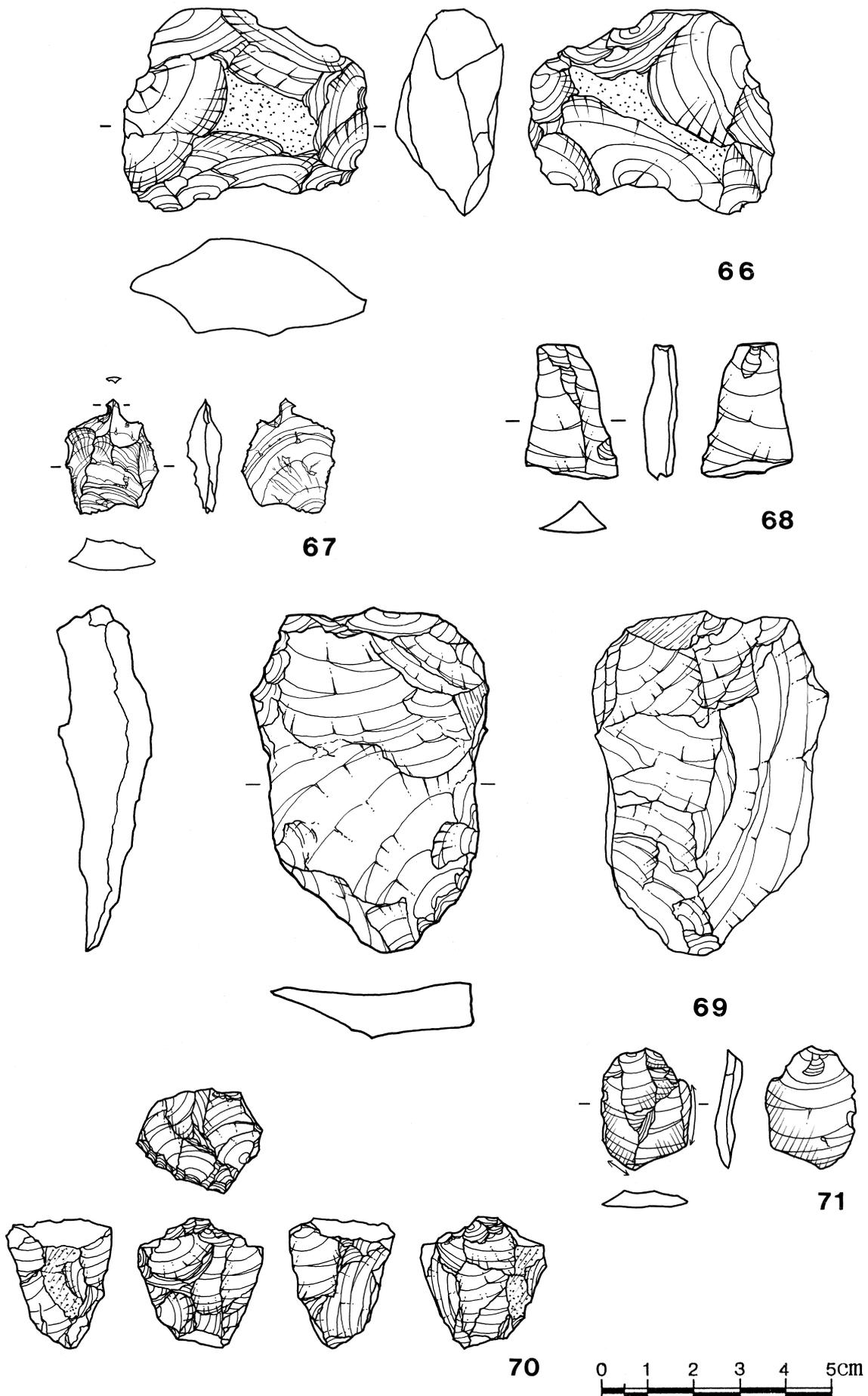
横長剥片。石材は摂理の多い、チャート。打面は平坦、打点は中央に位置する。加工痕、微細な剥離は見られない。

81. 角錐状石器

石刃状剥片。石材は灰褐色の凝灰岩。打面はなく、打点は割れ円錐で中央に位置する。調整は、右側縁では基部付近に自然面を残し、先端部付近では大きな急斜度調整を行なっている。左側縁では大きな急斜度調整を行なっている。先端部は細かな調整を行なっている。



第27図 石器群5・その他の出土石器8 (4 / 5)



第28図 石器群5・その他の出土石器9 (4 / 5)

9節 礫群

この時代の遺構は計7カ所あり、2地点で3カ所（1～3号礫群）、6地点で2カ所（4・5号礫群）、18地点（6号礫群）・24地点（7号礫群）の各1カ所の礫群である。特に2地点のは部分的に礫群を形成しているが、調査の時点ではまとまりを把握できなかったので、微視的に便宜的に3ブロックに分けて報告する。厳密な基準に基づいて分離したものではない。同一の可能性は大である。

全礫群の総数は527点である。構成礫の数は比較的少なく、分布も散漫である。

(a) 1号礫群（第32図、第10表）

位置 V-56区

規模 長径約6.5m、短径約4mの範囲に分布している。礫の総数は83点で、破碎礫で構成されている。総重量6,054.4gである。

分布 2号礫群と近接した分布を示す。礫群底面は6a層面にある。垂直分布は標高16.39～16.56mの範囲付近に集中する群と、15.85～16.11m付近から確認される群がある。

赤化 構成礫83点のうち81点（97.5%）に赤化が認められる。このうち7点（8.4%）については赤化が著しい。また4点の割れ面に焼けが認められた。

黒色付着物 31点（37.3%）に黒色付着物（スス・タール）が認められる。

破損 構成礫83点のうち6点（7.2%）が完形もしくは半完形礫であり、破損は77点（92.7%）に認められた。

重量 最大374.7g、最小4.2g、平均重量72.9g

接合 接合は礫群内で11点見られるが、2号礫群との間での接合も2点見られる。礫の大きさは20g台が多く、残存率は50%未満が多い。

石材 68点（81.9%）砂岩、チャートが11点（9.6%）その他の石材は2点（8.4%）である。

(b) 2号礫群（第33図、第10表）

位置 U-56区

規模 長径約5.0m、短径約4mの範囲に分布してい

る。南側は調査区域外。礫の集中部はなく分布は疎である。礫の総数は13点で、破碎礫で構成されている。総重量1,418.9gである。

分布 1号礫群と近接した分布を示す。垂直分布は4層面にあり、標高16.41～16.57mの範囲を占める。

赤化 構成礫13点のうち10点（76.9%）に赤化が認められる。このうち1点（7.6%）については赤化が著しい。

黒色付着物 4点（30.7%）に黒色付着物（スス・タール）が認められる。

破損 構成礫13点のうち3点（23.0%）が完形であり、破損は10点（76.9%）に認められた。

重量 最大391.0g、最小12.6g、平均重量109g（接合後は179g）である。

接合 接合は礫群内で見られないが、1号礫群との間での接合が3点見られる。

接合距離が5mと最大で7mを測る。

石材 9点（69.2%）砂岩、チャートが3点（23.0%）その他の石材は1点（7.6%）である。

礫の大きさは100g台が多く、残存率は、石材は砂岩が大半を占め、チャートが2点を数える。

(c) 3号礫群（第34図、第10表）

位置 U-55区

規模 長径約4.5m、短径約3.5mの範囲に散在的に分布している。礫の総数は6点と少ない。破碎礫で構成されている。総重量990.8gである。

分布 2号礫群と近接した分布を示す。垂直分布は3層下部を中心に標高16.52～16.66mの範囲を占める。赤化構成礫6点のうちすべてに赤化が認められる。このうち3点（50%）については赤化が著しい。

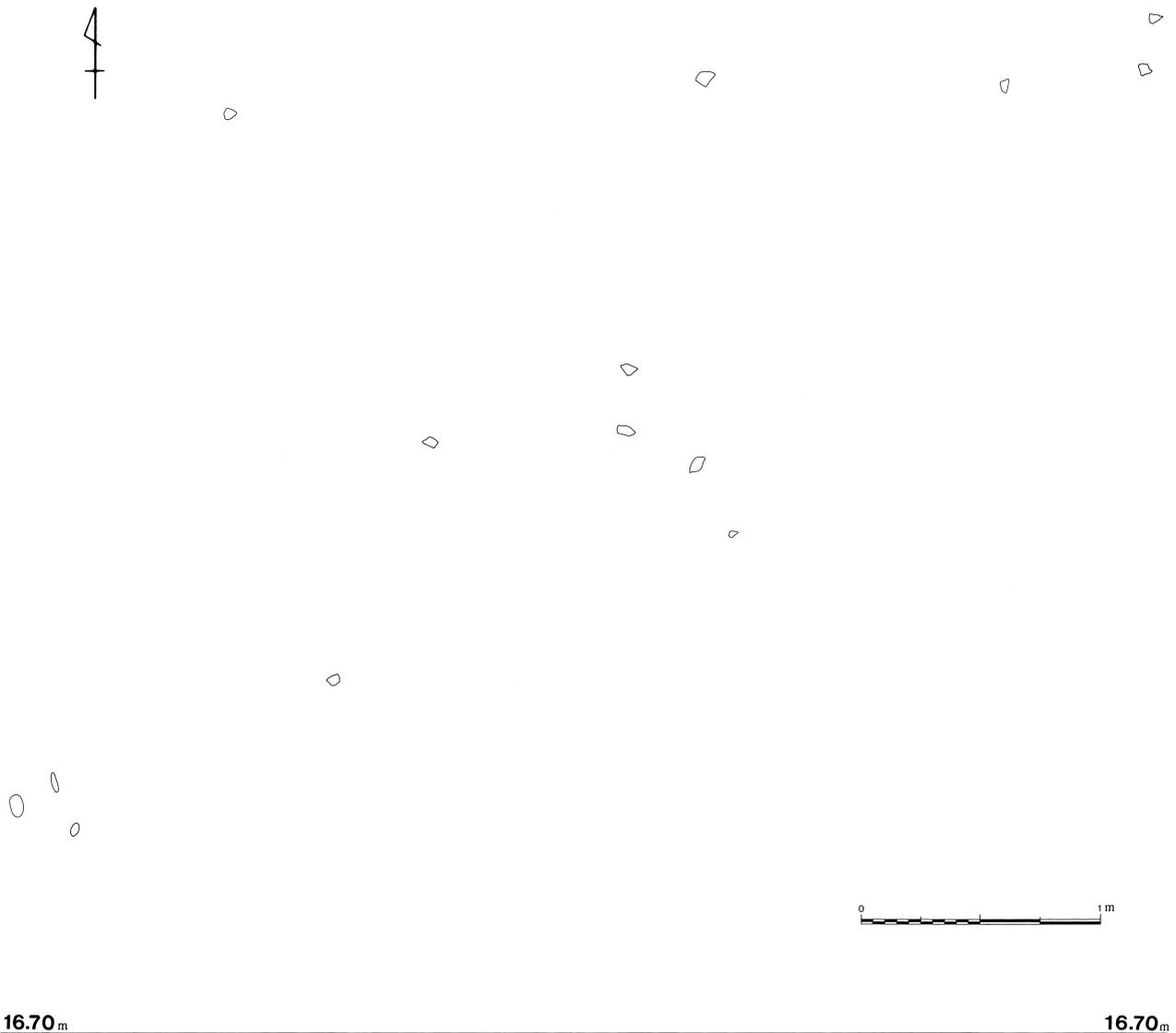
黒色付着物 3点（50%）に黒色付着物（スス・タール）が認められる。

破損 構成礫6点のうち1点（16%）が完形もしくは半完形礫であり、破損は5点（84%）に認められた。

重量 最大380.3g、最小62.0g、平均重量165.1gである。

接合 接合は礫群内で2点見られる。

石材 2点（33%）砂岩、チャートが3点（50%）その他の石材は1点（17%）である。



第33図 第2地点 2号礫群平面図・断面図 (1 / 30)

1～3号礫群の礫接合 (第38図)

礫群内の接合

1号礫群の礫群内接合例は26点と多く、接合距離の平均は0.6m、最も離れた接合例が2.5mである。標高差平均は6.7cm、最もレベル差がある例が36.3cm。

2号礫群の礫群内接合例はない。

3号礫群の礫群内接合例は1点で、近接しあい距離はない。標高差は4cm。

礫群間の接合

1号礫群と3点と2号礫群2点、接合距離は6.6mと5.6m。標高差では3.7cmある。接合後の礫群重量は重量別分布図に示したとおりである。

合計の重量分布は、30gのランクがピークとなり、重量が増えていくにつれ徐々に減少するが、100gのランクで小さなピークをつくる。(接合後は220g)である。

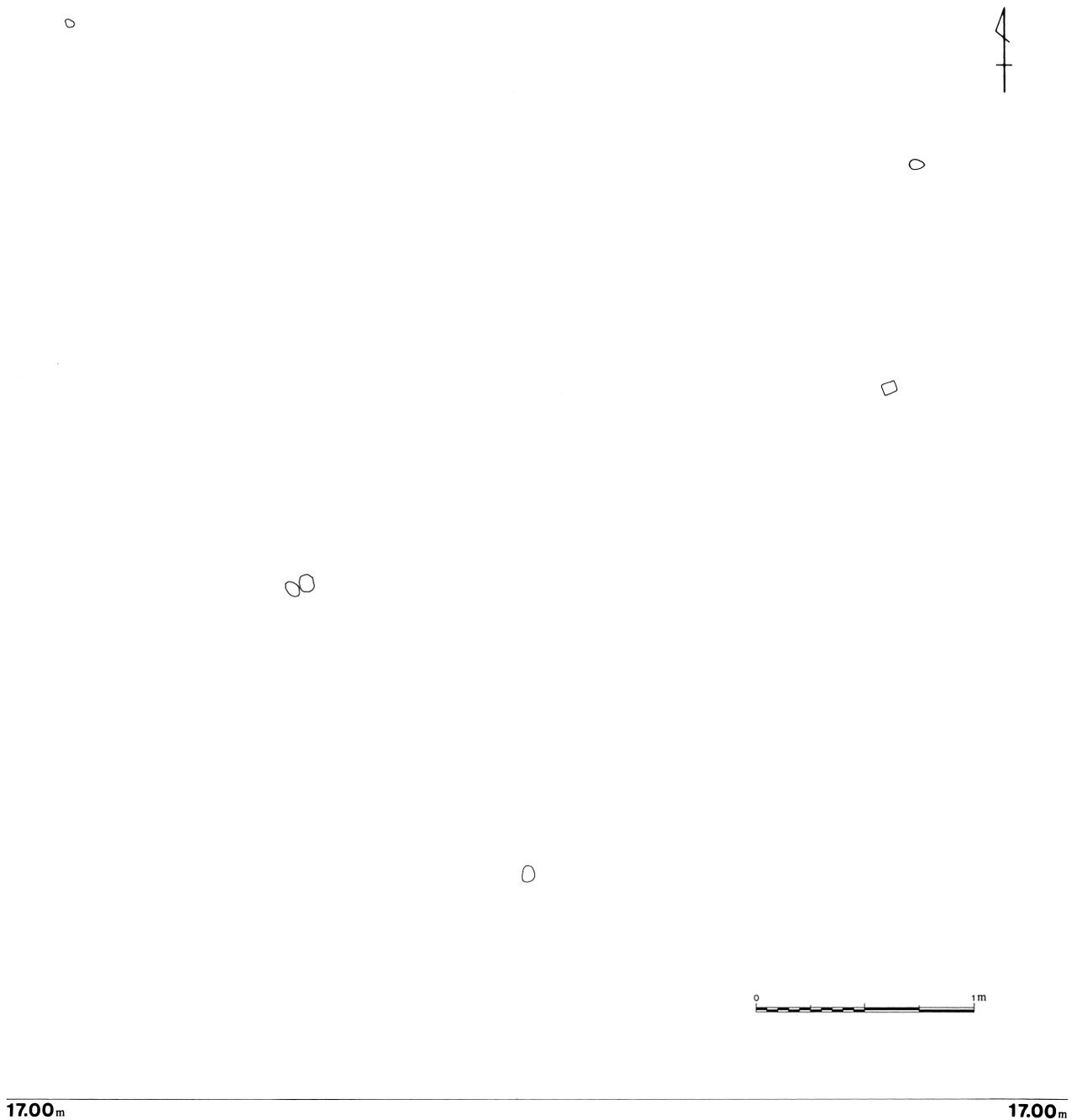
(d) 4号礫群 (第39図、第10表)

位置 AA-18区

規模 長径約3.5m、短径約1.5mの南北に長い楕円の範囲に分布している。礫の総数は134点で、破碎礫で構成されている。総重量33,916.8gである。

分布 礫群底面はIV層下面にある。垂直分布はほぼ標高20.30～20.55mの範囲内に集中。

赤化 構成礫83点のうち125点(96.9%)に赤化が



第34図 第2地点 3号礫群平面図・断面図 (1 / 30)

認められる。このうち46点(35.7%)については赤化が著しく、2点は割れ面に焼けが認められた。

黒色付着物 55点(42.6%)に黒色付着物(スス・タール)が認められる。

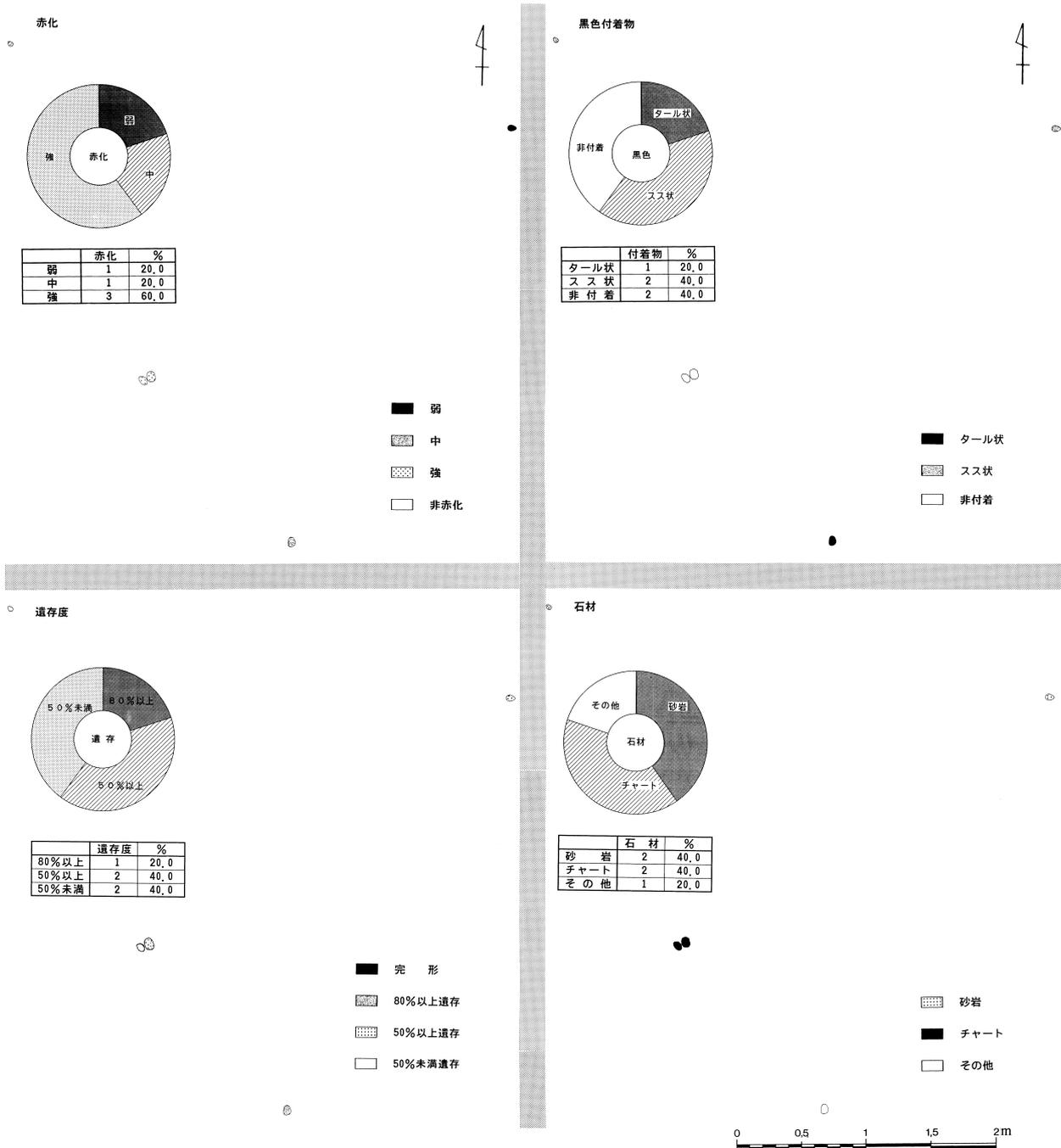
破損 構成礫134点のうち5点(3.9%)が完形もしくは半完形礫であり、破損は124点(96.1%)に認められた。

重量 最大544.0g、最小17g、平均重量262.9g(接合後最大は933g)である。重量分布は、20g未満

のランクがピークとなり、重量が増えていくにつれ徐々に減少するが、140gのランクで小さなピークをつくる。

接合 接合は礫群内で、27個体94点で、1個体の平均は3.4点である。礫群との間での接合も2点見られる。礫の大きさは10g台が多く、残存率は50%未満が多い。

石材 101点(78.3%)砂岩、チャートが27点(20.9%)その他の石材は1点(0.8%)である。



第37図 第2地点 3号礫群属性別分布図 (1 / 50)

(e) 5号礫群 (第41図、第10表)

位置 BB-22~23区

規模 南北約1m、東西約3mの範囲に散漫に分布している。東と西に小さな纏まりが見られる。礫群と認定するかは問題あるが、一応礫群として捉えておく。

礫の総数は12点で、総重量は1,729.5gである。

分布 礫群底面はIV層下に相当し、垂直分布は標高19.60~19.92mに位置する。東に向けて緩く傾斜する地形上より出土するため分布もやや右下に下がる傾向にある。

赤化 構成礫12点のうち10点(83.3%)に赤化が認められる。

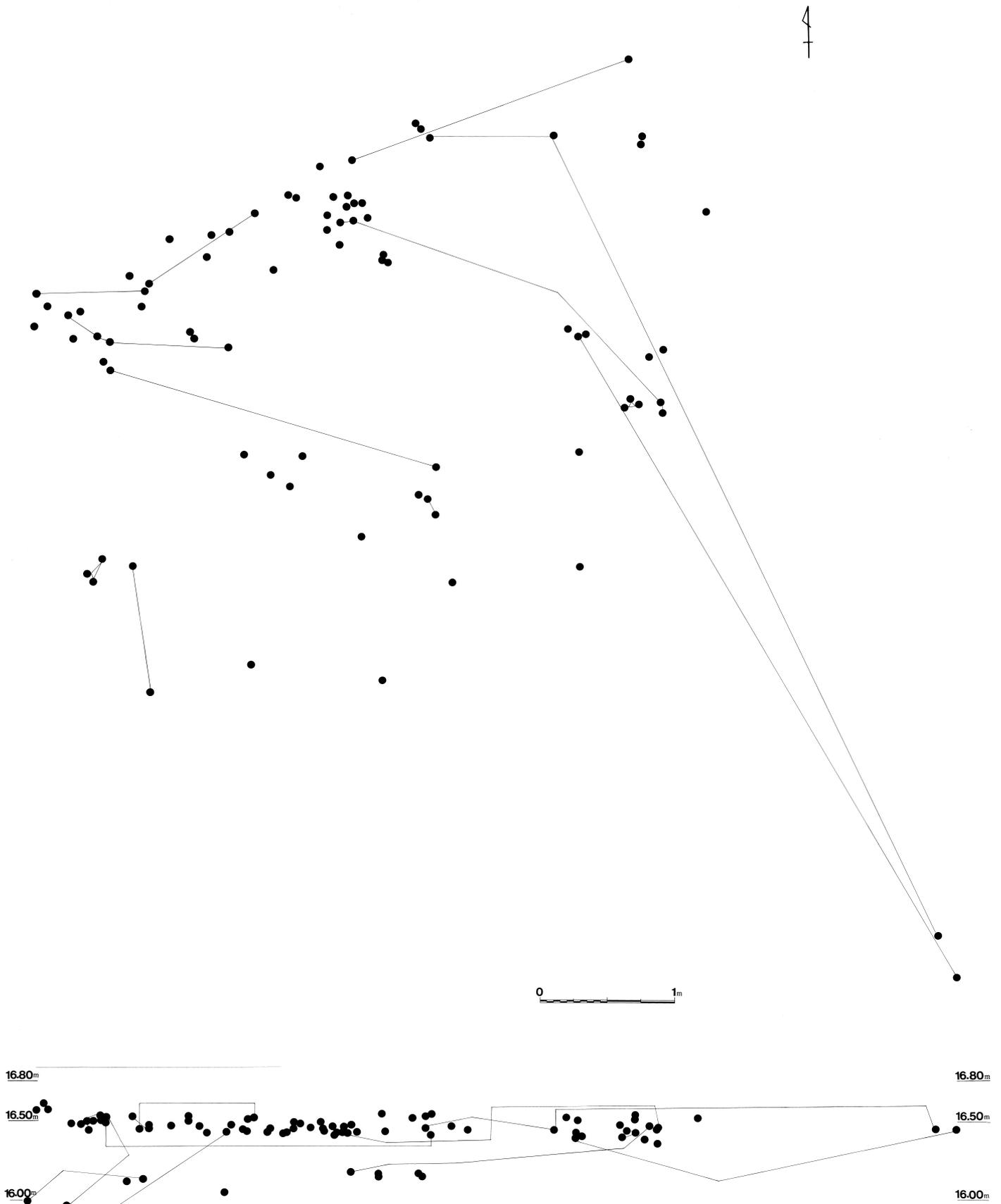
黒色付着物 9点(75.0%)に黒色付着物(スス・タール)が認められる。

破損 構成礫12点のうち4点(33.3%)が完形もしくは半完形礫であり、破損は8点に認められた。

重量 最大517.6g、最小9.9g、平均重量144.1gである。

接合 接合は礫群内で、1個体2点と少ない。

石材すべて砂岩である。

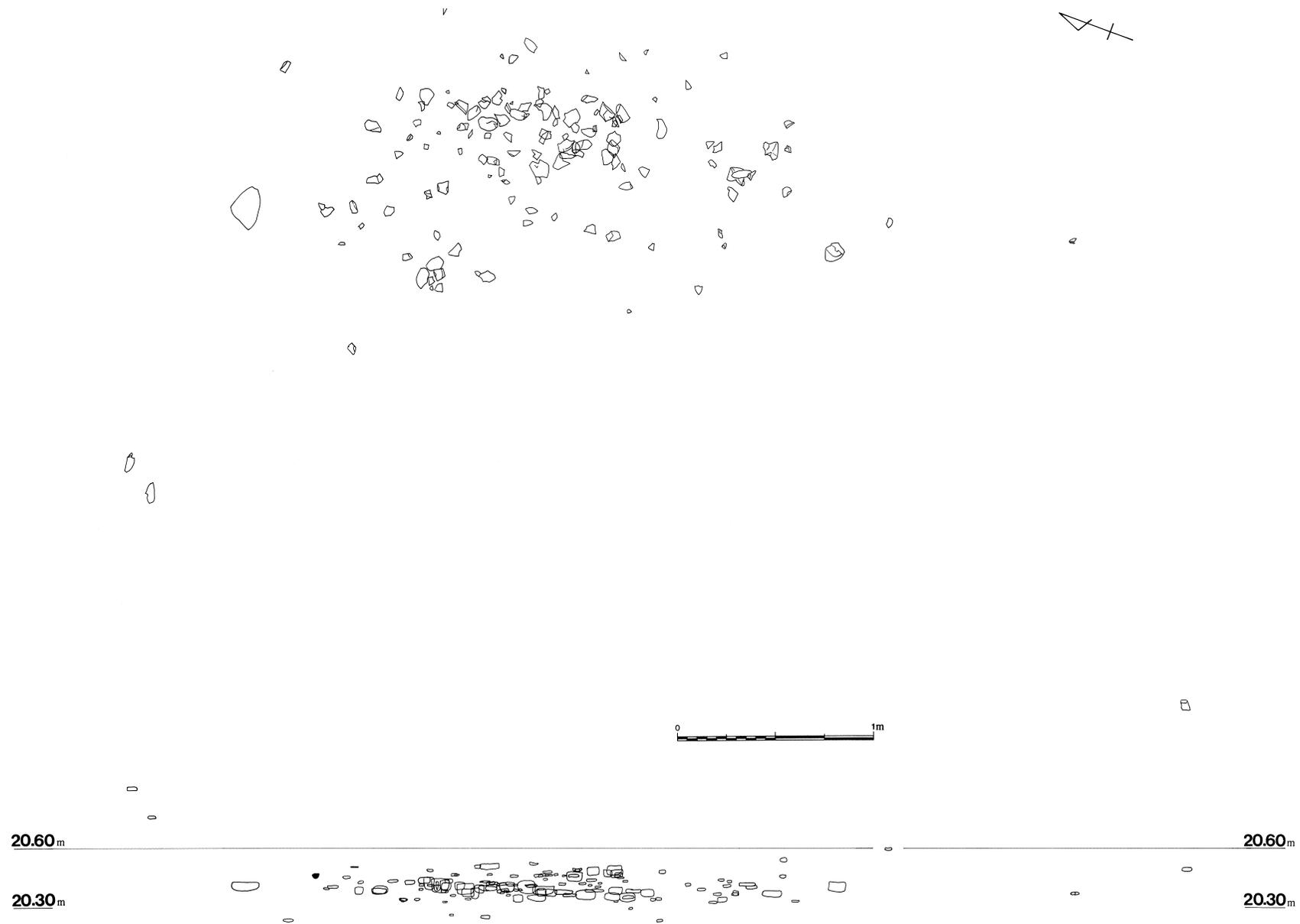


第38図 第2地点 1～3号礫群接合図・断面図 (1 / 40)

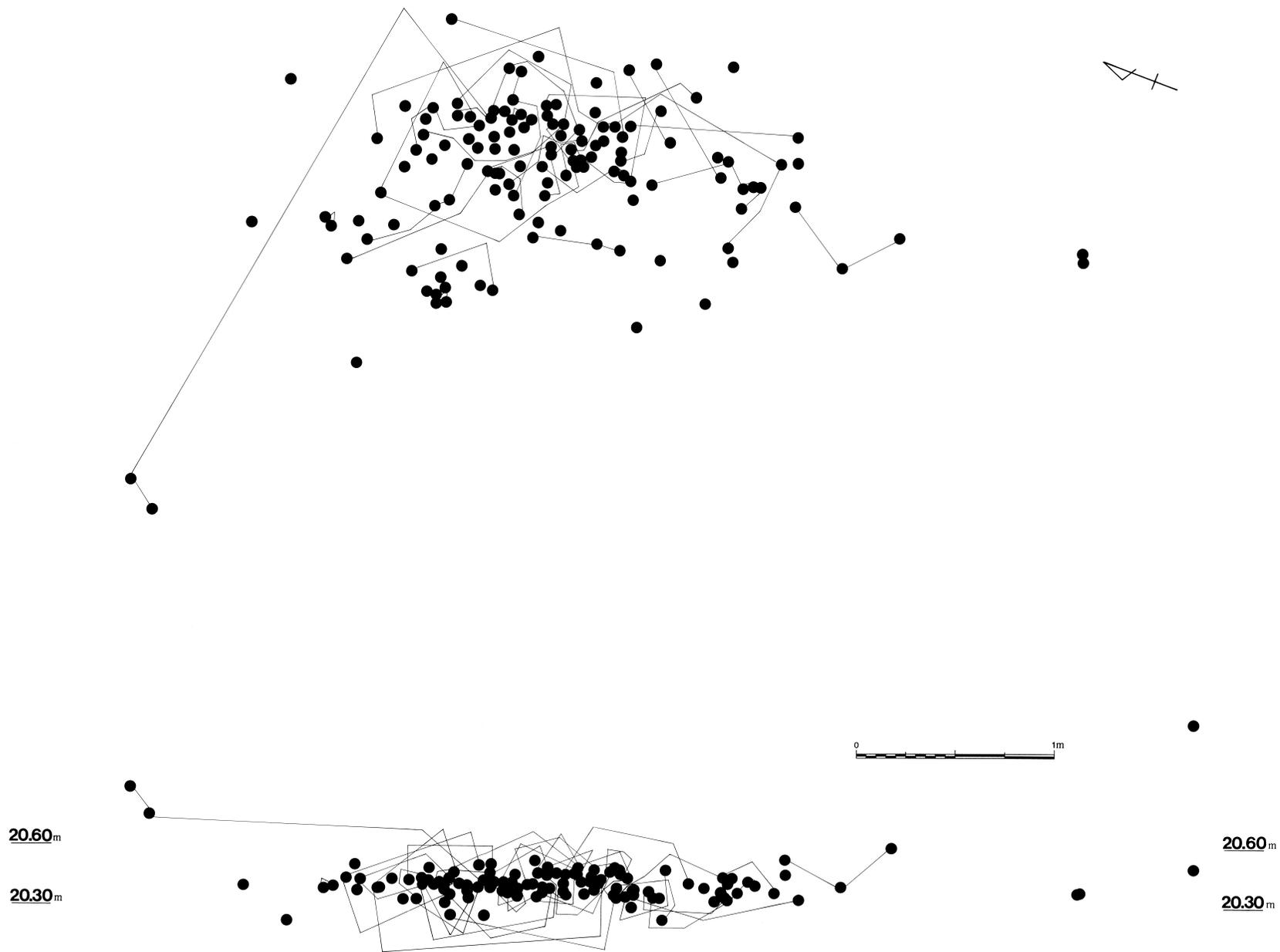
4号礫群と5号礫群の礫接合 (第40・42図)
礫群内の接合

4号礫群の礫群内接合例は27個体94点と多く、1

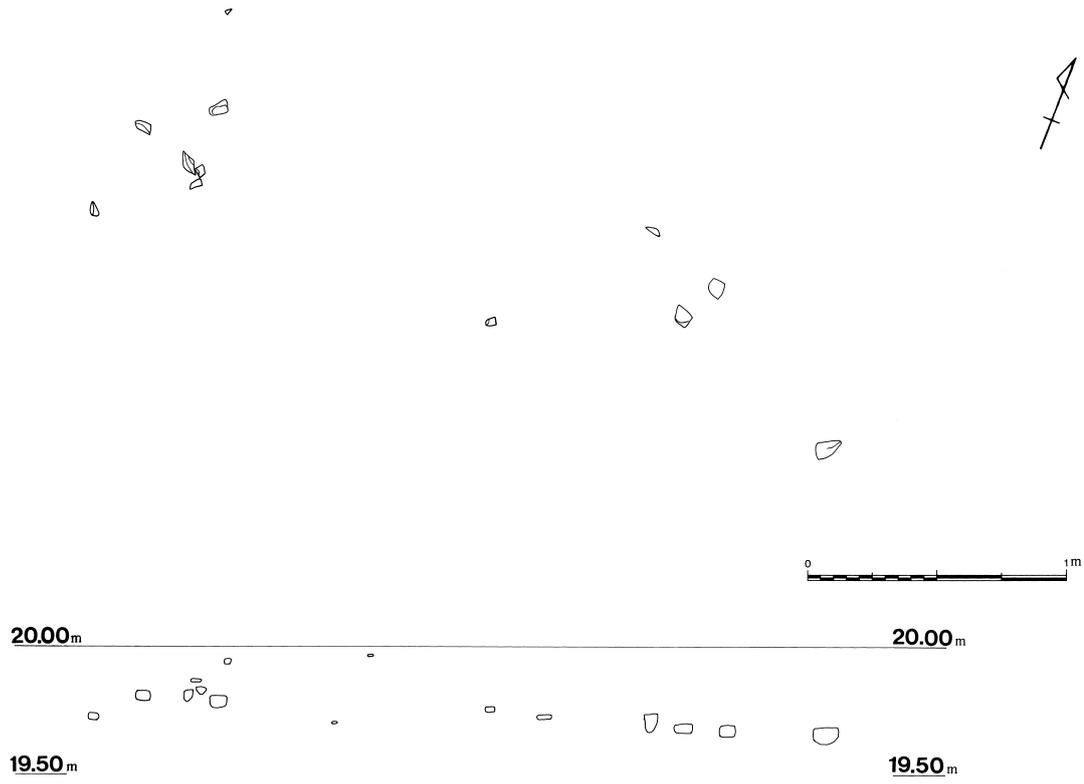
個体の平均3.4点である。また接合線は67本、1個体の平均は2.4本である。接合距離は50cm以内のものが最も多く、1.5mまで暫時減少し、最も離れた接合



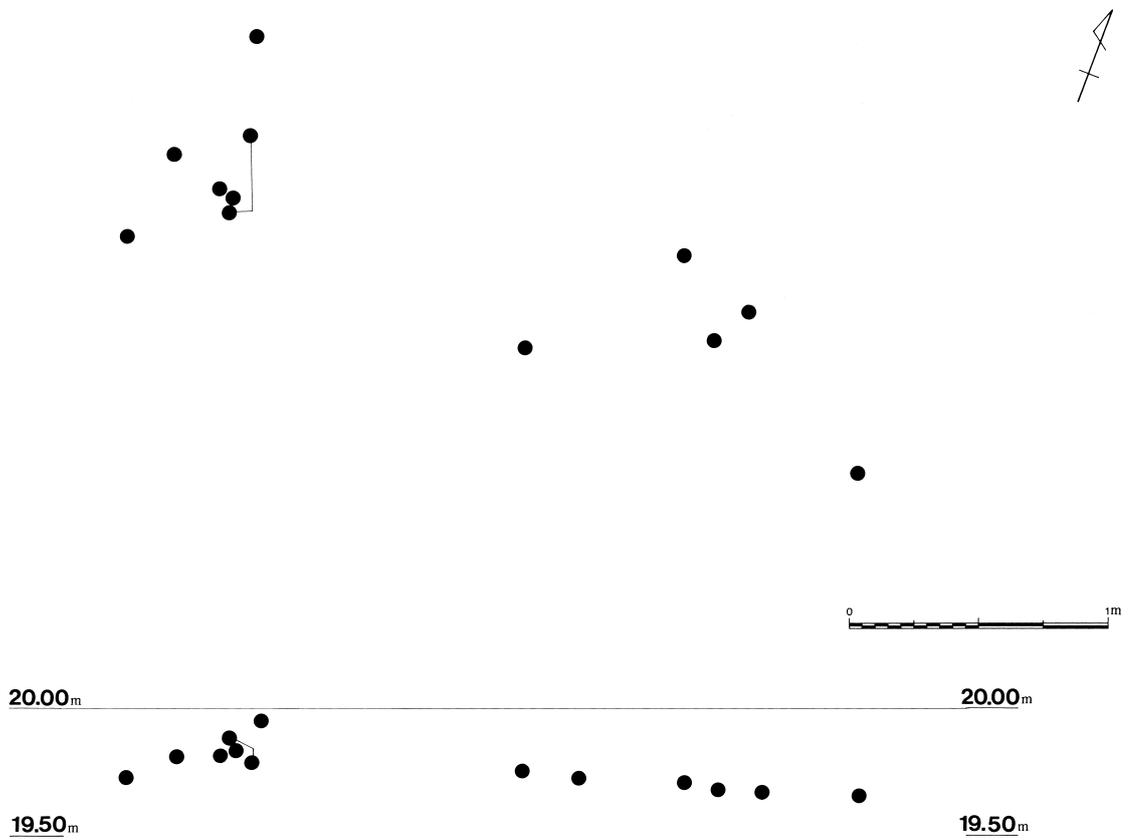
第 39 图 第 6 地点 4 号礫群平面図・断面図 (1 / 30)



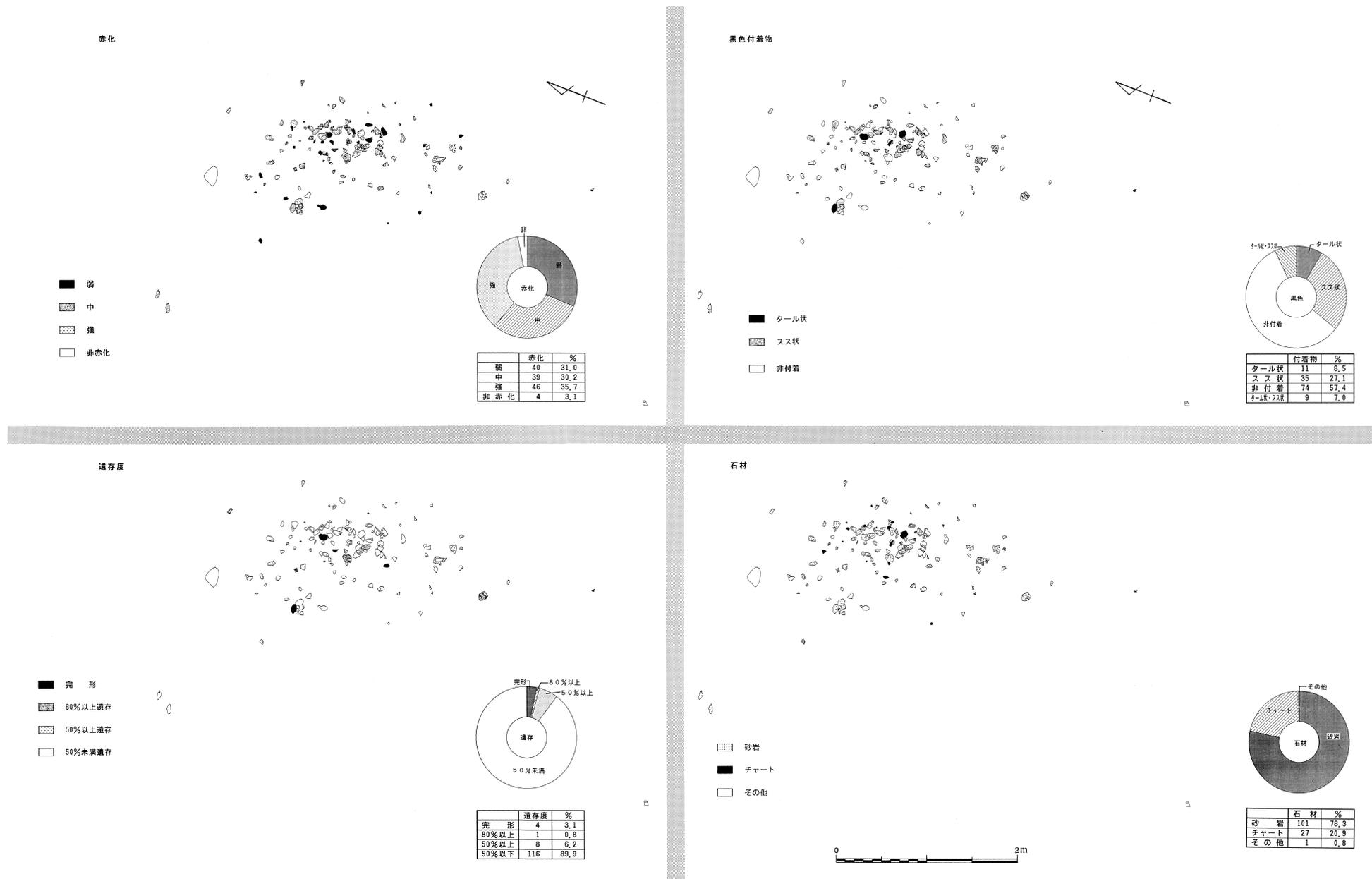
第40图 第6地点 4号礫群接合図・断面図 (1 / 30)



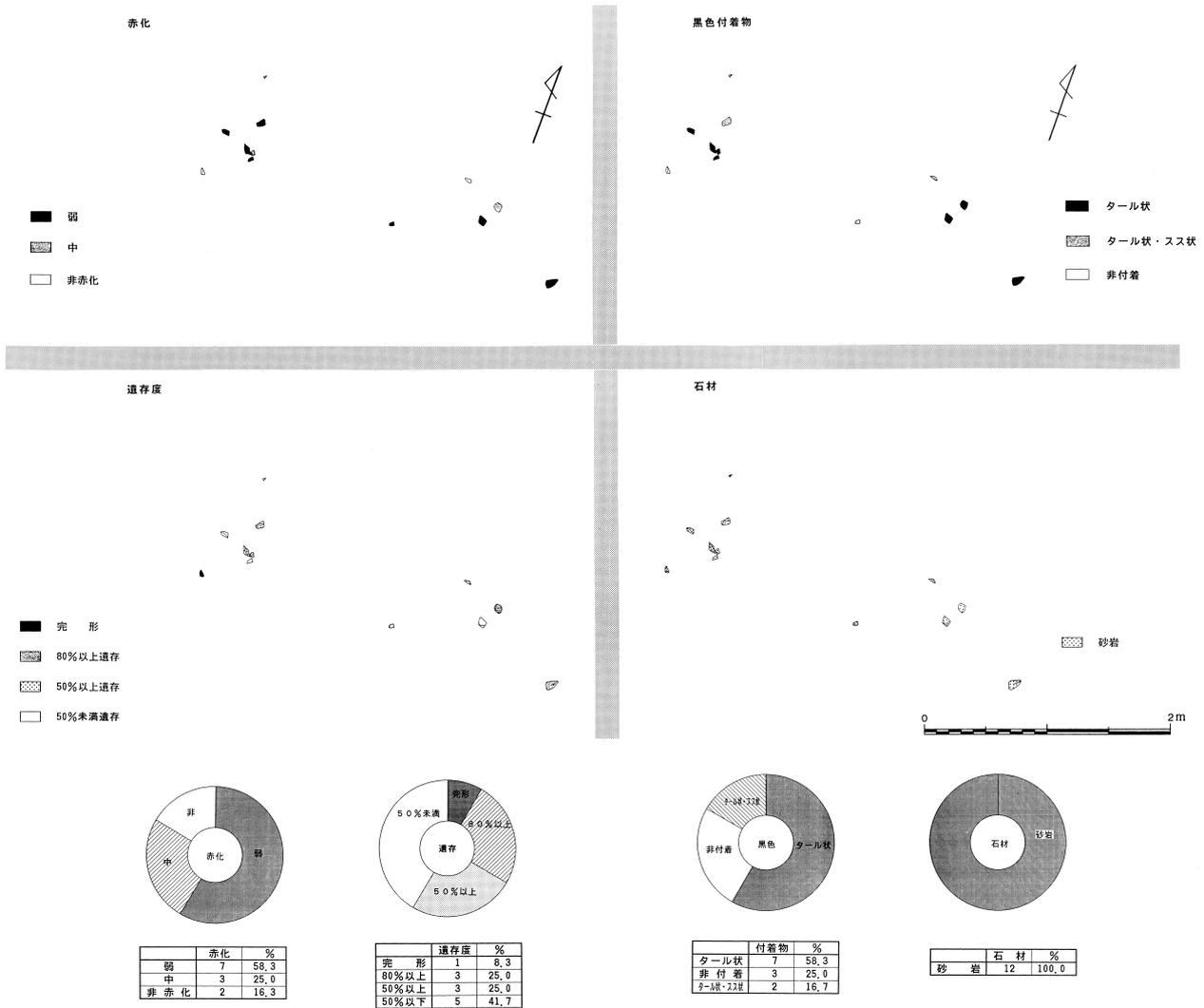
第 41 図 第 6 地点 5 号礫群平面図・断面図 (1 / 30)



第 42 図 第 6 地点 5 号礫群接合図・断面図 (1 / 30)



第43図 第6地点 4号礫群属性性別分布図 (1 / 30)



第44図 第6地点 5号礫群属性別分布図 (1 / 30)

例が2.6 mである。平均標高差13 cm前後で、最もレベル差がある例が37.8 cm。5号礫群の礫群内接合例は1点で、近接しあい距離はない。標高差は10.2 cm。礫群間の接合はなかった。

(f) 6号礫群 (第46図、第10表)

位置 FF-43~44区

規模 礫の分布範囲は長径約4.9 m、短径約1.2 mの南北に長い楕円の範囲に分布している。もっとも東西両側は後世の攪乱を受けていたが、4つの小礫群として捉えることができる。礫の総数は146点で、本書掲載の中では最大規模である。破碎礫で構成されている。総重量15,596.5 gである。平均重量107.6 gで比較的小さめの礫を使用している。

分布 礫群底面はIV層面にある。垂直分布はほぼ標高17.35~17.57 mの範囲内に集中。

赤化 構成礫146点のうち134点(91.7%)に赤化が

認められる。このうち27点(18.6%)については赤化が著しく、12点の割れ面に焼けが認められた。

黒色付着物 34点(37.5%)に黒色付着物(スス・タール)が認められる。

破損 構成礫146点のうち33点(22.7%)が完形もしくは半完形礫であり、破損は113点(77.3%)に認められた。

重量 最大550.6 g、最小2.1 g、平均重量107.6 gである。重量分布は、20 g未満のランクがピークとなり、重量が増えていくにつれ徐々に減少するが、80 gのランクでピークをつくる。

接合 接合は礫群内で、22個体63点で、1個体の平均は2.8点である。4つの小礫群の内、北側3群間での接合は見られるが、最南部の礫群は他との接合はない。礫の大きさは80 g台が多く、残存率は50%未満が多い。

石材 136点(95.2%) 砂岩、チャートが6点(4.1%)

第9表 本村遺跡 岩宿時代の石器計測表

図版番号	出土地点 (注記)	出土区	器種	石材	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	標高 m	備考
石器群1										
第20図-1	87Bh2-A-49	V-56	ナイフ形石器	黒曜石	3.0	1.8	0.5	2.2	16.468	微細な剥離
2	87Bh2-A-26	V-56	搔器・削器	黒曜石	(3.3)	2.4	1.0	6.5	16.496	サイドスクレーパー
3	87Bh2-A-1	V-56	剥片	黒曜石	4.2	3.9	1.5	16.8	16.437	
4	87Bh2-A-11	V-56	剥片	黒曜石	2.3	2.0	0.6	2.1	16.482	微細な剥離
5	87Bh2-A-25	V-56	剥片	黒曜石	2.7	2.4	1.2	6.7	16.440	微細な剥離
6	87Bh2-A-70	V-56	剥片	黒曜石	4.5	4.4	0.8	13.1	16.450	
7	87Bh2-A-2	V-56	剥片	黒曜石	1.7	1.6	0.7	1.3	16.580	
8	87Bh2-A-23	V-56	剥片	黒曜石	2.5	2.0	0.8	2.7	16.456	
9	87Bh2-A-42b	V-56	剥片	黒曜石	1.8	1.3	0.5	0.7	16.480	
10	87Bh2-A-6	V-56	石核	黒曜石	3.5	1.7	1.4	5.9	16.473	
11	87Bh2-A-42a	V-56	碎片	黒曜石	1.5	1.0	0.3	0.3	16.480	
石器群2										
第21図-12	87Bh2-A-105	U-56	ナイフ形石器	黒曜石	(2.7)	1.6	0.8	3.4	16.469	尖端欠損、角錐状石器？
13	87Bh2-A-112	U-56	剥片	黒曜石	3.1	2.0	0.7	3.5	16.420	
14	87Bh2-A-106	U-56	剥片	黒曜石	2.8	1.5	0.7	2.2	16.397	ナイフ形石器？
15	87Bh2-A-104	U-56	剥片	黒曜石	2.8	1.7	0.8	3.1	16.466	
16	87Bh2-A-71	U-56	剥片	黒曜石	3.5	2.2	0.8	4.9	16.421	
17	87Bh2-A-98	U-56	石核	安山岩	3.8	8.2	6.0	221.5	16.430	
第22図-18	87Bh2-A-107	U-56	挟入石器	黒曜石	3.6	2.1	1.0	6.4	16.435	
19	87Bh2-A-108	U-56	碎片	黒曜石	1.4	1.2	0.4	0.5	16.412	
20	87Bh2-A-81	V-55	剥片	チャート	2.6	2.1	0.5	2.6	16.552	微細な剥離
石器群3										
21	87Bh2-F-1	CC-68	尖頭器	チャート	5.1	1.4	0.6	4.1	15.347	
22	87Bh2-F-2	BB-69	尖頭器	黒曜石	4.0	1.5	0.5	3.0	15.361	
23	87Bh2-F-1	CC-68	剥片	チャート	8.3	3.1	1.1	19.2	15.342	
その他の2地点の出土石器										
24	87Bh2-A-H	S ~ U-54 ~ 56	ナイフ形石器	黒曜石	2.9	1.6	1.1	3.8		尖端欠損
25	87Bh2-A-H		剥片	黒曜石	2.1	1.9	0.7	2.2		微細な剥離
26	87Bh2-B-H	T ~ U-57 ~ 60	剥片	チャート	2.1	1.8	0.8	2.6		微細な剥離
27	87Bh2-D-1P		剥片	チャート	4.2	2.4	1.8	7.1		
石器群4										
第23図-28	89Bg6-U1-35	AA-18	剥片	頁岩	2.4	1.5	0.6	1.4	20.435	微細な剥離
29	89Bg6-U1-25	AA-18	剥片	頁岩	2.8	1.9	0.5	1.9	20.545	微細な剥離
30	89Bg6-U1-139	Z-18	剥片	ホルンフェルス	3.4	1.9	0.6	4.7	20.409	微細な剥離
31	89Bg6-U1-110	Z-18	剥片	チャート	7.9	1.9	1.2	23.6	20.535	
32	89Bg6-U1-153	AA-18	剥片	黒曜石	2.2	1.2	0.4	0.7	20.277	
33	89Bg6-U1-97	AA-18	剥片	チャート	1.2	2.0	0.3	0.6	20.538	
34	89Bg6-U1-117	AA-18	剥片	頁岩	3.3	1.0	0.7	1.0	20.460	
35	89Bg6-U1-34	AA-18	剥片	頁岩	1.5	1.8	0.5	0.7	20.379	
36	89Bg6-U1-101	AA-18	剥片	頁岩	2.3	2.2	0.7	2.8	20.571	
37	89Bg6-U1-2	AA-18	剥片	頁岩	2.0	2.1	0.9	1.4	20.576	
第24図-38	89Bg6-U1-38	AA-18	剥片	凝灰岩	2.6	2.2	0.9	3.5	20.415	微細な剥離
39	89Bg6-U1-140	Z-18	剥片	ホルンフェルス	5.3	6.4	1.0	24	20.113	微細な剥離
40	89Bg6-U1-5	AA-18	剥片	頁岩	4.5	3.2	2.7	7.2	20.552	
41	89Bg6-U1-44	AA-18	剥片	頁岩	2.1	3.3	0.8	3.0	20.508	微細な剥離
42	89Bg6-U1-4	AA-18	剥片	頁岩	2.3	3.3	0.5	2.9	20.578	微細な剥離
43	89Bg6-U1-22	AA-18	剥片	頁岩	2.1	3.2	0.9	3.0	20.540	微細な剥離
44	89Bg6-U1-40	AA-18	剥片	頁岩	2.8	2	0.5	1.9	20.417	
45	89Bg6-U1-107	AA-18	剥片	頁岩	1.5	2.2	0.8	2.1	20.521	
46	89Bg6-U1-19	AA-18	碎片	頁岩	1.4	1.5	0.5	0.2	20.506	
第25図-47	89Bg6-U1-1	AA-18	台石	砂岩	17.2	15.4	4.8	1816.8	20.488	

図版番号	出土地点 (注記)	出土区	器種	石材	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	標高 m	備考
石器群5										
第26図-48	89Bg6-U2-4	BB-22	ナイフ形石器	黒曜石	2.5	1.5	0.7	2.4	19.667	微細な剥離
49	89Bg6-U2-2	BB-22	剥片	緑色凝灰岩	3.2	7.8	1.2	27.4	19.716	U2-17と接合
50	89Bg6-U2-6	BB-22	剥片	黒曜石	1.3	1.2	0.3	0.4	19.649	微細な剥離
51	89Bg6-U2-15	BB-21	剥片	硬質頁岩	3.1	3.4	0.9	9.0	19.665	
52	89Bg6-U2-5	BB-22	剥片	黒曜石	2.4	1.8	0.4	1.2	19.645	
53	89Bg6-U2-7	BB-22	碎片	黒曜石	1.9	0.9	0.4	0.6	19.645	
	89Bg6-U2-1	BB-22	碎片	黒曜石	0.8	0.7	0.2	0.1	19.86	
	89Bg6-U2-3	BB-22	碎片	黒曜石	1.3	0.9	0.6	0.3	19.642	
	89Bg6-U2-8	BB-22	碎片	黒曜石	1.1	1.0	0.4	0.3	19.812	
	89Bg6-U2-9	BB-22	碎片	黒曜石	0.9	0.8	0.5	0.1	19.800	
	89Bg6-U2-11	BB-22	碎片	黒曜石	0.9	0.6	0.2	0.3	19.691	
	89Bg6-U2-25	BB-22	碎片	黒曜石	0.9	0.6	0.2	0.1	19.727	
	89Bg6-U2-25	BB-22	碎片	黒曜石	0.5	0.4	0.4	0.1	19.727	
	89Bg6-U2-17		碎片	緑色凝灰岩						U2-2と接合
その他の出土石器										
	54 Bh3-CH	GG~LL-48~50	剥片	黒曜石	3.1	1.4	0.6	2.0		
	55 Bh3-CH	GG~LL-48~50	剥片	チャート	4.7	1.8	0.9	6.9		微細な剥離
	56 Bh3-AH	BB~DD	剥片	黒曜石	2.8	2.0	0.7	3.0		微細な剥離
	57 Bh3-E-7M	P-49~51	剥片	黒曜石	2.7	2.0	0.6	3.0		微細な剥離
	58 Bh3-C4M-P	FF-49~50	剥片	黒曜石	3.1	1.9	2.0	2.9		
第27図-59	Bh3-A-7D	CC-50	剥片	黒曜石	3.6	2.3	1.4	14		
	60 Bh3-B-40P	T~X-51~53	碎片	黒曜石	1.3	1.5	0.3	0.5		
	61 Bh3-DH	L~M-41~43	碎片	チャート	2.0	0.6	0.5	0.6		
	62 89Bg6-A-M	Y~Z-20~22	尖頭器	黒曜石	(1.6)	0.9	0.4	0.9		1/2欠損
	63 89Bg6		剥片	珪質頁岩	4.6	4.2	0.9	16.5		微細な剥離
	64 89Bg6-B-4c-5H	X-16	剥片	チャート	1.3	4.5	2.2	9.4		打面再生剥片
	65 89Bg6-A-4-DH	Z-20~22	剥片	頁岩	4.4	2.0	1.5	12.8		
第28図-66	89Bg6-A-4-DH	Z-20~22	石核	硬質頁岩	4.7	5.3	2.1	49.3		
	67 90Bg15H		錐	黒曜石	2.4	1.9	0.7	2.6		
	68 90Bg15-D区	C~CNN-57~76	剥片	チャート	2.9	2.0	0.7	3.3		
	69 90Bg15-B・D交差	CC-57	剥片	チャート	7.5	5.2	1.6	57.6		
	70 91Bg18-19B区19D	CC-45	石核	チャート	3.0	2.1	2.7	15.2		
	71 Bg-H		剥片	黒曜石	2.6	2.0	0.4	1.7		微細な剥離
第29図-72	Bh3-C・D南		剥片	チャート	3.7	5.4	1.9	27.4		
	73 91Bg19-B区-10D		石核	チャート	3.1	3.6	2.2	27.5		
	74 91Bg21-D-106-1		剥片	黒曜石	2.5	2.2	0.5	2.2		
	75 92Bg24-77		剥片	安山岩	2.0	2.0	0.8	2.5		
	76 92Bg24-163		剥片	黒曜石	3.3	2.1	1.3	8.4		
第30図-77	92Bg24-P71		剥片	チャート	3.8	3.2	1.5	14.4		
	78 92Bg24-52D		剥片	頁岩	3.0	2.5	1.5	6.9		
	79 93Bg28-A区H		剥片	黒曜石	3.2	1.4	0.8	2.7		
	80 93Bg28-B区H		剥片	チャート	3.0	3.3	1.0	7.1		
	81 93Bg28-C区		角錐状石器	凝灰岩	5.5	2.5	1.0	12		
	82 93Bg28-C区H		ナイフ形石器	黒曜石	(2.4)	1.9	1.2	4.7		1/2欠損
第31図-83	93Bg28-C区D8-15		剥片	チャート	5.0	3.4	1.5	21.9		
	84 90Bg14-下層		剥片	ガラス質黒色	5.4	4.0	1.6	22.5		
	85 93Bg28-H		剥片	黒曜石	4.2	2.0	0.8	3.8		

【凡例】

赤 化：A弱 B中 C強 D非赤化 石材：砂 - 砂岩 チ - チャート 凝 - 凝灰岩 ホ - ホルソフェルス 他 - その他

遺存度：A完形 B80%以上 C50%以上 D50%未満 付着物：Aタール状 Bスス状 C白色斑点 D非付着

第 10 表 本村遺跡 岩宿時代の出土礫計測表

1 号礫群

No.	石材	長さ cm	重量 g	赤化	付着物	遺存度	標高 m	接 合	No.	石材	長さ cm	重量 g	赤化	付着物	遺存度	標高 m	接 合
3	砂	3.2	21.0	B	D	D	16.518		53	砂	5.5	69.2	B	B	D	16.430	
4	砂	4.7	27.5	A	D	D	16.521		54	砂	5.0	57.0	B	D	D	16.440	45
5	砂	7.5	165.5	A	A	D	16.545		55	砂	7.1	38.5	B	D	D	16.460	
7	砂	4.0	16.2	A	B	D	16.467	120	56	砂	8.3	106.9	C	B	D	16.515	50a,57,115
8	砂	10.2	369.1	B	B	D	16.442	9,102	57	砂	9.0	269	C	B	D	16.503	50a,56,115
9	砂	7.0	109.0	B	D	D	16.441	8,102	58	砂	4.3	24.9	A	D	D	16.477	
10	チ	3.3	13.3	A	D	D	16.430		59	砂	4.8	50.0	A	D	D	16.476	
12	砂	3.9	11.8	B	B	D	16.430	13,38,39	60	チ	4.2	28.6	B	D	D	16.624	
13	砂	2.6	3.2	B	B	D	16.441	12,38,39	61	チ	5.2	12.5	A	A	D	16.398	88
14	チ	9.3	171.1	B	D	D	16.419	15,16	62a	砂	2.1	4.1	B	D	D	16.560	
15	チ	6.5	108.4	B	D	D	16.410	14,16	62b	砂	4.4	27.4	A	D	D	16.560	63
16	チ	9.0	165	B	B	D	16.379	14,15	63	砂	10	242.3	D	D	D	16.538	62b
17	砂	6.1	73.1	B	B	C	16.363		64	砂	7.2	80.5	C	B	D	16.526	
18	砂	9.4	374.7	A	D	D	16.337		65	砂	5.6	28.3	B	D	D	16.468	
19	チ	5.4	51.5	A	D	D	16.385		66	砂	10.8	197.4	B	D	C	16.485	
20	チ	6.3	94.1	C	D	D	16.376	103	67	砂	2.7	4.2	A	D	D	16.433	
21	砂	8.3	94.0	A	D	D	16.528		68	砂	3.9	24.2	A	B	D	16.415	
22	砂	5.0	28.5	D	A	D	16.408		69	砂	8.4	150.4	B	D	A	16.440	
24	砂	5.6	38.4	B	D	D	16.420		72	砂	7.8	220.3	A	B	A	16.510	
27	砂	5.5	48.2	A	D	D	16.425		73	砂	9.0	285.2	B	B	C	16.561	
28	砂	3.9	22.1	A	D	D	16.462		74	砂	8.2	80.8	A	B	C	16.506	
29	砂	4.4	31.9	A	D	D	16.441		75	砂	3.8	16.0	A	D	D	16.475	76
30	砂	7.0	72.4	B	D	D	16.495		76	砂	7.0	95.8	A	D	D	16.526	75
31	砂	3.4	15.5	A	D	D	16.415		77	砂	6.9	69.0	A	D	D	16.493	78,79
32	砂	3.8	47.0	A	D	D	16.469		78	砂	7.6	100.4	A	D	D	16.423	77,79
33	砂	3.1	6.5	A	D	D	16.440		79	砂	8.1	178.5	A	D	D	16.540	77,78
34	砂	3.9	10.6	A	D	D	16.470		87	砂	6.8	113.9	B	B	D	16.520	
35	砂	4.6	27.0	B	D	D	16.495		88	チ	7.9	132.6	B	A	B	16.495	61
36	砂	5.4	40.9	A	B	D	16.483		89	チ	5.0	44.4	B	D	D	16.490	
37	砂	4.9	27.2	B	D	D	16.418		109	砂	4.3	64.0	A	B	D	16.366	
38	砂	4.2	43.7	B	B	D	16.418	12,13,39	110	砂	5.6	36.9	A	D	D	16.367	
39	砂	8.7	218.3	B	B	D	16.418	12,13,38	111	砂	5.2	40.3	C	D	D	16.383	
40	砂	5.6	72.3	B	D	D	16.445		113	砂	4.6	39.8	A	D	D	16.407	
41	チ	3.4	15.0	D	D	A	16.481		114	砂	4.8	35.5	A	D	D	16.415	
43	砂	3.5	23.5	A	B	D	16.413		115	砂	2.5	7.9	C	B	D	15.85	50a,56,57
44	砂	4.1	7.2	A	B	D	16.415		116	砂	5.5	36.7	B	D	D	15.895	119
45	砂	8.6	204.6	B	B	C	16.513	54	117	砂	3.0	11.6	A	D	D	16.085	
46	砂	2.8	9.1	B	D	D	16.465		118	砂	8.6	109	B	B	C	16.045	
47	砂	4.2	20.8	A	D	D	15.956		119	砂	5.9	73.9	B	B	D	16.060	116
48	砂	5.7	76.5	A	B	A	16.465		120	砂	6.9	40.0	A	D	D	16.110	7
50a	砂	4.2	18.4	C	D	D	16.410	56,57,115	121	砂	8.0	23.3	C	B	A	16.113	
50b	砂	4.1	35.7	A	B	D	16.410		122	凝	6.7	20.7	D	D	D	16.087	
51	砂	4.3	24.4	A	D	D	16.525		123	砂	6.1	38.2	B	D	D	16.094	124
52	ホ	4.6	29.3	D	A	D	16.497		124	砂	4.4	13	B	D	D	16.081	123

2号礫群

No.	石材	長さ cm	重量 g	赤化	付着物	遺存度	標高 m	接合	No.	石材	長さ cm	重量 g	赤化	付着物	遺存度	標高 m	接合
90	チ	10.5	391.0	A	D	A	16.521		95	砂	5.0	46.5	D	D	D	16.473	
91	砂	8.1	165.6	B	D	A	16.450		100	砂	5.4	102.4	D	B	A	16.426	
92	砂	7.4	225.3	B	B	D	16.546		101	チ	6.6	54.0	B	D	D	16.433	
93	砂	5.8	62.9	B	B	D	16.575		102	砂	9.0	123.9	B	D	D	16.432	8,9
94	砂	3.7	12.6	A	D	D	16.470		103	チ	4.5	36.1	C	D	D	16.413	20

3号礫群

No.	石材	長さ cm	重量 g	赤化	付着物	遺存度	標高 m	接合	No.	石材	長さ cm	重量 g	赤化	付着物	遺存度	標高 m	接合
80	砂	4.9	62.0	C	B	D	16.577		85	チ	8.0	380.3	C	D	C	16.668	84
82	砂	6.3	126.3	A	B	C	16.580		86	他	7.3	178.4	B	A	B	16.610	
84	チ	8.1	243.8	C	D	D	16.627	85									

4号礫群

No.	石材	長さ cm	重量 g	赤化	付着物	遺存度	標高 m	接合	No.	石材	長さ cm	重量 g	赤化	付着物	遺存度	標高 m	接合
1	砂	4.1	* 219.0	A	D	D	20.603	8,9,7,9,9,100	38	砂	3.6	* 233.0	B	A	D	20.486	33,37
2	砂	4.4	* 234.0	A	D	D	20.556	49,9,8,126	39	砂	13.0	336.7	A	A,B	A	20.491	
3	チ	5.1	* 64.1	C	D	D	20.512	4	40	砂	4.0	30.3	A	D	D	20.564	
4	チ	5.3	* 64.1	C	D	D	20.498	3	41	砂	11.0	598.5	B	B	B	20.468	
5	砂	7.5	136.1	A	D	D	20.468		42	チ	3.0	* 931.3	C	D	D	20.497	47,61b,62,65,108,124,4DH
6	砂	2.6	* 145.0	A	A	D	20.531	17,18,24	43	砂	7.8	* 306.5	C	B	D	20.489	88,107,117,129
8	砂	5.1	* 219.0	A	D	D	20.517	1,9,7,9,9,100	44	砂	6.2	* 129.2	B	B	D	20.526	A4DH
9	砂	10.2	351.2	B	A,B	A	20.487		45	砂	10.4	382.8	C	A,B	C	20.448	
10	砂	4.4	* 428.2	B	B	D	20.48	11,12,13	46	砂	8.3	193.0	A	A,B	D	20.479	50
11	砂	5.4	* 428.2	B	D	D	20.48	10,12,13	47	チ	7.4	* 931.3	C	D	D	20.586	42,61b,62,65,108,124,4DH
12	砂	7.1	117.5	B	D	D	20.481	10,11,13	48	砂	10.2	* 565.0	A	B	C	20.456	115,116
13	砂	7.6	206.6	B	B	D	20.488	10,11,12	49	砂	6.7	* 234.0	A	B	C	20.526	2,9,8,126
14	砂	7.5	82.7	B	B	D	20.479		50	砂	10.3	339.4	B	A,B	C	20.456	46
17	砂	5.8	* 145.0	A	A	D	20.543	6,18,24	51	砂	5.1	25.1	C	D	D	20.513	
18	砂	4.6	* 145.0	A	A	D	20.518	6,17,24	52	砂	7.1	184.1	C	B	D	20.471	35,53,54,109
19	チ	8.4	* 286.0	C	D	D	20.469	106,125	53	砂	1.9	* 402.5	C	D	D	20.516	35,52,54,109
20	チ	3.2	16.5	C	D	D	20.448		54	砂	3.3	* 402.5	C	D	D	20.52	35,52,53,109
21	砂	5.4	* 452.0	C	D	D	20.449	59,123	55	砂	8.6	142.4	C	A,B	D	20.471	
22	チ	2.5	9.9	D	D	D	20.591		56	チ	10.2	544	C	B	A	20.505	
23	砂	2.1	1.4	C	D	D	20.431		57	砂	6.3	70.9	B	D	D	20.451	58,103,122
24	砂	4.0	* 145.0	A	A	D	20.446	6,17,18	58	砂	8.7	142.2	B	D	D	20.453	57,103,122
25	砂	7.6	171.0	C	B	D	20.467	70,84,89,131	59	砂	10.9	* 452.0	C	A	D	20.471	21,123
26	砂	6.1	33.9	C	D	D	20.443		61a	砂	2.6	* 146.0	A	D	D	20.527	95,96
27	砂	5.5	39.4	D	D	C	20.341		61b	チ	5.4	* 931.3	C	D	D	20.527	42,47,62,65,108,124,4DH
28	チ	5.9	* 40.2	B	D	D	20.363	132	62	チ	3.8	* 931.3	C	D	D	20.523	42,47,61b,65,108,124,4DH
29	チ	1.5	1.7	B	D	D	20.399		63	砂	4.9	45.0	A	B	D	20.519	A4DH
30	砂	7.5	* 466.1	B	A,B	D	20.551	101,102,BM	64	砂	4.3	* 198.3	B	B	D	20.491	34,66
31	チ	6.0	72.7	C	D	D	20.629		65	チ	2.1	* 931.3	C	D	D	20.466	42,47,61b,62,108,124,4DH
32	砂	4.8	35.2	B	A	D	20.488		66	砂	6.5	* 198.3	B	B	C	20.425	34,64
33	砂	6.6	* 233.0	B	D	D	20.495	37,38	67	砂	5.8	48.3	B	D	D	20.453	
34	砂	4.6	* 198.3	B	B	D	20.486	64,66	68	砂	4.5	44.8	A	D	D	20.491	
35	砂	4.6	20.0	C	B	D	20.476	52,53,54,109	69	砂	4.0	14.5	A	D	D	20.530	
36	チ	5.2	29.7	C	D	D	20.572		70	砂	7.2	* 461.5	A	B	D	20.437	25,84,89,131
37	砂	6.1	* 233.0	C	A	D	20.506	33,38	71	砂	7.5	* 272.4	A	D	D	20.430	90,A4DH

4 号礫群

No.	石材	長さ cm	重量 g	赤化	付着物	遺存度	標高 m	接 合	No.	石材	長さ cm	重量 g	赤化	付着物	遺存度	標高 m	接 合
72	砂	6.1	* 192.1	B	D	D	20.461	133	103	砂	5.0	60.0	A	D	D	20.413	57,58,122
73	砂	6.8	* 603.6	C	D	D	20.455	78,80,81,82,83	104	砂	3.6	6.2	C	D	D	20.408	
74	砂	9.4	415.1	C	B	A	20.478		105	砂	3.3	* 168.9	A	D	D	20.405	110,119
75	砂	5.8	* 117.0	C	D	D	20.454	118	106	チ	6.3	* 286.0	C	D	D	20.405	19,125
76	チ	5.2	* 38.8	C	D	D	20.447	79	107	砂	7.4	* 306.5	A	D	D	20.435	43,88,117,129
77	チ	4.6	22.3	B	D	D	20.431		108	チ	8.1	* 931.3	C	D	D	20.370	42,47,61b,62,65,124,4DH
78	砂	5.4	* 603.6	C	D	D	20.426	73,80,81,82,83	109	砂	78.0	183.3	C	B	D	20.429	35,52,53,54
79	チ	3.6	* 38.8	C	D	D	20.478	76	110	砂	7.4	125.1	A	B	D	20.378	105,119
80	砂	10.4	* 603.6	C	B	C	20.459	73,78,81,82,83	111	砂	3.7	10.0	A	D	D	20.349	
81	砂	8.7	* 603.6	B	B	D	20.526	73,78,80,82,83	112	チ	4.2	10.4	C	D	D	20.390	
82	砂	7.4	* 603.6	C	D	D	20.508	73,78,80,81,83	113	砂	3.4	42.7	A	A	D	20.398	
83	砂	7.3	* 603.6	B	B	D	20.468	73,78,80,81,82	115	砂	7.6	* 565.0	A	B	D	20.397	48,116
84	砂	4.3	* 461.5	B	B	D	20.552	25,70,89,131	116	砂	8.2	* 565.0	A	B	D	20.410	48,115
85	砂	3.3	14.0	A	B	D	20.541		117	砂	5.7	* 306.5	A	D	D	20.372	43,88,107,129
86	砂	4.0	* 100.1	A	D	D	20.500	A4DH	118	砂	9.5	* 117.0	B	A	D	20.423	75
87	砂	5.3	* 526.2	B	B	D	20.648	91,92	119	砂	4.4	* 168.9	B	D	D	20.358	105,110
88	砂	4.1	* 306.5	B	D	D	20.566	43,107,117,129	120	チ	3.4	6.5	A	D	D	20.353	
89	砂	10.1	* 461.5	B	B	D	20.458	25,70,84,131	122	砂	5.2	27.8	A	B	D	20.280	57,58,103
90	砂	5.3	* 272.4	A	D	D	20.436	71,A4DH	123	砂	9.1	* 452.0	C	A	D	20.312	21,59
91	砂	10.0	* 526.2	C	B	C	20.489	87,92	124	チ	2.6	* 931.3	C	D	D	20.358	42,47,61b,62,65,108,4DH
92	砂	4.9	* 526.2	B	B	D	20.703	87,91	125	チ	3.3	* 286.0	C	D	D	20.353	19,106
93	他	2.8	8.1	D	D	D	20.481		126	砂	2.1	* 234.0	A	D	D	20.256	2,49,98
94	砂	2.0	1.7	B	D	D	20.478		127	砂	4.0	11.1	A	D	D	20.147	
95	砂	6.5	* 146.0	A	D	D	20.905	61a,96	128	チ	4.7	29.1	C	D	D	20.348	
96	砂	7.9	* 146.0	A	B	D	20.755	61a,95	129	砂	6.5	* 306.5	C	A,B	D	20.355	43,88,107,117
97	砂	4.6	* 219.0	A	D	D	20.357	1,8,99,100	130	チ	3.4	16.2	C	D	D	20.332	
98	砂	4.2	* 234.0	B	B	D	20.380	2,49,126	131	砂	2.7	* 461.5	B	D	D	20.292	25,70,84,89
99	砂	3.7	* 219.0	A	D	D	20.424	1,8,97,100	132	チ	4.1	* 40.2	B	D	D	20.223	28
100	砂	6.7	* 219.0	A	D	D	20.432	1,8,97,99	133	砂	3.2	* 192.1	B	D	D	20.128	72
101	砂	8.1	* 466.1	B	B	D	20.398	53,102,BM	134	砂	3.7	34.0	D	D	D	20.244	
102	砂	7.5	* 466.1	B	A,B	D	20.407	53,101,BM									

5 号礫群

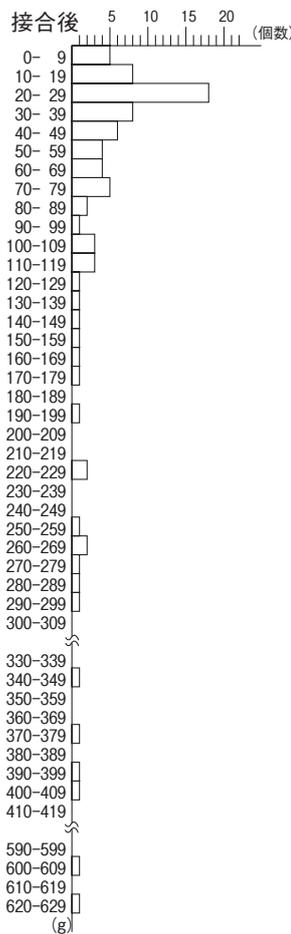
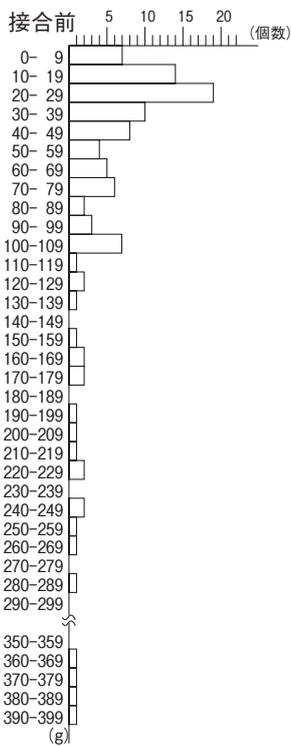
No.	石材	長さ cm	重量 g	赤化	付着物	遺存度	標高 m	接 合	No.	石材	長さ cm	重量 g	赤化	付着物	遺存度	標高 m	接 合
1	砂	8.3	171.4	D	A,B	C	19.665		7	砂	7.1	120.5	A	A,B	C	19.765	9
2	砂	7.9	155.9	A	A	D	19.665		8	砂	4.7	103.2	A	A	D	19.781	
3	砂	8.3	322.6	B	A	B	19.644		9	砂	5.2	34.4	A	A	D	19.867	7
4	砂	12.3	517.6	A	A	B	19.617		10	砂	4.9	74.9	B	A	B	19.809	
5	砂	3.3	24.3	A	D	D	19.742		11	砂	8.9	136.7	A	A	C	19.787	
6	砂	2.9	9.9	B	D	D	19.927		12	砂	5.4	58.1	D	D	A	19.710	

6 号礫群

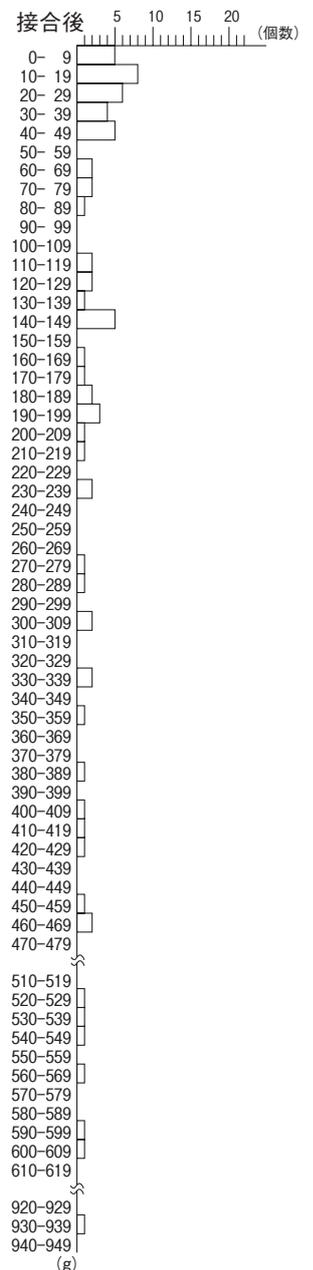
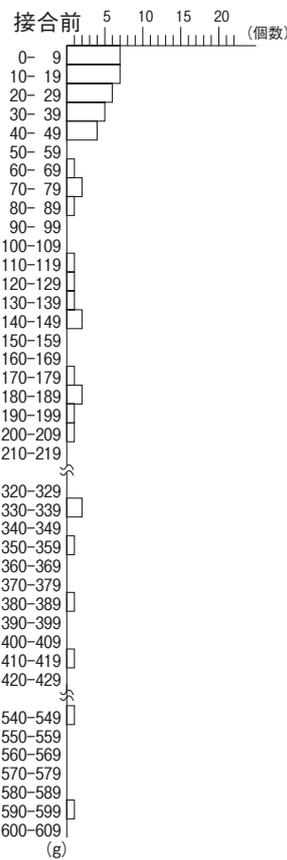
No.	石材	長さ cm	重量 g	赤化	付着物	遺存度	標高 m	接 合	No.	石材	長さ cm	重量 g	赤化	付着物	遺存度	標高 m	接 合
1	砂	7.1	53.5	B	D	D	17.543		8	砂	6.6	76.7	D	D	D	17.377	11,12,45
2	砂	5.7	25.7	C	D	D	17.507	3,7,9,123	9	砂	6.5	75.9	C	D	D	17.377	2,3,7,123
3	砂	4.5	46.5	C	D	D	17.483	2,7,9,123	10	砂	5.3	56.9	C	A	D	17.347	
4	砂	5.1	18.9	A	D	D	17.477	28,128	11	砂	6.9	155.6	A	D	D	17.372	8,12,45
5	砂	7.8	34.2	D	A	D	17.359		12	砂	5.5	68.9	A	D	D	17.366	8,11,45
6	砂	2.5	3.5	B	D	D	17.366		13	砂	6.3	71.6	D	A	D	17.387	40,55,126
7	砂	5.3	58.6	C	D	D	17.367	2,3,9,123	14	砂	5.1	42.8	C	D	D	17.4	

No.	石材	長さ	重量	赤化	付着物	遺存度	標高	接合	No.	石材	長さ	重量	赤化	付着物	遺存度	標高	接合
		cm	g								cm	g					
77	砂	6.4	106.1	A	A	D	17.836	76	96	砂	11.8	312.8	B	B	D	17.818	98a
78	チ	6.3	25.1	C	D	D	17.869	46,79,88,90,111	97	砂	9.3	360.0	A	A	A	17.824	
79	チ	4.8	28.2	C	A	D	17.829	46,78,88,90,111	98a	砂	10.8	236.8	B	B	D	17.822	96
80	砂	3.3	15.3	D	D	D	17.941		98b	砂	9.0	131.8	A	D	D	17.822	72
81	砂	7.2	38.7	A	D	D	17.909	84,89	99	砂	7.2	67.7	A	A	D	17.843	91,100a,105
82	砂	3.6	14.9	A	B	D	17.769	83	100a	砂	11.3	169.8	B	A	D	17.796	91,99,105
83	砂	4.5	59.6	A	B	D	17.849	82	100b	砂	9.4	469.9	A	A	B	17.796	
84	砂	7.6	80.0	A	B	D	17.861	81,89	101	砂	5.2	11.1	A	A	D	17.944	
85	砂	5.2	16.8	B	B	D	17.898		102	砂	4.6	24.1	C	D	D	17.947	47,50,62
86	砂	4.4	14.1	A	B	D	17.934	49,65,67,74	103	砂	4.9	18.8	A	D	D	17.842	48,56,57,58
87	砂	4.6	16.3	A	A	D	17.834		104	砂	3.5	6.1	B	A	D	17.829	
88	チ	7.1	22.7	C	A	D	17.89	46,78,79,90,111	105	砂	6.2	41.2	A	A	D	17.859	91,99,100a
89	砂	6.9	43.0	A	A	D	17.845	81,84	106	砂	6.5	114.0	C	B	D	17.870	45,54,59
90	チ	5.1	39.2	C	A	D	17.821	46,78,79,88,111	107	砂	5.2	21.7	B	D	D	17.751	55,73,75
91	砂	8.7	121.8	B	A,B	D	17.811	99,100a,105	108	砂	7.0	79.3	C	A	D	17.847	
92	砂	3.7	26.7	A	A	D	17.838		109	チ	8.9	165.2	B	D	D	17.798	52,61,63
93	砂	3.6	13.0	B	D	D	17.849	68,69,95,110	110	砂	5.2	27.6	B	A	D	17.919	68,69,93,95
94	砂	4.8	13.5	A	A	D	17.889		111	チ	4.2	28.6	C	D	D	17.915	46,78,79,88,90
95	砂	4.3	17.0	B	D	D	17.909	68,69,93,110									

1～3号礫群

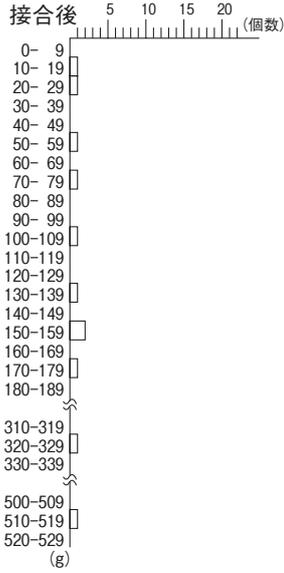
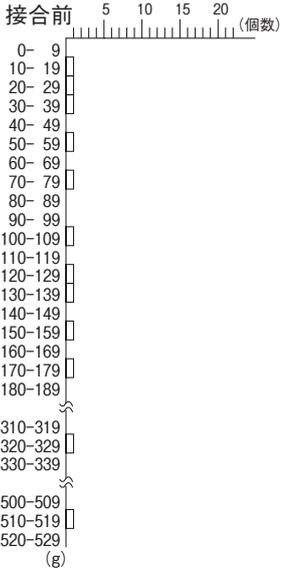


4号礫群

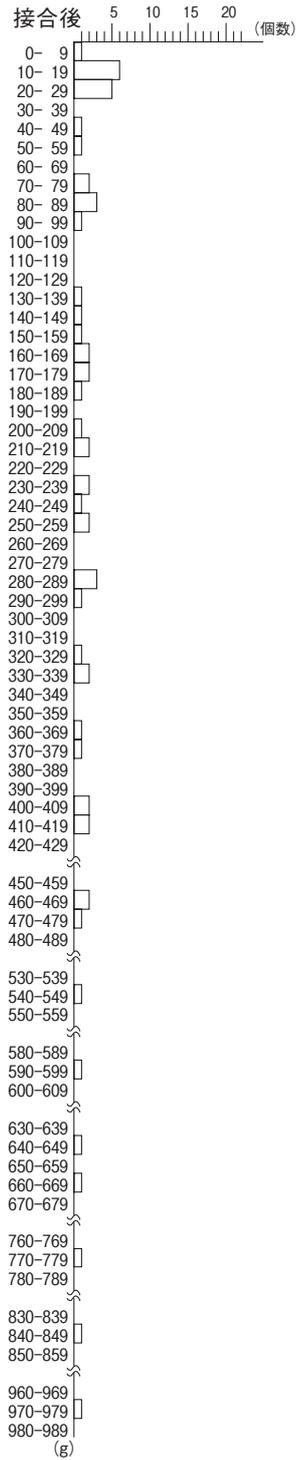
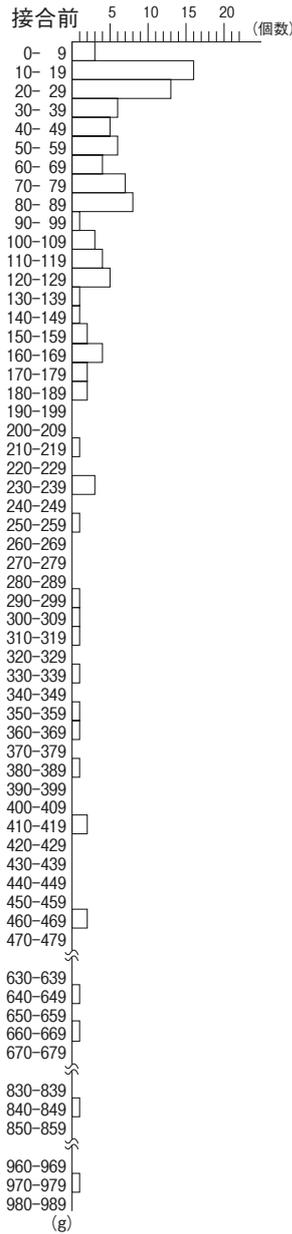


第51図 1～3号・4号礫群重量分布図

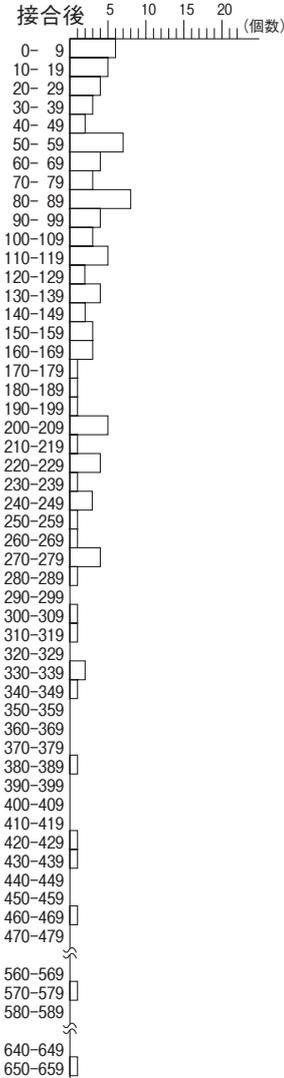
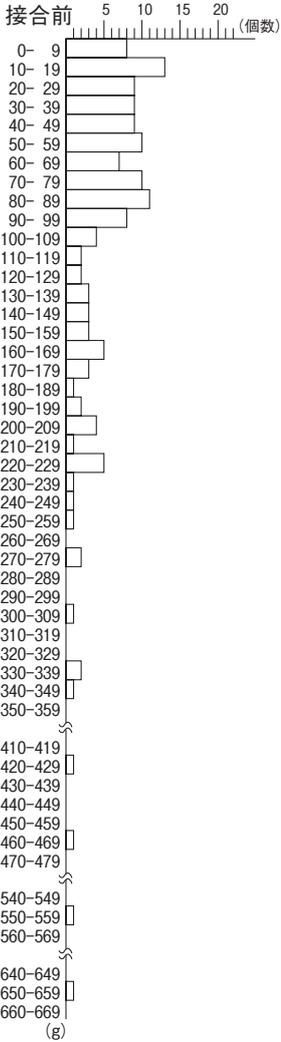
5号礫群



7号礫群



6号礫群



第 52 図 5号・6号・7号礫群重量分布図

第3章 縄文時代

10節 遺構

本遺跡からこれまでの調査で確認された縄文時代の遺構と遺物は第1章のとおり多くはない。このうち焼土跡2基・集石土坑1基・土坑31基を報告する。遺構の分布を見ると焼土跡は微高地上、集石土坑・土坑は遺跡南側の砂川に面した低地部に集中する傾向がある。以下、縄文時代の遺構について、焼土跡・集石土坑・土坑の順に報告する。なお、調査当時の番号とは異なるため、それぞれの遺構一覧表に旧番号を記した。

(1) 焼土跡

本遺跡の第28地点からは、焼土跡が7基確認されている。1基を除いて2基ずつ近接して検出された。焼土跡の分布は点在という状況で密集はしていない。たぶん中世以降の地形の遊作による消失も考えられる。掘り方としての堅穴構造はもっていないようである。焼土集中部分の下位に火熱の影響によると考えられる範囲を有する。いずれも様相は異なるが焼土を多少含む土壌で、火熱のため周辺と状況が変化した層が底面を成していた。掘り込みも浅く確認面に焼土の範囲が認められた程度で、7基のうち2基のみ断面図を作成することができた。帰属時期は不詳。

1号焼土跡（第55図）

本焼土跡はX-19区の位置から確認された。南1.5mには2号焼土跡が近接する。平面形態は円形を呈し、規模は確認面で長径0.7m、短径0.54m、底面で長径0.63m、短径0.4mを測る。底面はほぼ平坦で、皿状に立上がり、深さは中央部で0.31mを測る。覆土は単層で、焼土をベースにする暗褐色土層。遺物の出土はない。

2号焼土跡（第55図）

本焼土跡もX-19区の位置から確認された。平面

形態は円形を呈し、規模は確認面で長径0.65m、短径0.48m、底面で長径0.56m、短径0.4mを測る。底面はほぼ平坦で、皿状に立上がり、深さは中央部で0.2mを測る。覆土も1号焼土同様に、焼土をベースにする暗褐色土の単層。遺物の出土は皆無であった。他の焼土については掘り込みをもたず、範囲のみ確認された程度であった。焼土の範囲は長径40～90cm、短径30～60cmである。

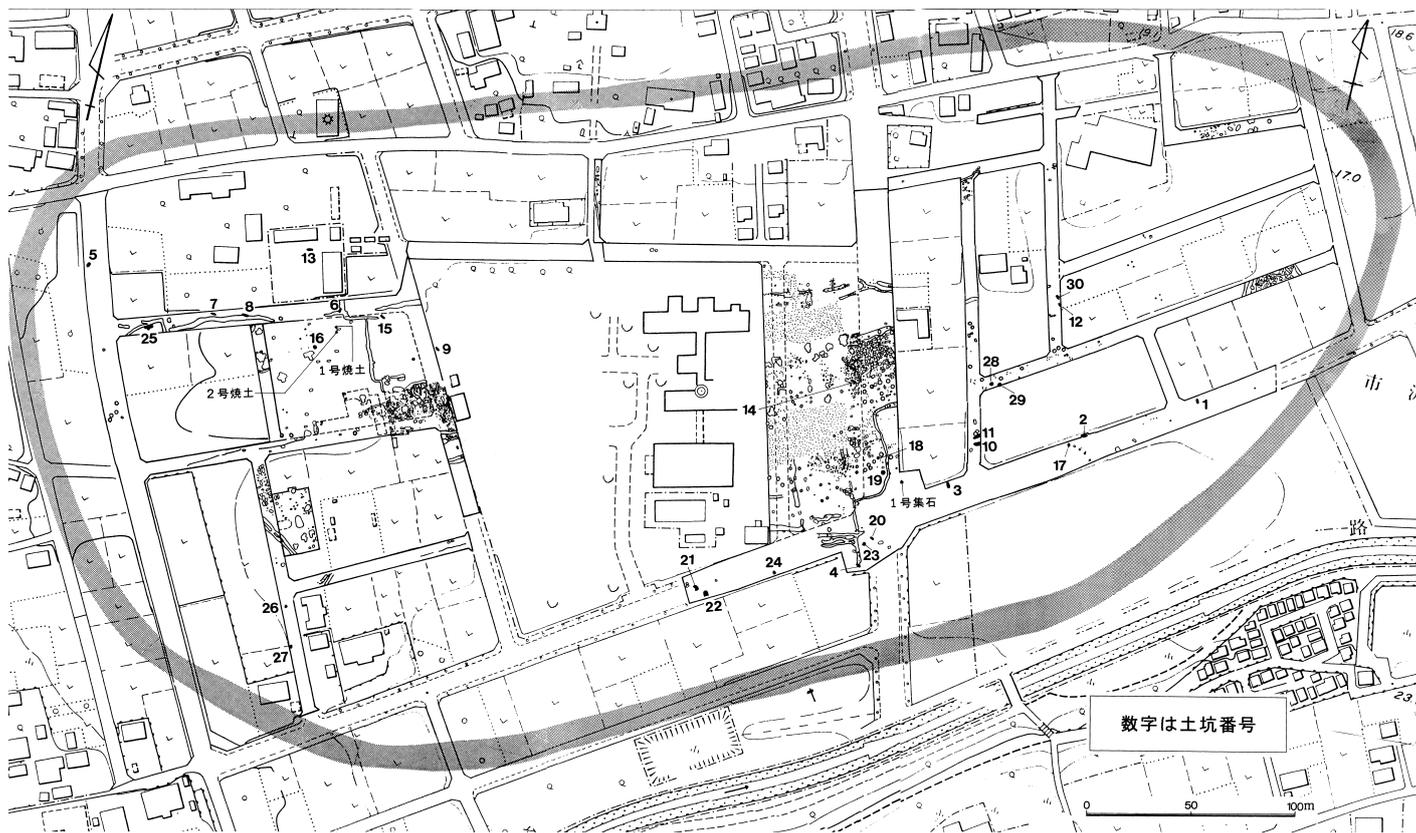
(2) 1号集石土坑（第55図）

本集石はV-54区（第2地点）で確認された。礫は確認面から比較的まとまって出土した。これらの礫を記録して、取り上げ精査したところ、礫の集中が認められ、その礫群が暗褐色の覆土をベースとする土坑の中に包含されていることが判明した。土坑の平面形態は隅丸方形を基調にする不整形で、規模は確認面で長径0.98m、短径0.81m、底面で長径0.58m、短径0.51mを測る。土坑の長軸方向はN-46°-Wを指す。土坑の深さは中央部で約25cmを測り、覆土は2層に分層された。1層は締まりの良好な暗褐色土で礫を多く含んでいた。礫は東から西に傾斜して流れ込んでいたのが認められ、中層に炭化材が良好に遺存していた。この炭化材を試料としてC¹⁴年代測定で得られたBP年代は4630±130であった。

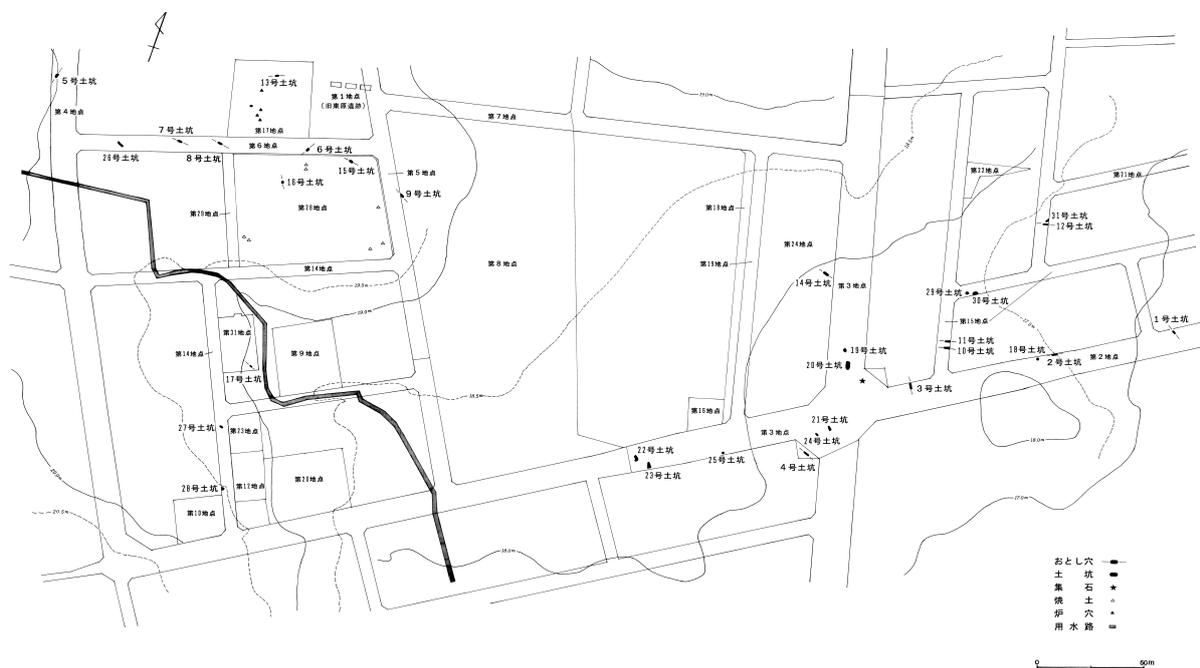
礫は総数500点を数え、総重量は39,543gを量る。10g以下の細片も含んだ礫の平均重量は、79.1gであった。礫は大形のものはない。完形礫は190個。被熱による礫の赤化率は42.8%、タール付着率は31.2%を占め、完形礫は16点であった。礫の接合を行なったところ、78個が接合した。その結果、礫の平均重量は93.7gとなった。遺物は出土していない。

(3) 土坑

本遺跡からは、縄文時代の土坑は35基確認された。いわゆる「おとし穴」と称される土坑が21基で半分



第 53 図 縄文時代の遺構分布図 (1) (1 / 3570)

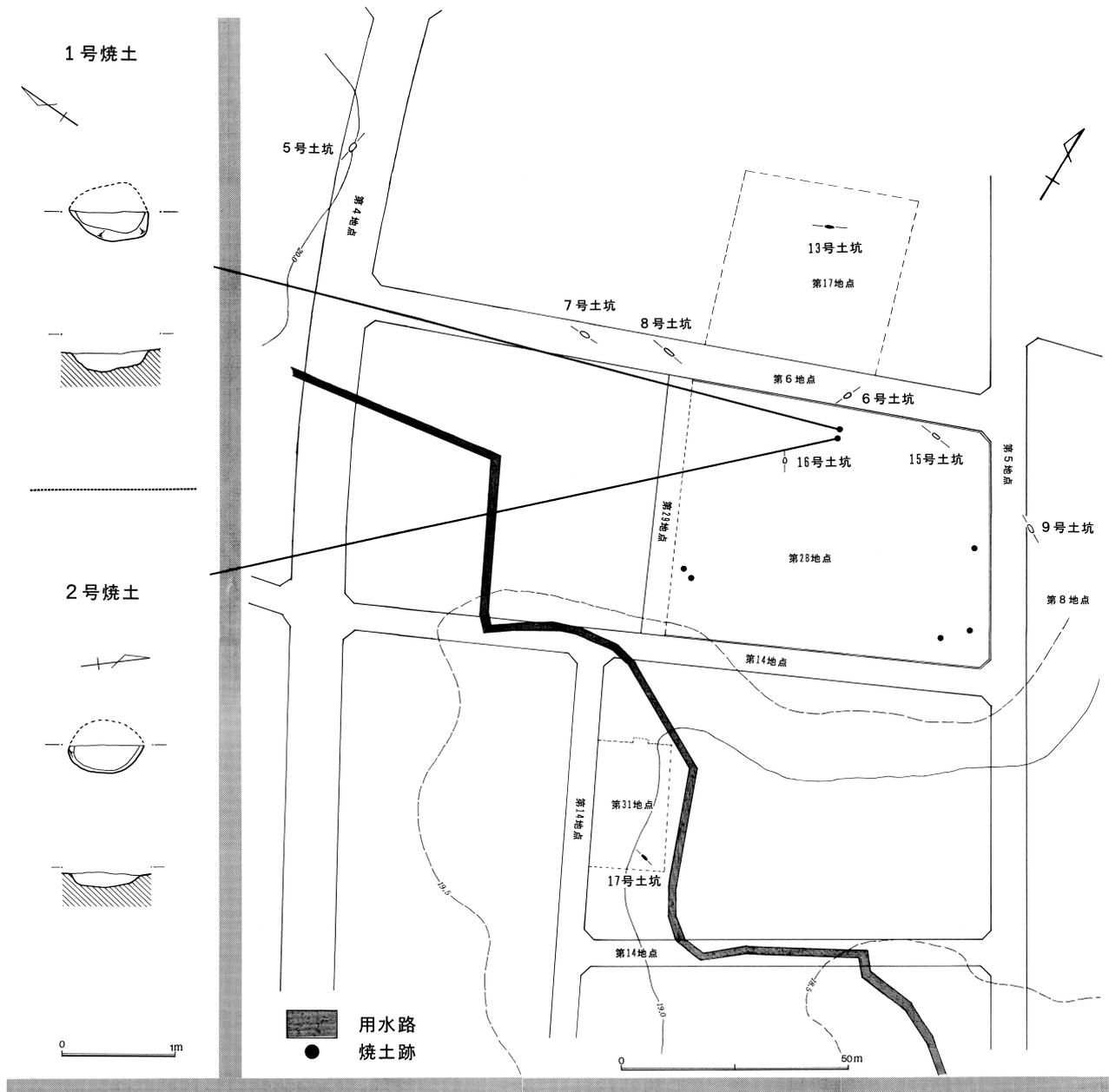


第 54 図 縄文時代の遺構分布図 (2) (1 / 3750)

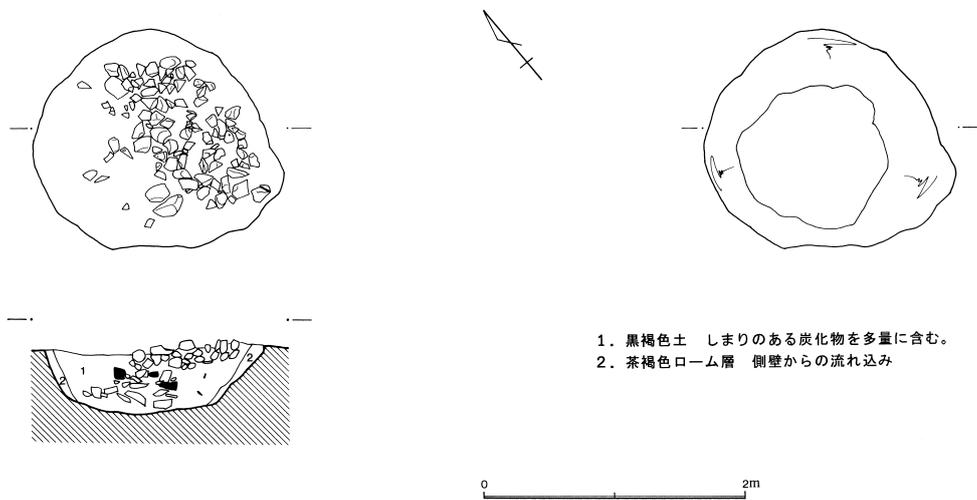
以上を占めていた。6・28地点の微高地部分から5基と2・3・4・15・24・31地点の低地部分から16基の合計21基が確認された。当初の調査段階では下部施設の平面形態、土坑自体の覆土と下部施設の覆土との関係を重視しており、切り割りによる調査は行っていない。

しかしながら切り割り調査は行わなくとも、下部施設の存在を認識さえしていればその検出・調査は可能と考えられる。

本村遺跡は中世集落主体の遺跡である。よってその範囲も該期遺構等の確認から限定されたものである。したがって本遺跡の縄文時代遺構の分布については現



1号集石



第55図 焼土跡位置図 (1 / 1500)・焼土 (1 / 60)・1号集石 (1 / 60)

範囲内とは必ずしも一致しない。その上で縄文時代土坑の分布状況を概観するなら、遺跡を大きく東西に分けて、東の北側からはまったく確認されていない。地形図でわずかに読み取れた小さな微高地の周辺部にまとまる傾向を示す。西側も微高地部分の縁辺部に集中する傾向がある。このことは出土遺物からも同様なことがいえる。遺物の多くは遺構外からの出土であるが、出土箇所は土坑が分布する両微高地近辺である。特に早・前期の遺物の大半は東側の3・24地点からの出土で、中・後期の土器片は西側からも出土し、埋没河川内から堀之内式期が出土している。

土坑の平面形態、規模、出土遺物、分類などについては一覧表を作成したので、それを参照されたい。ここでは下部施設による分類の基準を明らかにして、表で不足する事項についてのみ述べていくことにする。

土坑の分類は、掘り込みが浅くて不整形を呈するものをC型として区別した。おとし穴については下部施設の数などによって2種類に分類した。分類基準は以下のとおりである。

- A型：坑底に小ピットを有するおとし穴。
 - B型：坑底に下部施設・ピットをもたないおとし穴。
 - C型：掘り込みが浅く、不整形を呈する土坑。
- 以下、この分類に準拠して補足説明を行なう。

A型土坑（1～3、8、12、16、17号土坑）

坑底に小さなピットを持つ土坑で、7基を数える。平面形態は、楕円形あるいは長楕円形を呈する。A型土坑の分布は8,16号土坑を除いて遺跡全体の南側に多い。また密集性は低く、単独で構築されたような状況を呈している。1～3号土坑は50～60m間隔で分布し、覆土や形態も共通性を持っている。覆土からの遺物は礫のみで、時期的な問題には何ら言及できない。縄文時代に帰属する他遺構との切り合い関係もない。

1号土坑（第56図）

プラン確認段階で、明瞭に判断できた遺構の一つである。つまり確認面が白色がかった黄褐色土ローム層で、覆土最上層部はたいへん締めりのある黒味の強い褐色土で対照的な色調であったためである。覆土は大別して2層である。大変締めりの強い黒褐色土と、2層以下の層はロームを混じるが粘性に富んでくる。底

面は白色粘土層に達し、小ピットを3本もつ。

2号土坑（第56図）

平面形態は長楕円形を呈し、坑底には、ピットが7カ所認められている。ピットは壁際に偏在する傾向にあり、東側の坑底面は西側と比較して約20cm下がる。覆土は1号土坑に近似する。遺物の出土はない。

3号土坑（第56図）

2号土坑の西約55mから確認された。平面形態は長楕円形を呈し、坑底には4カ所のピットが確認された。北側壁は一部オーバーハングしている。1・2号土坑底のピットと比較して長方形を呈するものも認められた。覆土は1号、2号土坑と共通する。

遺物の出土はない。

8号土坑（第57図）

遺跡西南部の微高地中央部から確認された。平面形態は長楕円形を呈し、坑底中央部に1カ所のピットが確認された。ピットは35×30cmで深さ45cm。覆土は全体に締めり強い。遺物の出土はない。

12号土坑（第58図）61 - ii区に位置する。

これまでのおとし穴とは異なる構造を有する。平面形態はやや長い楕円形で弓型を呈する。中央部に70×45cm、深さ90cmのピット状の掘り込みをもつ。坑底はやや凹凸があり15cm前後と浅い。遺物の出土はない。

16号土坑（第58図）

7号土坑の東側7mより確認された。平面形態は隅丸楕円形を呈し、坑底に3カ所のピットがやや北側に偏るように確認された。それぞれの深さは8.1cm、13.4cm、27.6cmと比較的浅い。土坑全体の覆土は締めり強く、粘性も有る。遺物の出土はない。

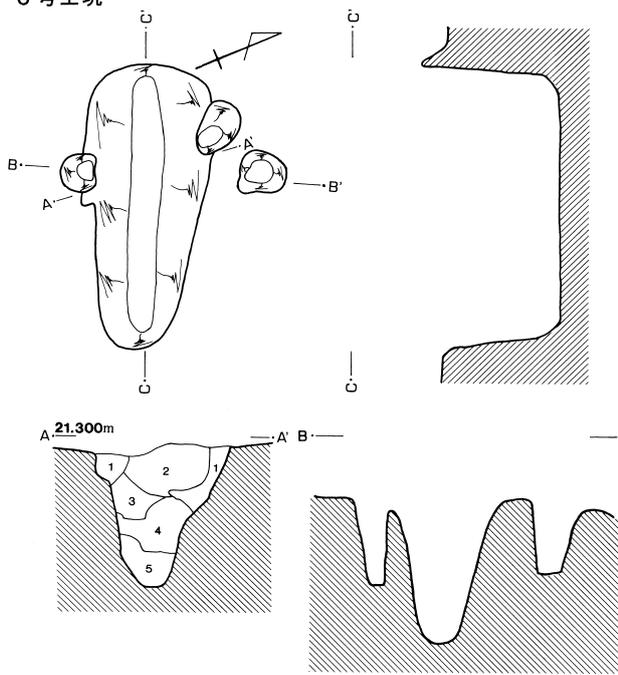
17号土坑（第58図）

低地面の31地点より出土した。平面形態は楕円形を呈し、坑底に2カ所のピット状の浅い凹みが確認された。それぞれとも深さは約10cm前後である。土坑全体の覆土は締めり強く、粘性は強くベタつく。遺物の出土はない。

B型土坑（4～7、10、11、14、15号土坑）

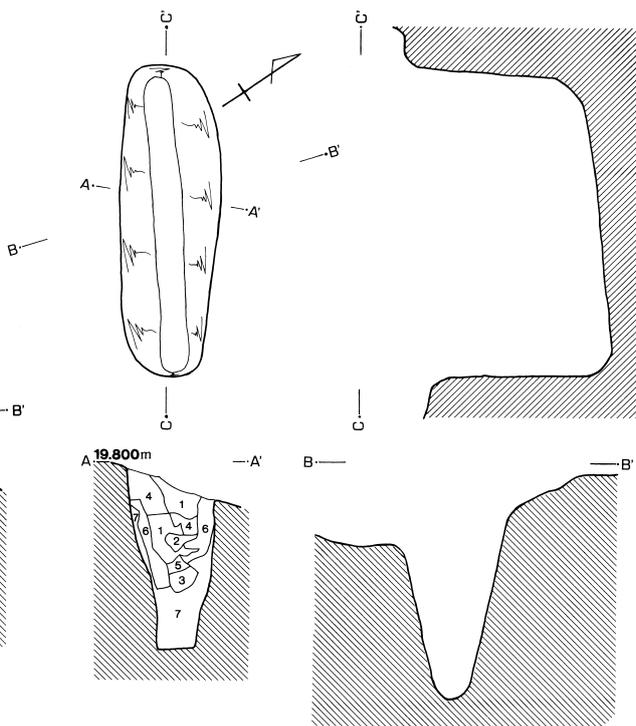
坑底に下部施設をまったくもたない土坑で、8基を数える。平面形態は、楕円形あるいは長楕円形を呈す

6号土坑



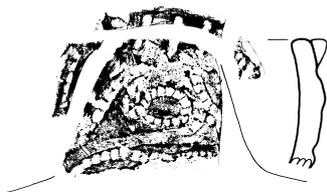
- 1. ロームブロックを含む褐色土。
- 2. しまりのある褐色土。
- 3. ローム粒を含む褐色土。
- 4. ローム粒を含む茶褐色土。
- 5. ロームブロックを含む黄褐色土。

7号土坑

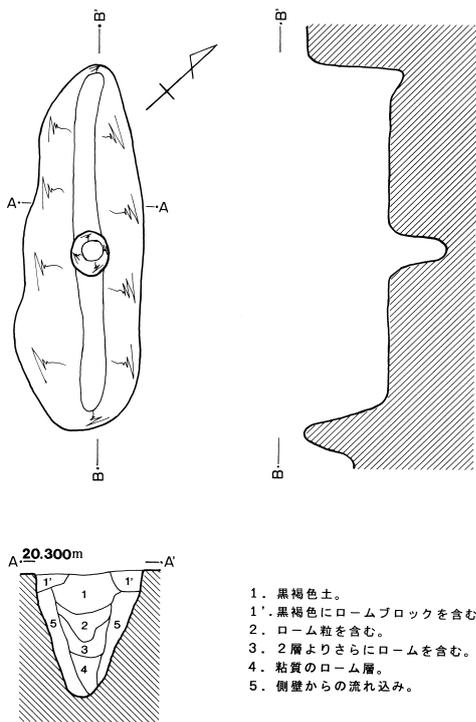


- 1. 褐色土。
- 2. 暗褐色土。
- 3. 褐色土。
- 4. 黄褐色ローム。
- 5. 黄褐色ローム。
- 6. ロームブロックを含む茶褐色土。
- 7. 暗褐色土ローム。

6号土坑出土土器

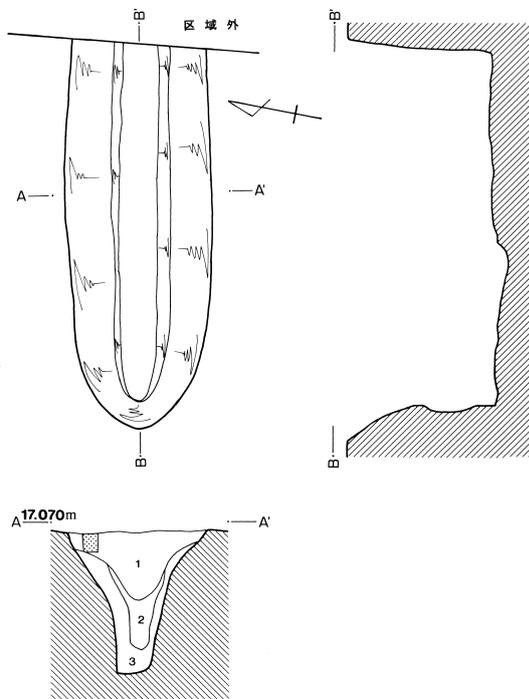


8号土坑



- 1. 黒褐色土。
- 1'. 黒褐色にロームブロックを含む。
- 2. ローム粒を含む。
- 3. 2層よりさらにロームを含む。
- 4. 粘質のローム層。
- 5. 側壁からの流れ込み。

10号土坑



- 1. しまりのある褐色土。
- 2. ロームを若干含む褐色土。
- 3. 側壁からの流れ込みの黄褐色土。

0 2m

第57図 本村遺跡 縄文時代の土坑2 (1 / 60)

るおとし穴である。分布は4～6号と14号土坑の4基が遺跡南西部の微高地上から、他の4基は南東部の低地部から確認された。A型土坑同様に密集性は低く、単独で構築されたような状況を呈しているが、10、11号土坑間は3mと近接し、覆土や形態も共通性を持っている。覆土からの遺物は5号土坑から縄文時代中期土器片1点のみが出土している。時期的な問題には何ら言及できない。縄文時代に帰属する他遺構との切り合い関係もない。

4号土坑（第56図）

遺跡の南西端部で確認された。平面形態は隅丸楕円形を呈し、坑底は礫層に達していた。覆土は締まり強く、粘性も有る。遺物の出土はない。

5号土坑（第56図）

遺跡の南西微高地上で確認された。平面形態は長楕円形を呈し、坑底までの深さは105cmを測る。覆土はロームブロックを多く含む。覆土中から縄文土器の波頭部1点が出土している。波頂部には工具を縦に押し当て、波頂側面にはさらに細い工具で連続刺突している。器面の文様は半截竹管による角押文を楕円の内外に沿わせている。猪沢式期のものか。

6号土坑（第57図）

遺跡の南西部微高地で確認された。平面形態は長楕円形を呈し、坑底は平坦である。壁はほぼ垂直に立ち上がる。覆土は締まり強く、遺物の出土はない。

10号土坑（第57図）

東側の一部が区域外にかかっているが、平面形態は長い楕円形を呈する。壁は垂直に立上り、南北断面はY字状をなす。覆土は締まり強い褐色土が主体。

11号土坑（第58図）

10号土坑の3m北に位置し、東側立上りの一部が区域外にかかっているが、平面形態は長い楕円形を呈する。壁は垂直に立上り、南北断面はY字状をなす。覆土は締まり強い褐色土が主体。形態・覆土共に10号土坑に共通する。

14号土坑（第58図）50-BB区に位置する。

第24地点の中世遺構群が密集する部分から確認された。平面形態は細長い楕円形を呈する。壁は角度をもって立上る。東西断面をみると坑底の東側が下がっている。覆土は締まり強い暗褐色土が主体。

15号土坑（第58図）21-Y区に位置する。

平面形態はやや長い楕円形を呈し、壁はほぼ垂直に立ち上がり、断面形はV字状をなす。覆土のベースはロームだが、最下層は黒褐色土である。遺物出土はない。

C型土坑（18～31号土坑）

本型式に属する土坑は14基を数えるが、浅く不整形を呈すること以外に大きな共通性はない。土坑間の切り合い関係はない。覆土中からの出土遺物はなかった。

18号土坑（第59図）

平面形態は円形に近い形状を呈し、断面は皿状に立ち上がり、壁は緩傾斜で掘り込まれる。坑底は起伏をもち、中央部北寄りに径30cm、深さ15cmのピット状の落ち込みが1ヶ所認められた。覆土のあり方などから判断して縄文時代に位置づけられる可能性が考えられるが、正確な時期は不明である。

19号土坑（第59図）

平面形態は円形を呈し、断面は鍋底状を呈し丸みのある坑底へと続く。

20号土坑（第59図）

南東部を中世の溝に切られる。平面形は不整楕円形で、断面は皿状を呈し、坑底は起伏をもち、北側の円形部でピット状に深く凹む。覆土は締まり強い暗褐色土が主体。

21号土坑（第59図）

平面は隅丸長方形で、断面は鍋底状を呈する。壁は全体として緩傾斜で掘り込まれている。坑底はゆるやかな起伏をもち東側はやや深い。

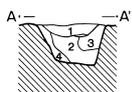
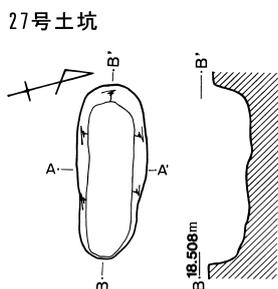
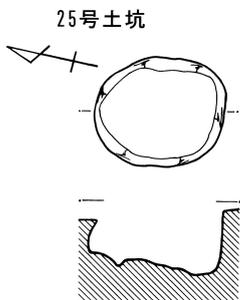
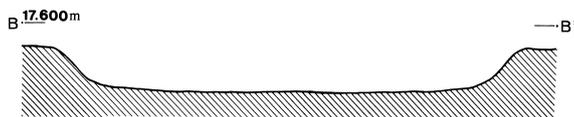
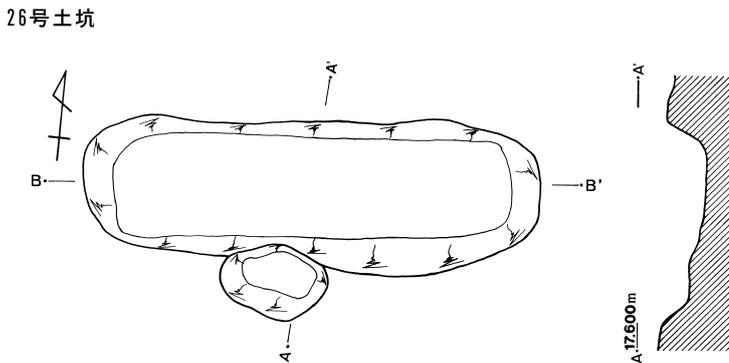
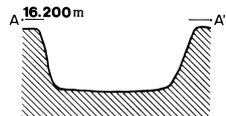
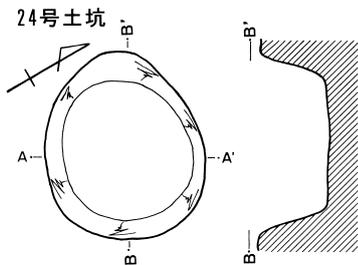
22号土坑（第59図）

平面形態は不整形を呈し、坑底は起伏をもち壁は傾斜をもって立ち上がる。覆土は中位でローム層も入り込む。風倒木痕のようでもある。

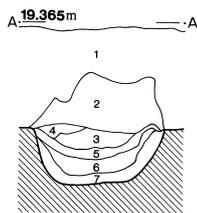
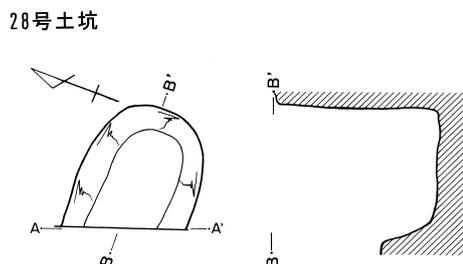
23号土坑（第59図）

南側は調査区域外にかかる。平面形は長楕円形を呈するものと思われる。断面は角をもつ鍋底状を呈する。壁は西側は比較的急傾斜で掘り込まれているが、東壁は緩やかである。

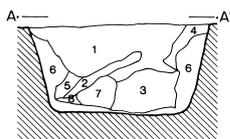
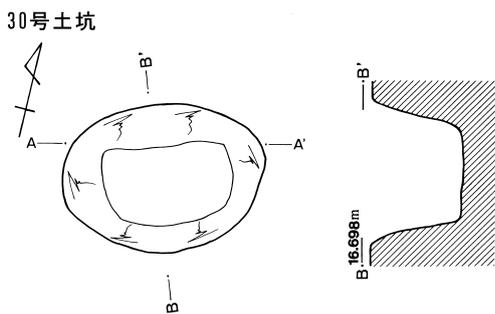
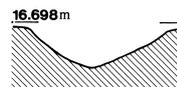
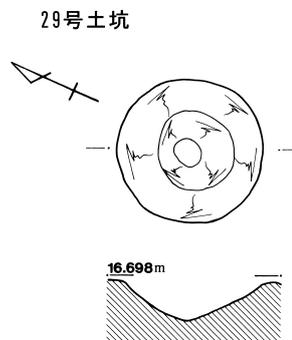
24号土坑（第60図）



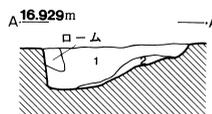
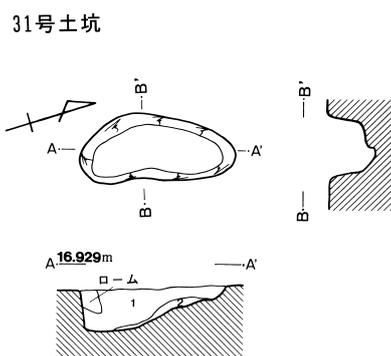
1. しまりのある暗褐色土。
2. しまりのあるうすい暗褐色土。
3. しまりのあるうすい茶褐色土。
4. 側壁からの流れ込みのロームをもつ暗褐色土。



1. ロームブロックを含む黒褐色土、しまりなし。
2. しまりのある暗褐色土。
3. さらにしまりの強い暗褐色土。
4. ロームブロックを含む暗褐色土。
5. 暗褐色土とうすい茶褐色土の混土层。
6. うすい茶褐色土。
7. ロームを大半含む黄褐色土。



1. しまりの強い暗褐色土。
2. ロームブロックを含む暗褐色土。
3. 黒褐色土。
4. 茶褐色土。
5. ロームブロックを大半含む黄褐色土。
6. 側壁からの流れ込み、黄褐色土。
7. 3より明るい黒褐色土。
8. ローム粒を含む黒褐色土。



1. しまりの強い茶褐色土（縄文期特有の覆土）。
2. ローム質土を大量にもつ茶褐色ローム。



第60図 本村遺跡 縄文時代の土坑5 (1 / 60)

平面は円形で、坑底は平坦である。断面は鍋底状を呈し、南東部壁はやや傾斜が緩いが、他はほぼ垂直に立ち上がっている。

25号土坑（第60図）

平面形態は円形に近い形状を示し、坑底は北寄りでの起伏をもち南に傾斜する。断面は鍋底状を呈する。北壁はややオーバーハングする。他はほぼ垂直である。

26号土坑（第60図）

平面は長隅丸方形を呈する。断面は皿状を呈し、坑底は平坦である。壁は緩やかに立ち上がる。中世のピットに南壁の一部を切られる。

27号土坑（第60図）

平面は楕円形で、断面は鍋底状を呈する。坑底はやや起伏があり、壁は比較的急に立ち上がっている。覆土は全体として締まりの強い暗褐色土が主体。

28号土坑（第60図）

西側は調査区域外にかかるが、ほぼ楕円形を呈すると想定される。坑底はやや起伏があるがほぼ平坦といえる。壁は北側が最も急に立ち上がる。覆土は縄文時代特有の暗褐色土が主体。

29号土坑（第60図）

平面は円形で、断面は擂鉢状を呈する。坑底は狭い。壁は緩やかに立ち上がる。

30号土坑（第60図）

平面は楕円形で、断面は鍋底状を呈する。壁は急傾斜に立上り、おとし穴的土坑とも捉えられる土坑である。覆土は複雑に入り込む。

31号土坑（第60図）

平面は不整な楕円形で、坑底は起伏があり断面は非対称形をなす。

（坪田幹男）

第11表 本村遺跡の縄文時代土坑一覧

No.	旧No.	形態	確認面		底面			下部施設の有無
			長径×短径	長径×短径	深さ	主軸方位		
(おとし穴)								
1号	2地点2号	楕円	160×95	125×60	65	N60W	小ピット3	
2号	2地点4号	長楕円	255×80	235×35	55	N73E	小ピット7	
3号	2地点5号	長楕円	340×76	320×40	90	N25W	小ピット4	
4号	3地点E区	長楕円	0×76	20×40	90	N25W		
5号	4地点1号	楕円	180×90	160×60	105	N28E		
6号	6地点1号	長楕円	225×90	200×25	90	N67W		
7号	6地点2号	長楕円	245×75	230×23	150	N61W		
8号	6地点3号	長楕円	285×95	260×20	65	N48W	小ピット1	
9号	8地点1号	長楕円	284×104	270×50	110	N69W		
10号	15地点23号	長楕円	×110	×45	110	N78E		
11号	15地点24号	長楕円	(320)×75	250×25	100	N79W		
12号	15地点32号	長楕円	(250)×65	200×35	90	N57W		
13号	17地点2号	長楕円	280×55	245×15	55	N84E		
14号	24地点13号	長楕円	280×55	250×25	65	N75W		
15号	28地点1号	長楕円	190×70	160×15	105	N70W		
16号	28地点28号	楕円	180×145	150×85	70	N36W	小ピット3	
17号	31地点7号	長楕円	165×65	150×40	85	N69W	小ピット2	
(土坑)								
18号	2地点D区3号	円	143×100	103×87	20	N28W		
19号	3地点35号	円	110×105	70×60	30	N24E		
20号	3地点37号	不整楕円	385×195	×	90	N26W		
21号	3地点42号	隅丸楕円	180×95	145×75	32	N38W		
22号	3地点D2号	不整	285×105	180×80	58	N53W		
23号	3地点D3号	長楕円	-×130	-×60	40	N8W		
24号	3地点E1号	円	145×125	110×100	48	N72W		
25号	3地点E2号	円	105×78	90×73	50	N12W		
26号	6地点4号	隅丸楕円	350×115	305×75	33	N82W		
27号	14地点B32号	楕円	137×55	118×34	28	N72W		
28号	14地点B33号	楕円	-×95	-×55	40	N87E		
29号	15地点D号	円	115×112	65×60	30	N-S		
30号	15地点E21号	楕円	160×116	100×60	72	N66E		
31号	15地点E31号	楕円	120×52	100×35	32	N8 E		

なお、51号・52号井戸は大型の掘立柱建物跡（32号掘立）にともなう井戸の可能性が高い。

註

⁽¹⁾ 大井町遺跡調査会 「武州大井のむかしを掘る」2003年

17 節 土 坑

土坑は、合計439基が発見されている。中世～近世期のものと想定されるが、遺物を伴うのが少なく、大半は詳細が不明である。また用途も不明のものが多いため。分布の密度が高い区域が下記のように存在する。

- ① 地下式壙群の分布区域に近接して多い区域。（第3地点・24地点、第14地点・第28地点、第21地点）
- ② 掘立柱建物跡の分布区域に近接して多い区域。（第5地点、第15地点）土坑の記述については、紙副の関係上、次の土坑のみにとどめる。その他については平面図と断面図及び土層解説を記載する。あわせて第16表(208頁以下)に計測表を付す。

土坑 33（第114図）

第3地点の土坑群の一角から確認された。第24地点との境界に及んでいた。径160cmの円形土坑の底面から60cm程の厚みで、礫が隙間なく集められた状態で確認された。集石土坑である。間層に土が認められず、礫は拳大から小砂利にいたるまでびっしりという表現が適切な出土状況である。中には、板碑片・陶器片・土器片・鉄滓片などが含まれる。出土量は軽トラック荷台一杯分の約0.7m³分である。また集石層の上部をローム質の茶褐色土が10cm前後覆っている。

土坑断面は、鍋底形を呈し底面は平坦である。

土坑 294～土坑 306（第124図）

実は、これは32号掘立柱建物跡として位置づけた遺構と、同位置から確認された。

すべての土坑どうしが直交して切りあう。これらは以下に分類される。

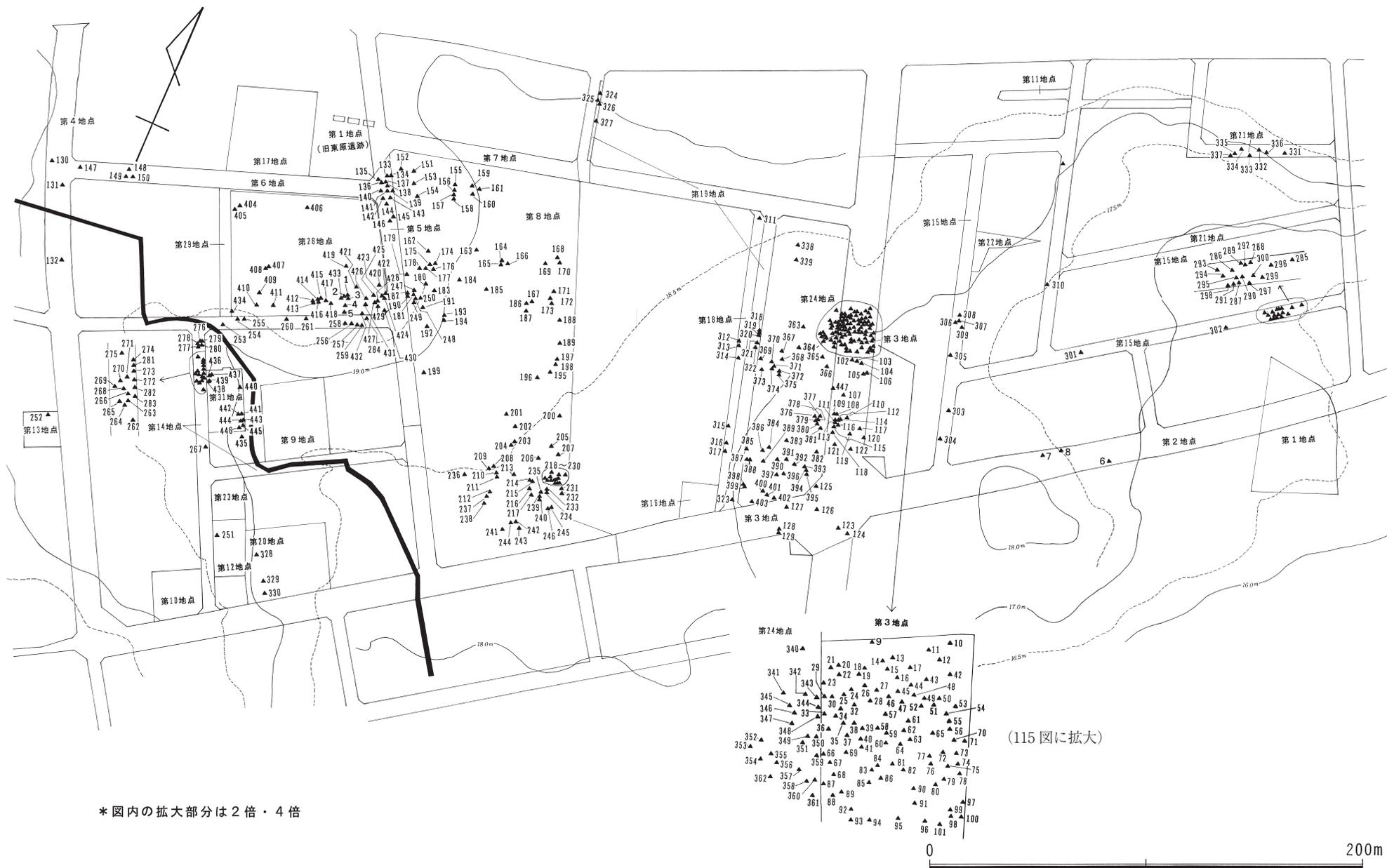
A類：形状が長方形で、長軸が250cm～270cm・短軸100cm～120cm。深さは確認面から15cm程度である。底面にピットをもつ。（土坑296・299・300・302・304・306）

B類：溝状に細長い長方形を呈する。長軸が360cm～340cm・短軸70cm～50cm。深さは確認面から35cm。底面にピットを有する。（土坑302・303・305）掘立柱建物跡の項目でも扱ったが、A類とB類の土坑の他に、ここには掘立柱建物跡が一体として重複している。32号掘立柱建物跡は主軸が東西に向く。あわせてこれらの土坑群も主軸が掘立柱建物跡に沿う。このことから土坑の用途は、建物に関連する土坑と判断される。

土坑という名称を付しているが、建物の基礎部分としての用途が考えられよう。これらと同様なものと考えられるものに土坑347～352（第128図）がある。

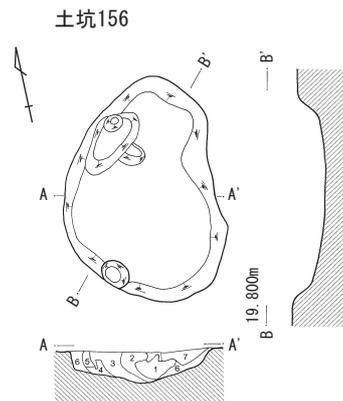
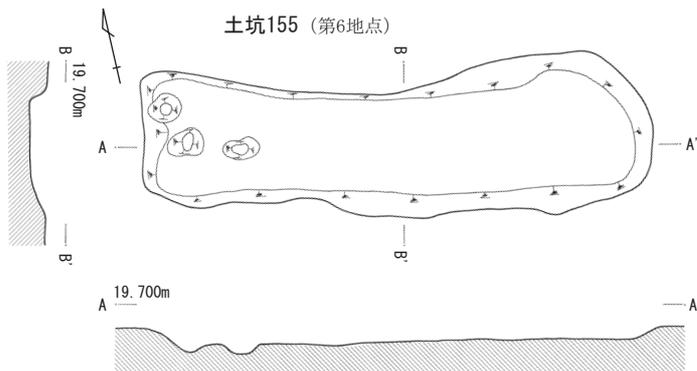
また土坑394～397（第133図）に切られる溝状の土坑もB類土坑と思われる。北には小規模な段切りが構築され、その直下にはほぼ等間隔で南北に掘られる。幅は20～25cm、長さは200～300cm。深さは35cmである。

（坪田幹男）

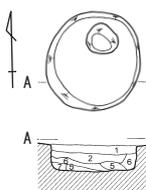


* 図内の拡大部分は2倍・4倍

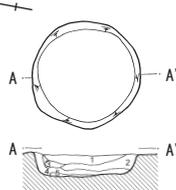
第112図 本村遺跡 土坑分布図 (1 / 2500)



土坑157



土坑158



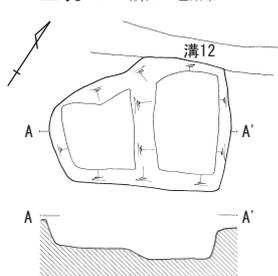
土坑157・158

1. ローム粒子を含む黒褐色土。
2. ロームブロック・粒子を含む黒褐色土。
3. ロームブロック。
4. ローム粒を多量に含む赤茶褐色土。
5. 黒褐色土。
6. ローム粒を含む褐色土。
7. ローム粒を多量に含む褐色土。

土坑156

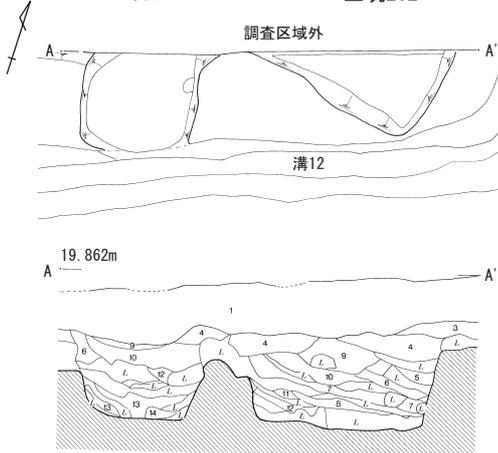
1. 焼土粒・焼土ブロックを含む茶褐色土。
2. 焼土粒を含む褐色土。
3. 暗褐色土。
4. 茶褐色土。
5. 褐色土。
6. 茶褐色土。
7. 黒色土と褐色土を含む混土层。

土坑260 (第14地点)



土坑261

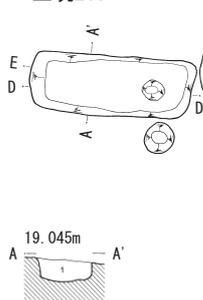
土坑262



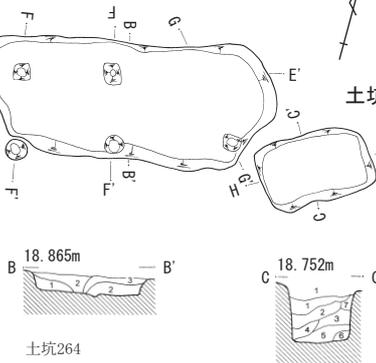
土坑261・262

1. 比較的明るい暗褐色土。
2. ロームブロック粒子を多く含む暗褐色土。
3. ローム小ブロックを含む黒色土。
4. ローム粒子を多く含む黒褐色土と、縮まりの有る暗褐色土がモザイク状に入り込んでいる。
5. 暗褐色土と、縮まりの有る黒褐色土を含む。
6. 5層に近似しているが、より暗褐色土を多く含む。
7. 茶褐色土と黒褐色土の混土层。
8. 軟質の黒褐色土。
9. 軟質の暗褐色土。
10. 9層よりやや黒っぽい暗褐色土。
11. 黒褐色土中にロームブロックを含む。
12. ロームブロックを含む黒褐色土。
13. ローム粒を含む暗褐色土。ローム粒の量はさほど多くない。
14. 13層より若干ロームが多い。
15. 茶褐色ローム。汚れたようなローム層で、ベタつく。
16. ローム粒・ブロックを多く含む層。

土坑263



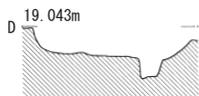
土坑264



土坑265

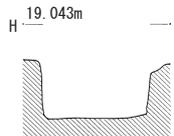
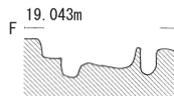
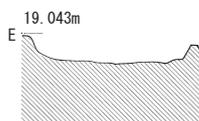
土坑265

1. ローム粒を含む茶褐色土。
2. ローム粒を含む黒褐色土。
3. 赤褐色を呈するローム質土(粘性土)。
4. 暗茶褐色土。
5. ロームブロックを含む茶褐色土。
6. ロームブロック(汚れた赤褐色土)。
7. ロームブロック(汚れた赤褐色ローム)。



土坑264

1. ローム粒を多く含む暗褐色土。
2. 軟質な茶褐色土。
3. ロームブロックを含む茶褐色土。



第 120 図 本村遺跡 土坑 8 (1 / 80)

18節 溝

溝は52条が確認された。その用途上以下のように分類される。

- ① 道路状遺構の側溝として掘られたもの。
- ② 何らかの施設を仕切るためのもの。

別表には全ての溝跡について記載したが、ここでは特徴的な溝についてだけ紹介する。

1号溝（第138図）

位置 5-U区 この溝は上記用途の②に相当する。発掘調査以前、当該場所には「第六天」と呼ばれる小さな祠が安置されていた。屋敷神として祀られていた可能性がある。西側部分が調査区域外になっているが、全体の約2/3を確認できた。

規模 南北11.8m、東西は推定で10mを測る。全体形状は隅丸方形を呈する。溝が全周する。出入口と思われる南側部分は140cm幅でやや狭いが、それ以外部分の溝幅は230～250cmである。確認面からの深さは概ね60cm程度である。溝に囲まれた中心部には径360×180cm、深さ70cmの楕円形を呈した土坑状のものが存在する。断面はテラス状のものをもちながらゆるやかに開きながら立ち上がる。

覆土 溝内には全体として締まりの弱いソフトロームや黒色土が入り込んでいる。

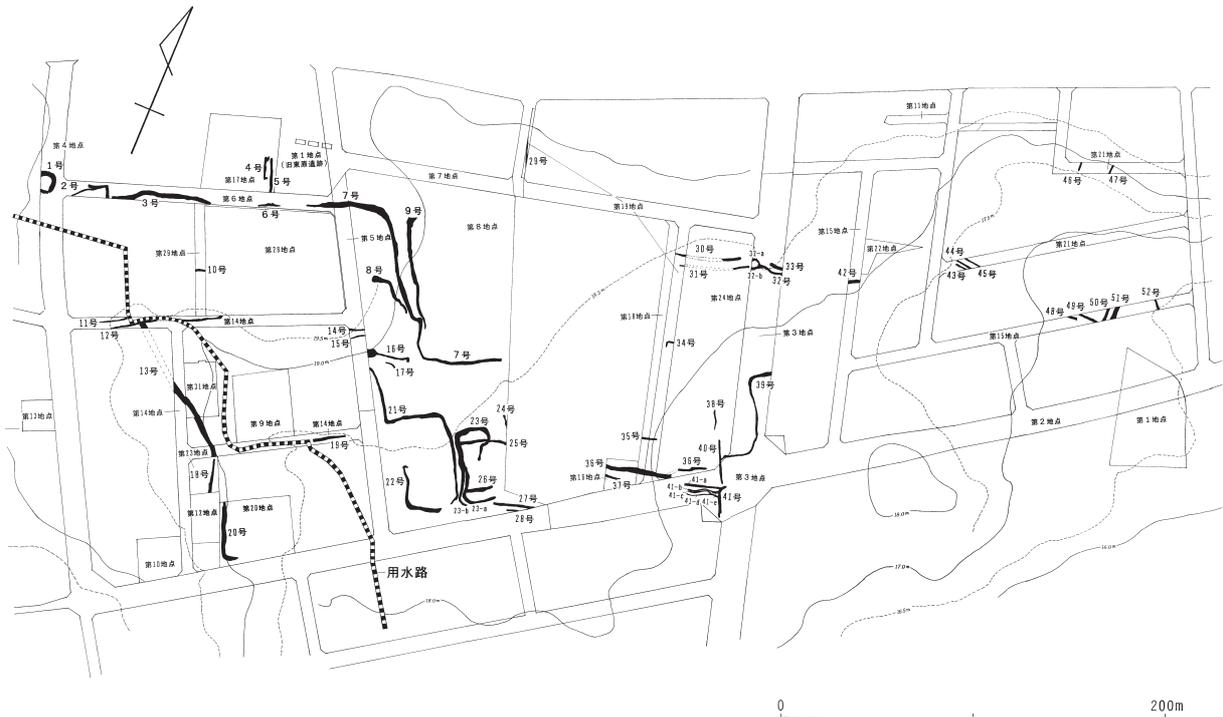
遺物 銭貨が10枚出土している。

備考 時期的には近世期を大きく遡らないと思われる。

13号溝（第145図）

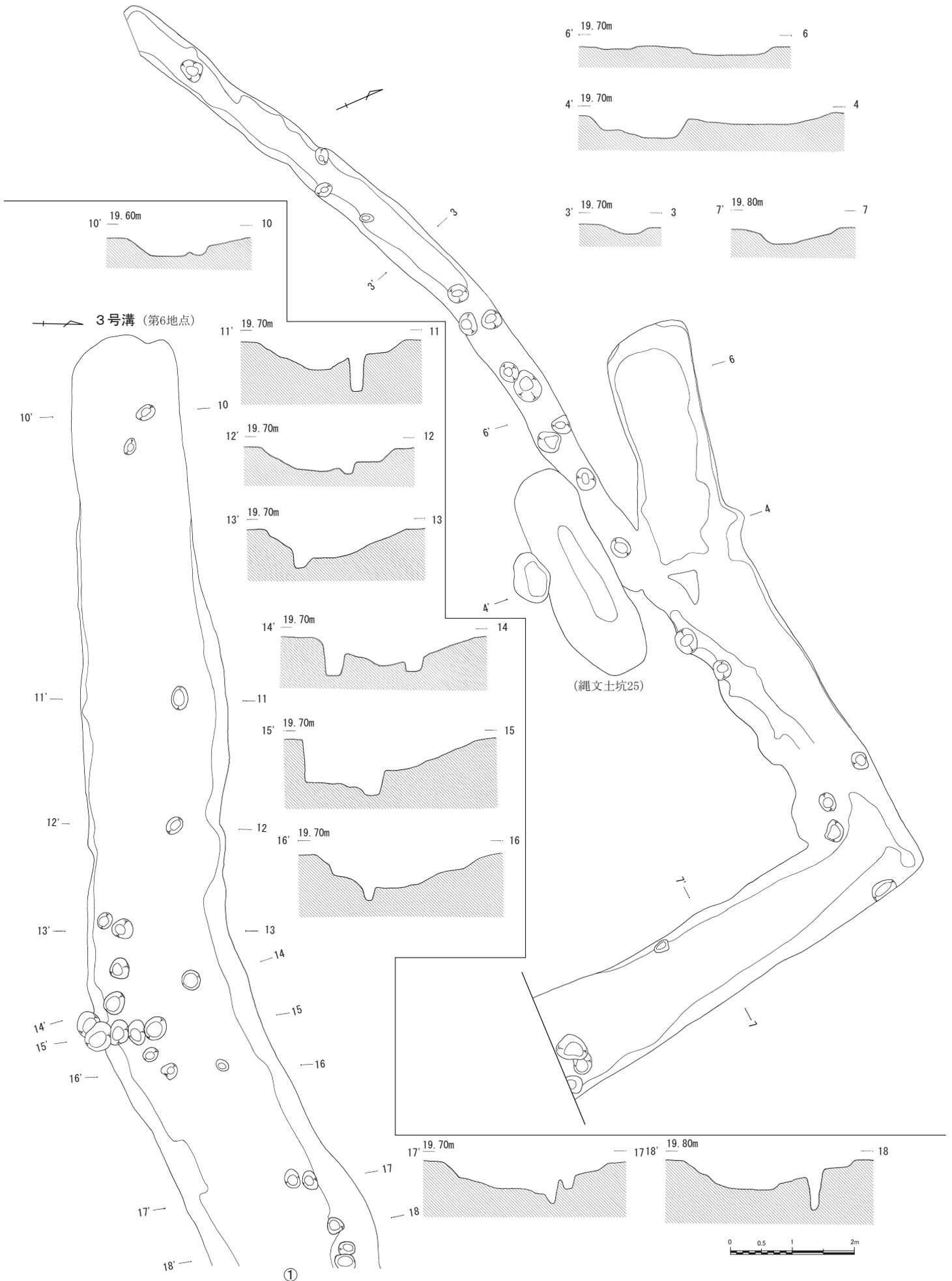
位置 16～18-K～L区 西から東方向に確認された。

規模 本遺跡では最大規模を有する。最大幅で290cmで、概ね平均240cm～260cm前後の幅だが、確認部分で最小幅220cmの部分がある。溝が長さ60cmにわたり立ち上がる部分が最も括れている。断面は、箱葉研に近いが北側の立ち上がりが緩やかで変形的な箱葉研形を呈する。深さは110cm～120cm。立ち上がり部分での確認面からの深さは60cm。ここに計6本のピットを確認した。この浅くなった部分に集中する。しかも南斜面上に穿たれている。なんらかの構築物が想定されよう。



第137図 本村遺跡 中世溝分布図 (1/4000)

2号溝 (第6地点)



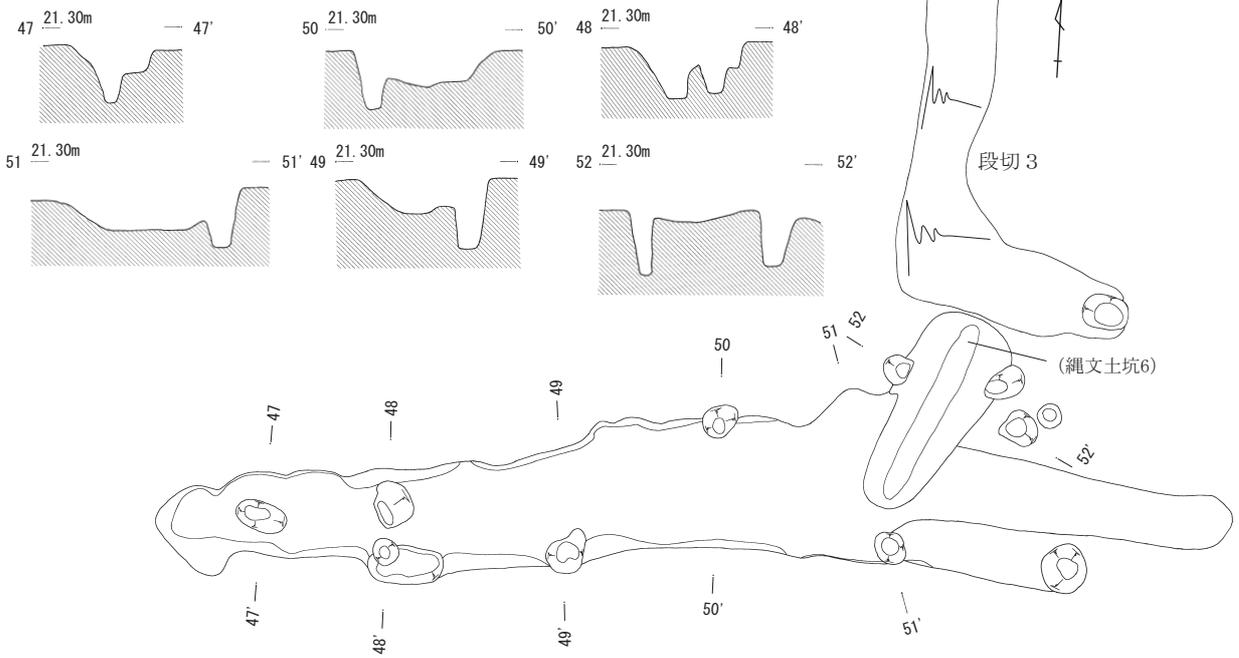
第139図 本村遺跡 溝2 (1/80)

3号溝 (第6地点)



第140図 本村遺跡 溝3 (1 / 80)

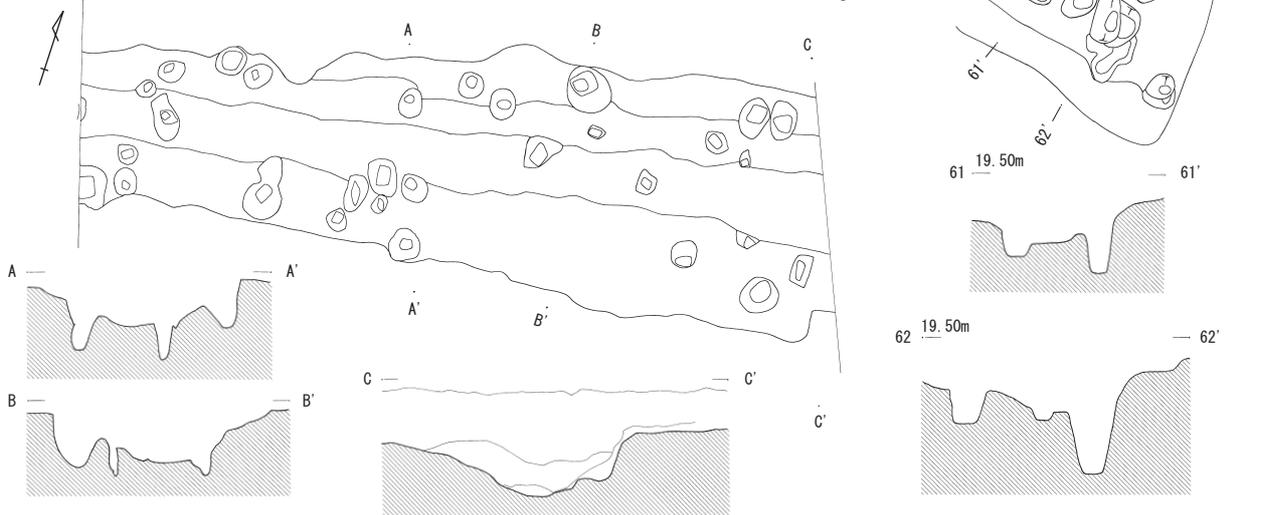
6号溝 (第6地点)



7号溝 (第6地点)



7号溝 (第5地点)



第141図 本村遺跡 溝4 (1/80)

No.	地点	形態	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	備考 (重複関係)
103	本村遺跡 28 - 1	不整円形	3.12	2.98	3.10	土坑 411 を切る
104	本村遺跡 28 - 3	楕円形	1.25	1.11	2.90	
105	本村遺跡 31 - 1	楕円形	2.80	2.26	3.28	
106	本村遺跡 31 - 2	長楕円形	6.42	2.52	1.51	

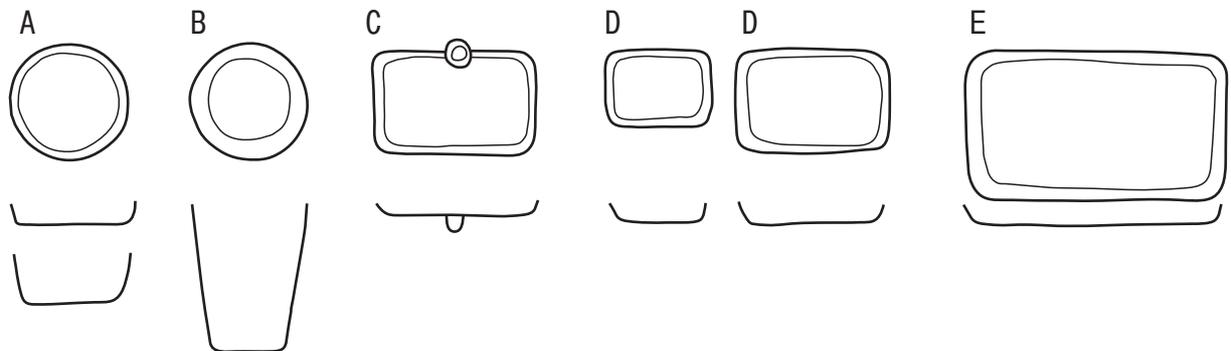
第 16 表 本村遺跡 土坑計測表

No	地点	形態	主軸方向	室部規模 (m)		備考 (重複関係)	分類
				上端 (長×短×高さ)	下端 (長×短)		
1	弁天後 2 - F - 1D	隅丸長方形	N - 73° - W	1.64 × 0.60 × 0.80	1.52 × 0.46		
2	弁天後 3	円形	N - 14° - W	1.05 × 1.02 × 0.28	0.64 × 0.61		
3	弁天後 3	隅丸長方形	N - 73° - E	1.82 × (1.36) × 0.68	1.44 × 1.10		
4	弁天後 3	隅丸長方形	N - 72° - E	1.91 × 1.01 × 0.70	1.69 × 0.80		
5	弁天後 3 - 23D	楕円形	N - 52° - W	1.05 × 0.86 × 0.33	0.82 × 0.64		D
6	弁天後 3	隅丸長方形	N - 21° - W	1.74 × 1.10 × 0.52	1.46 × 0.94	井戸 7 に切られる	D
7	弁天後 3	楕円形	N - 61° - E	2.50 × 0.84 ×	2.12 × 0.60		
8	弁天後 3 - 32D	隅丸長方形	N - 45° - W	1.05 × 0.64 × 0.38	0.91 × 0.50		C
9	弁天後 3	隅丸長方形	N - 66° - E	1.10 × 0.66 × 0.64	0.85 × 0.40	土坑 10 を切る	D
10	弁天後 3		N - 13° - E	1.10 × 0.36 × 0.32	0.74 × 0.15	土坑 9 に切られる	D
11	弁天後 3	隅丸長方形	N - 7° - E	1.31 × 0.80 × 0.32	1.22 × 0.62		C
12	弁天後 3	隅丸長方形	N - 25° - W	1.60 × 1.08 × 0.16	1.44 × 0.91		C
13	弁天後 3	ひょうたん	N - 35° - W	1.42 × 0.36 × 0.24	1.36 × 0.20		C
14	弁天後 3	隅丸方形	N - 69° - E	0.90 × 0.86 ×	0.76 × 0.70		
15	弁天後 3 - 34D	隅丸長方形	N - 32° - W	1.55 × 1.00 × 0.40	1.24 × 0.76	土坑 16 の上	C
16	弁天後 3	隅丸長方形	N - 37° - W	1.06 × ×	0.94 ×	土坑 15 の下	
17	弁天後 3	隅丸長方形	N - 52° - E	1.01 × 0.72 ×	0.87 × 0.58		
18	弁天後 3	隅丸長方形	N - 52° - E	1.12 × 0.09 ×	0.86 × 0.76		D
19	弁天後 3	隅丸長方形	N - 35° - W	1.16 × 0.94 × 0.09	1.00 × 0.80		C
20	弁天後 3	隅丸方形	N - 58° - E	0.70 × 0.59 × 0.57	0.44 × 0.38		D
21	弁天後 3	隅丸方形	N - 68° - E	1.04 × 1.01 × 0.16	0.89 × 0.80		D
22	弁天後 3 - 36D			× 0.99 × 0.38	× 0.82	調査区域外に接する	D
23	弁天後 3	半円形	N - 87° - W	× 1.05 × 0.38	× 0.81	井戸 15 に切られる	
24	弁天後 3	楕円形	N - 70° - E	1.80 × 1.08 × 0.20	1.60 × 0.86		
25	弁天後 3	隅丸長方形		× 1.14 × 0.26	× 0.86	調査区域外に接する	D
26	弁天後 3	隅丸長方形	N - 74° - E	2.43 × 1.45 × 0.23	2.21 × 1.28		E
27	弁天後 3 - 44D	円形	N - 12° - W	0.96 × 0.95 × 1.08	0.77 × 0.76		D
28	弁天後 3 - 43D			× 1.03 ×	× 0.80	溝と調査区域外に接する	
29	弁天後 3	楕円形	N - 27° - E	1.40 × 0.81 × 0.54	0.92 × 0.58		D
30	弁天後 3	隅丸三角形	N - 24° - W	1.86 × 1.50 × 0.79	1.34 × 0.96		D
31	弁天後 3	楕円形	N - 13° - W	0.94 × 0.81 × 0.11	0.65 × 0.59		D
32	弁天後 3	ほぼ楕円形	N - 16° - E	0.84 × 0.57 × 0.12	0.56 × 0.37		D
33	弁天後 3 - 集石土坑						
34	弁天後 3	隅丸長方形	N - 70° - E	2.66 × 0.96 × 0.32	2.54 × 0.86		D
35	弁天後 3	隅丸長方形	N - 42° - E	1.60 × 0.90 × 0.18	1.50 × 0.80		C
36	弁天後 3					┐	
37	弁天後 3					└	
38	弁天後 3 - 2D					┌	
39	弁天後 3					└	
40	弁天後 3	隅丸長方形	N - 58° - E	1.96 × 1.12 × 0.30	1.80 × 1.02		C
41	弁天後 3	楕円形	N - 55° - E	1.10 × 0.84 ×	0.80 × 0.60	土坑 42 の上	
42	弁天後 3			× 1.34 ×	× 1.02	土坑 41 の下	
43	弁天後 3			× 0.80 × 0.56	× 0.50		
44	弁天後 3			× 1.16 × 0.08	× 0.90		
45	弁天後 3	隅丸長方形	N - 27° - W	1.28 × 1.06 × 0.26	1.04 × 0.60	土坑 43・44 と重なる	C
46	弁天後 3			× 1.30 × 0.60	× 1.10		
47	弁天後 3						
48	弁天後 3		N - 53° - E	4.92 × 1.37 × 0.24	4.70 × 1.20		E
49	弁天後 3	隅丸長方形					
50	弁天後 3	隅丸長方形	N - 63° - E	1.04 × 0.66 ×	0.84 × 0.58		
51	弁天後 3	隅丸長方形					
52	弁天後 3	隅丸長方形	N - 23° - W	0.98 × 0.74 × 0.30	0.86 × 0.60	土坑 53 の上	D
53	弁天後 3			× 1.94 ×	× 1.70	土坑 54 に重なり土坑 52 に切られる	F
54	弁天後 3					土坑 53 の下	F
55	弁天後 3 - 38D					土坑 47・48 の下	
56	弁天後 3		N - 30° - W	1.52 × × 0.36	1.36 ×		D
57	弁天後 3 - 41D			× 0.50 ×	× 0.32	土坑 59 の下、土坑 58 と境なし	

No	地点	形態	主軸方向	室部規模 (m)		備考 (重複関係)	分類
				上端 (長×短×高さ)	下端 (長×短)		
123	弃天後3	隅丸長方形	N-62°-E	1.24 × 0.90 × 0.48	1.02 × 0.76		D
124	弃天後3	隅丸長方形	N-40°-E	2.13 × × 0.20	1.89 ×	土坑125の下	C
125	弃天後3-26D	隅丸長方形	N-67°-E	1.43 × 0.98 × 0.38	1.13 × 0.62	土坑124の上	C
126	弃天後3-29D	隅丸長方形	N-50°-E	1.86 × 1.07 × 0.23	1.48 × 0.80		D
127	弃天後3-33D		N-55°-W	1.31 × 1.02 × 0.36	1.13 × 0.83		D
128	弃天後3	隅丸長方形	N-68°-E	0.84 × 0.66 × 0.20	0.63 × 0.54		D
129	弃天後3-16D		N-15°-W	1.90 × ×	1.66 ×	調査区域外と接する	
130	弃天後3	隅丸長方形	N-73°-E	1.34 × 0.96 × 0.48	1.08 × 0.84	土坑131・132の上	C
131	弃天後3	隅丸長方形		× 0.70 ×	× 0.42	土坑130の下	
132	弃天後3-20D	隅丸長方形		× 1.00 × 0.11	× 0.80	土坑130の下	C
133	本村遺跡24-20D	不整形	N-45°-E	× × 0.32		土坑101・134に切られる	
134	本村遺跡24	不整形	N-37°-E	× 1.09 × 0.48	× 0.80	土坑133を切る	
135	本村遺跡24-18D	不整形	N-30°-W	1.66 × × 0.39	1.54 ×	┌ 境なし	F
136	本村遺跡24	不整形	N-23°-W	× 0.49 × 0.18	× 0.37	└ 土坑350・351と隣合う	F
137	本村遺跡24-16D	不整形	N-14°-E	× 0.73 ×	× 0.61		
138	本村遺跡24-15D	不整形	N-70°-E	× 1.00 × 0.39	× 0.81	調査区域外と接する	
139	本村遺跡4-B㊦内1						
140	本村遺跡4-B区1	楕円形		1.30 × 0.85 × 1.12	0.74 × 0.44		D
141	本村遺跡5-古2D	隅丸長方形	N-53°-W	3.00 × 1.15 × 0.36	2.76 × 1.00		E
142	本村遺跡5-古1D・本村遺跡8-32D			× 1.08 × 0.52	× 0.81		
143	本村遺跡5-3D	隅丸長方形	N-42°-W	2.20 × 1.16 × 0.20	2.06 × 0.94		E
144	本村遺跡5-4D						
145	本村遺跡5-5D			× 0.83 × 0.15	× 0.60		C
146	本村遺跡5-6D	隅丸長方形	N-43°-W	2.49 × 0.95 × 0.22	2.36 × 0.82		E
147	本村遺跡5-7D			× 1.00 × 0.63	× 0.80	調査区域外と接する	C
148	本村遺跡5-11D	ひょうたん	N-47°-W	1.31 × 0.47 × 0.12	1.18 × 0.25		C
149	本村遺跡5-8D	隅丸長方形	N-46°-W	3.29 × 1.16 × 0.30	3.10 × 0.99		E
150	本村遺跡5-9D	隅丸長方形	N-36°-W	1.39 × 0.76 × 0.20	1.22 × 0.62		C
151	本村遺跡5-10D	隅丸長方形		× 0.93 × 0.40	× 0.74		C
152	本村遺跡5-12D						
153	本村遺跡5-13D	ほぼ円形	N-47°-W	0.90 × 0.86 × 0.48	0.60 × 0.48		D
154	本村遺跡5-14D	楕円形	N-23°-W	1.04 × 0.80 × 0.50	0.73 × 0.46	溝15の上	D
155	本村遺跡6	隅丸長方形	N-78°-W	5.36 × 1.16 × 0.20	4.92 × 0.96		E
156	本村遺跡6	楕円形	N-10°-E	2.38 × 1.50 × 0.31	2.04 × 1.10		E
157	本村遺跡6	円形	N-9°-E	1.04 × 0.98 ×	0.93 × 0.86		
158	本村遺跡6	円形	N-10°-W	1.16 × 1.10 ×	1.10 × 0.96		
159	本村遺跡8-1D	隅丸長方形	N-5°-W	1.45 × 1.00 × 0.10	1.34 × 0.84		D
160	本村遺跡8-2D	円形	N-43°-W	1.55 × 1.35 × 0.30	1.20 × 1.18		A
161	本村遺跡8-3D	ほぼ円形	N-63°-W	1.20 × 1.00 × 0.10	0.96 × 0.80		A
162	本村遺跡8-4D	円形	N-89°-W	1.20 × 1.10 × 0.65	0.96 × 0.92		A
163	本村遺跡8-5D	円形	N-58°-E	0.90 × 0.85 × 0.30	0.76 × 0.72		A
164	本村遺跡8-6D	円形	N-33°-W	1.15 × 1.10 × 0.35	1.08 × 0.86		A
165	本村遺跡8-7D	円形	N-10°-W	1.15 × 1.05 × 0.55	0.96 × 0.94	8地点2号溝の中	A
166	本村遺跡8-8D	円形	N-86°-E	1.10 × 1.10 × 0.25	0.96 × 0.88		A
167	本村遺跡8-9D	楕円形	N-80°-E	0.95 × 0.60 × 0.10	0.82 × 0.40		F
168	本村遺跡8-10D	隅丸長方形	N-71°-E	0.65 × 0.65 × 0.10	0.56 × 0.54		D
169	本村遺跡8-11D	楕円形	N-23°-E	0.60 × 0.95 × 40.15	0.84 × 0.48		D
170	本村遺跡8-12D	ほぼ円形	N-20°-E	1.15 × 1.10 × 0.25	0.96 × 0.86		A
171	本村遺跡8-13D	楕円形	N-7°-W	1.30 × 1.15 × 1.55	0.84 × 0.76		B
172	本村遺跡8-14D	楕円形	N-51°-W	1.00 × 0.90 × 0.15	0.82 × 0.72		D
173	本村遺跡8-15D	楕円形	N-6°-E	1.05 × 1.00 × 0.20	0.85 × 0.80		A
174	本村遺跡8-16D	ほぼ円形	N-55°-W	1.05 × 0.95 × 1.30	0.68 × 0.60		B
175	本村遺跡8-17D			1.30 × 1.25 × 1.50			B
176	本村遺跡8-18D	隅丸長台形	N-34°-E	1.20 × 1.00 × 0.10	0.96 × 0.80		F
177	本村遺跡8-19D	円形	N-32°-W	1.05 × 1.05 × 0.20	0.92 × 0.88		A
178	本村遺跡8-20D	隅丸長方形	N-88°-E	1.40 × 1.20 × 0.10	1.20 × 1.04		D
179	本村遺跡8-21D	円形	N-29°-W	0.90 × 0.85 × 0.15	0.84 × 0.74		A
180	本村遺跡8-22D	ほぼ円形	N-32°-E	1.00 × 0.95 × 0.25	0.76 × 0.72		A
181	本村遺跡8-23D	楕円形	N-48°-W	1.15 × 0.95 × 0.30	0.88 × 0.72		A
182	本村遺跡8-24D	円形	N-18°-E	1.25 × 1.15 × 0.35	1.04 × 0.96		A
183	本村遺跡8-25D			× 0.85 × 0.15	× 0.52	土坑184に切られる	D
184	本村遺跡8-26D	隅丸長方形	N-63°-E	1.15 × 1.15 × 0.30	0.80 × 0.80	土坑183を切る	A
185	本村遺跡8-27D	隅丸長方形	N-89°-W	1.00 × 1.00 × 0.20	0.68 × 0.72		A
186	本村遺跡8-28D	隅丸長方形	N-0°	1.00 × 1.10 × 0.15	0.88 × 0.80		A
187	本村遺跡8-29D		N-19°-W	1.65 × 0.95 × 0.45	1.32 × 0.52		D
188	本村遺跡8-30D	円形	N-89°-E	1.20 × 1.15 × 0.55	1.00 × 0.92		A
189	本村遺跡8-31D	隅丸長方形	N-62°-E	2.30 × 0.84 × 0.15	2.16 × 0.64		E
190	本村遺跡8-33D	隅丸長方形	N-23°-E	2.80 × 1.05 × 0.30	2.08 × 0.80		E
191	本村遺跡8-34D	円形	N-8°-E	1.30 × 1.20 × 0.20	1.12 × 1.05		A

No	地点	形態	主軸方向	室部規模 (m)		備考 (重複関係)	分類
				上端 (長×短×高さ)	下端 (長×短)		
399	本村遺跡 28 - 13D	不整形	N - 27° - W	1.05 × 0.66 × 0.48	0.83 × 0.50		F
400	本村遺跡 28	不整形	N - 25° - W	1.80 × 0.70 × 0.43	1.64 × 0.57	地下式竈に接する	F
401	本村遺跡 28 - 31D	隅丸長方形	N - 33° - W	1.00 × 0.67 × 0.35	0.92 × 0.58		D
402	本村遺跡 28 - 36D	不整形	N - 1° - W	2.21 × 0.55 × 5.44	× 0.40	P131 に切られる	F
403	本村遺跡 28 - P38	隅丸長方形	N - 85° - W	0.91 × 0.58 × 0.30	0.73 × 0.47		D
404	本村遺跡 28 - 37D	円形	N - 5° - E	0.62 × 0.60 × 0.53	0.37 × 0.36		A
405	本村遺跡 28 - 43D	不整形	N - 5° - E	1.50 × 0.65 × 0.30	1.33 × 0.46		F
406	本村遺跡 28 - 27D	隅丸長方形	N - 20° - W	2.72 × 1.71 × 0.58	2.58 × 1.48		D
407	本村遺跡 28 - 32D	円形	N - 30° - W	0.76 × 0.61 × 0.47	0.57 × 0.43		A
408	本村遺跡 28 - 12D	隅丸長方形	N - 17° - W	1.79 × 0.67 × 0.08	1.68 × 0.55		D
409	本村遺跡 28 - 8D	楕円形	N - 17° - W	1.00 × 0.60 × 0.40	0.72 × 0.44		F
410	本村遺跡 28 - P11	楕円形	N - 70° - E	1.08 × 0.64 × 0.48	0.94 × 0.45		F
411	本村遺跡 28 - 26D	隅丸長方形	N - 62° - E	× 0.56 × 1.17	× 0.42	井戸 104 に切られる	D
412	本村遺跡 28 - P19	楕円形		0.76 × 0.39 × 0.35	0.63 × 0.30		F
413	本村遺跡 28 - P12	楕円形	N - 59° - E	0.92 × 0.47 × 0.19	0.72 × 0.36		F
414	本村遺跡 28 - 35D	隅丸方形	N - 40° - E	0.74 × 0.61 × 0.68	0.64 × 0.48	P98・99 を切る	D
415	東原遺跡 2 - 1	隅丸長方形	N - 18° - W	1.03 × ×	0.82 ×		D
416	東原遺跡 2 - 2	不整形	N - 14° - E	1.16 × 0.64 ×	0.69 × 0.34		F
417	東原遺跡 2 - 3	不整形	N - 53° - W	1.11 × 0.61 ×	0.90 × 0.55		F
418	東原遺跡 2 - 4	隅丸長方形	N - 73° - E	0.90 × 0.53 ×	0.72 × 0.34		D
419	東原遺跡 2 - 5	隅丸長方形	N - 23° - W	2.80 × 0.67 ×	2.48 × 0.52		D
420	本村遺跡 28 - 34D	不整形	N - 73° - E	2.76 × × 0.50	2.62 × 1.09		F
421	本村遺跡 28 - 33D	円形	N - 73° - E	0.69 × 0.65 × 0.28	0.44 × 0.42	┘	B
422	本村遺跡 28 - 25D	不整形	N - 80° - E	1.45 × 1.20 ×	1.05 × 1.12	近 念佛銭	B
423	本村遺跡 28 - 20D	円形	N - 78° - E	1.50 × 1.30 ×	1.25 × 1.19	世 壮年・女	B
424	本村遺跡 28 - 21D	円形	N - 45° - E	1.75 × 1.63 ×	1.43 × 1.46	墓 壮年・女	B
425	本村遺跡 28 - 22D	不整形	N - 78° - E	1.17 × 0.93 ×		竈 幼児・熟年男	B
426	本村遺跡 28 - 23D	不整形	N - 87° - E	1.34 × 1.14 ×	1.24 × 0.96	壮年・女	B
427	本村遺跡 28 - 24D	不整形	N - 31° - E	1.81 × 1.14 ×	1.61 × 1.02	┘ 熟年・男	B
428	本村遺跡 30 - 1D	円形	N - 55° - W	1.35 × 1.30 × 0.80	0.85 × 0.75		A
429	本村遺跡 31 - 1D	不整形	N - 15° - W	2.25 × × 0.71	1.96 ×	土坑 430 に切られる	F
430	本村遺跡 31 - 2D	不整形	N - 10° - W	1.32 × × 0.67	0.91 ×	土坑 429 を切る	F
431	本村遺跡 31 - 4D	不整形	N - 50° - E	× 0.95 × 0.28	× 0.80		F
432	本村遺跡 31 - 6D	不整形	N - 18° - W	1.31 × × 0.35	1.22 ×		F
433	本村遺跡 31 - 5D	不整形	N - 25° - W	1.21 × 0.80 × 0.19	0.98 × 0.64		F
434	本村遺跡 31 - 9D	隅丸長方形	N - 34° - W	2.06 × 0.82 × 0.53	1.66 × 0.80		F
435	本村遺跡 31 - 10D	隅丸長方形	N - 32° - W	2.10 × 0.95 × 0.60	1.58 × 0.82		D
436	本村遺跡 31 - 8D	不整形	N - 41° - W	1.08 × 0.85 × 0.17	1.02 × 0.78		F
437	本村遺跡 31 - 11D	円形	N - 25° - W	1.14 × 0.98 × 0.25	0.88 × 0.80		A
438	本村遺跡 31 - 12D	半円形	N - 22° - W	0.85 × ×	0.56 ×		F
439	本村遺跡 31 - 13D	不整形	N - 24° - E	3.39 × 1.41 × 0.69	2.75 × 1.15		F

- A 類 平面形態は円形、直形 80 ～ 120 cm、深さ 10 ～ 50 cm。
- B 類 平面形態は円形、直形 80 ～ 120 cm、深さ 80 ～ 150 cm。
- C 類 平面形態は長方形、壁際にピットがある。長さ 100 ～ 200 cm、幅 100 ～ 120 cm、深さ 10 ～ 30 cm。
- D 類 平面形態は長方形、直形 100 ～ 150 cm 前後、幅 50 ～ 100 cm、深さ 10 ～ 30 cm。
- E 類 平面形態は長方形、直形 2 m 以上、幅 1 m 以上、深さ 10 ～ 30 cm。
- F 類 その他、平面形態が楕円形や不定形で、底面が平らでない土坑。

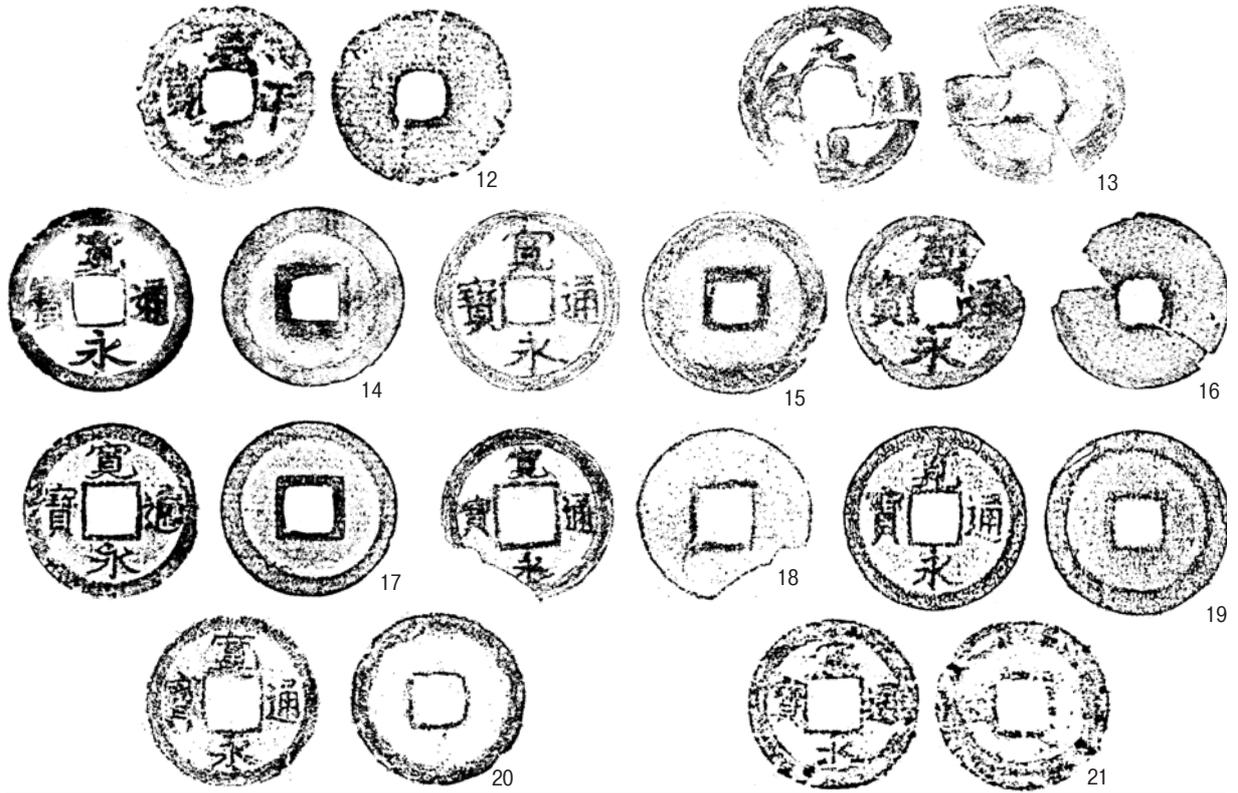
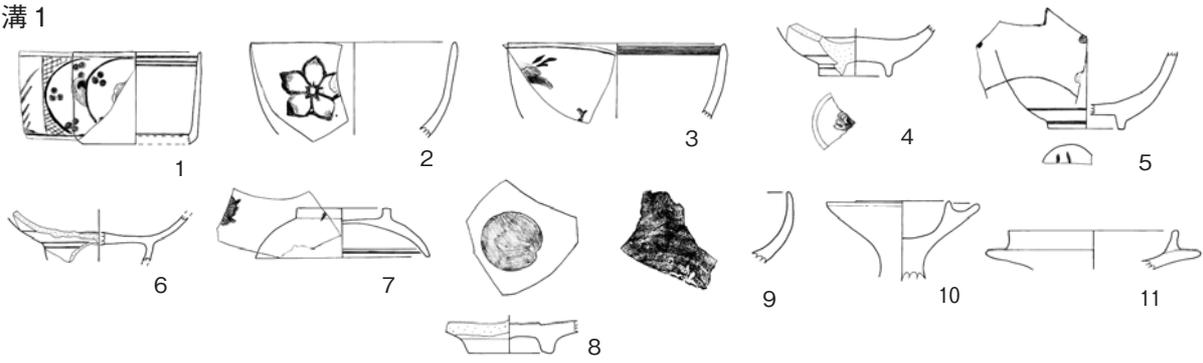


第 17 表 本村遺跡 溝状遺構計測表

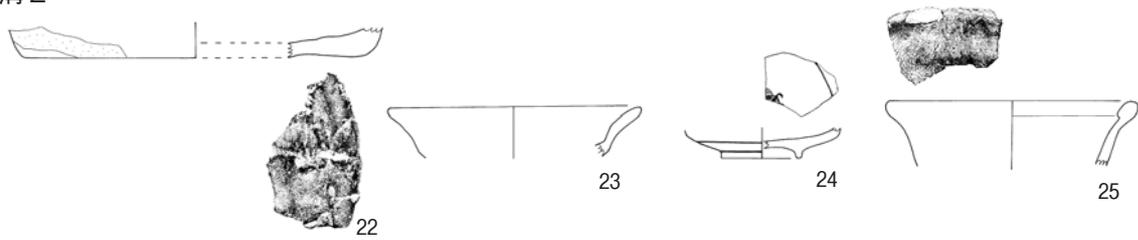
No	地点	溝幅 (cm)		確認面からの深さ (cm)	断面	機能	確認された長さ (m)	出土遺物
		上端	底面幅					
1	本村遺跡 4 - A - 1	210 ～ 272	50 ～ 80	50.8 ～ 78.9	5		14.1	磁器 9、土器 2、銭貨 10
2	本村遺跡 6 - 4	60 ～ 150	25 ～ 100				24.0	磁器 2
3	本村遺跡 6 - 3	10 ～ 250	20 ～ 66		5		50.0	
4	本村遺跡 17 - 2	25 ～ 110	10 ～ 60		5		13.0	

No	地点	溝幅 (cm)		確認面からの深さ (cm)	断面	機能	確認された 長さ (m)	出土遺物
		上端	底面幅					
5	本村遺跡 17 - 1	100 ~ 140	20		5		18.0	
6	本村遺跡 6 - 2	80 ~ 103	80 ~ 120		5		11.2	片口鉢
	本村遺跡 6 - 1	60 ~ 300	40 ~ 70		5		13.8	
7	本村遺跡 5 - A - 1	150 ~ 265	47 ~ 83	32.3 ~ 67.7	4		7.8	陶器
	本村遺跡 8 - 3	80 ~ 380		10.0 ~ 105.0	5		14.5	砥石
8	本村遺跡 8 - 4	80 ~ 320	60 ~ 110	10.0 ~ 25.0	5		27.0	
9	本村遺跡 8 - 1	80 ~ 340	80 ~ 200	20.0 ~ 40.0	5		54.0	
10	本村遺跡 29 - 1	60 ~ 90	12 ~ 33	6.3 ~ 126.8	5		5.2	
11	本村遺跡 14 - D - 6	60 ~ 68	22 ~ 32	6.7 ~ 27.4	1		15.0	
12	本村遺跡 14 - A - 1	55 ~ 90	10 ~ 35	11.5 ~ 50.5	5		25.0	陶器 2
	本村遺跡 14 - D - 5	50 ~ 62	10 ~ 43	3.6 ~ 24.7	1		27.5	
	本村遺跡 14 - B - 2	215 ~ 350	25 ~ 50	39.1 ~ 90.5	5		9.2	板碑 1、陶器片 1
	本村遺跡 14 - C - 2	195 ~ 235	75 ~ 120	41.2 ~ 51.9	5		5.8	
13	本村遺跡 14 - D - 2	284 ~ 315	82 ~ 105	57.1 ~ 74.2	5		4.0	
	本村遺跡 31 - 1	230 ~ 290	20 ~ 30		5		9.6	板碑 1
14	本村遺跡 5 - 6	80 ~ 150	20 ~ 30		5		7.8	
15	本村遺跡 5 - 7	60 ~ 90	20 ~ 40		4		7.0	
16	本村遺跡 8 - 5	50 ~ 100		20.0	5		22.0	
17	本村遺跡 8 - 5 (小)	20 ~ 60			5		6.0	
18	本村遺跡 23 - 1	100 ~ 150			5		18.0	
19	本村遺跡 14 - E - 7	55 ~ 90	35 ~ 72	4.0 ~ 32.7	3		16.0	磁器 1、鉄片 1、瓦 1、中近世 15
20	本村遺跡 20 - 1	190 ~ 260	20 ~ 140	20.0 ~ 55.0	5		35.0	
21	本村遺跡 8 - 6	50 ~ 220		10.0 ~ 50.0	1		108.0	
22	本村遺跡 8 - 12	60		20.0 ~ 30.0	7		42.0	
23a	本村遺跡 8 - 7	120 ~ 250		20.0 ~ 70.0	5		61.0	
23b	本村遺跡 8 - 8	80 ~ 120		40.0 ~ 60.0	5		25.0	
24	本村遺跡 8 - 11	60 ~ 100		40.0	5		7.0	
25	本村遺跡 8 - 10	50 ~ 200		20.0 ~ 60.0	5		20.0	
26	本村遺跡 8 - 9	160 ~ 220		60.0 ~ 160.0	1		13.0	
27	本村遺跡 8 - 13	100		40.0	5		21.6	
28	本村遺跡 8 - 14	50		20.0	5		6.7	
29	本村遺跡 19 - C - 6	53 ~ 80	32 ~ 64	4.0 ~ 17.2	5		18.5	
30	本村遺跡 18・19 - B - 4	45 ~ 105	20 ~ 55	4.6 ~ 9.4	5		5.0	陶器、カワラケ
	本村遺跡 24 - 4	125 ~ 270	30 ~ 55	29.8 ~ 46.5	4		30.0	
31	本村遺跡 18・19 - B - 3	41 ~ 60	24 ~ 33	3.3 ~ 7.4	5		1.9	陶器
	本村遺跡 24 - 5	75 ~ 148	25 ~ 100	8.2 ~ 18.0			34.0	砥石
32a	本村遺跡 3 - B - 4a	60 ~ 190	30 ~ 50	3.5 ~ 36.0	6		16.8	
32b	本村遺跡 3 - B - 4b	120 ~ 190	33 ~ 50	30.5 ~ 42.9	6		4.0	
33	本村遺跡 3 - B - 3	105 ~ 195	75 ~ 100	25.9 ~ 40.3	5		7.1	カワラケ
34	本村遺跡 18・19 - B - 5	50 ~ 85	38 ~ 67	4.0 ~ 13.0	5		6.2	
35	本村遺跡 18・19 - B - 5	65 ~ 115	21 ~ 66	4.9 ~ 14.8	5		8.0	
36a	本村遺跡 16 - 1	170 ~ 300	60	80.0 ~ 120.0	5		15.0	中近世土器 3、土器 3
	本村遺跡 18・19 - B - 1	203 ~ 283	35 ~ 69	50.2 ~ 86.6	5		8.3	土師器 6、板碑 1、礫 2
	本村遺跡 24 - 6	80 ~ 250			5		25.5	石臼
36b	本村遺跡 24 - 4	115 ~ 210	100 ~ 190		5			板碑
37	本村遺跡 16 - 2	80		20.0 ~ 40.0	5		7.5	
38	本村遺跡 24 - 7	50 ~ 70	25 ~ 45		5		9.5	
39	本村遺跡 3 - C - 3	60 ~ 230	20 ~ 40		5		64.0	
40	本村遺跡 3 - E - 3	60 ~ 160	20 ~ 45		3		11.3	土器 16、土師質土器 2、中近世 15、礫 21
	本村遺跡 24 - 8	70 ~ 95	60		1		13.5	
41	本村遺跡 3 - E - 4	70 ~ 150	30 ~ 90		5		17.5	土器 3、古銭 1
41a	本村遺跡 3 - E - 5	80 ~ 180	30 ~ 70		5		18.5	土師器 2、須恵器 1、中近世 3、緑泥片岩 2、チート 1、鉄片 1、礫 1
41b	本村遺跡 3 - E - 6	30 ~ 70	15 ~ 40		1		15.0	土師質土器 1、土器 1、焙烙 1、礫 4
41c	本村遺跡 3 - E - 8	65 ~ 110	20 ~ 40		5		17.5	礫 10
41d	本村遺跡 3 - E - 7	60 ~ 80	25 ~ 60		5		16.5	土器 1、土師質土器 3、中近世土器 2、礫 9
41e	本村遺跡 3 - E	30 ~ 45	15 ~ 20		5		4.0	
42	本村遺跡 15 - B - 6	130 ~ 180	15 ~ 30	53.1 ~ 76.6	5		5.6	土師器 1、中近世 2
43	本村遺跡 21 - A - 3	55 ~ 57	43 ~ 55	2.1 ~ 12.8	5		6.4	
44	本村遺跡 21 - A - 2	72 ~ 115	55 ~ 100	10.2 ~ 23.0	5		9.3	
45	本村遺跡 21 - A - 1	55 ~ 75	40 ~ 62	3.2 ~ 35.1	1		9.8	
46	本村遺跡 21 - B - 2	60 ~ 80	18 ~ 50	13.5 ~ 19.7	5		3.9	
47	本村遺跡 21 - B - 1	65 ~ 92	40 ~ 65	3.6 ~ 13.3	3		5.1	
48	本村遺跡 15 - D - 5	37 ~ 58	22 ~ 32		1		3.7	
49	本村遺跡 15 - D - 4	80 ~ 118	10 ~ 45	17.9 ~ 24.3	1		11.0	
50	本村遺跡 15 - D - 3	130 ~ 170	25 ~ 40	43.8 ~ 49.5	5		6.5	銅製品
51	本村遺跡 15 - D - 2	185 ~ 240	28 ~ 105	1.1 ~ 18.7	3		6.6	
52	本村遺跡 15 - D - 1	78 ~ 128	37 ~ 66	7.4 ~ 14.6	5		5.8	土器 1、土師器 1、焙烙 2

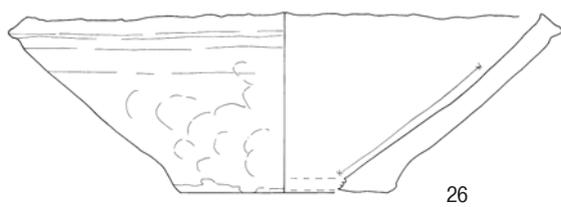
溝1



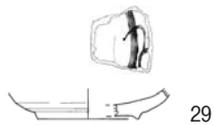
溝2



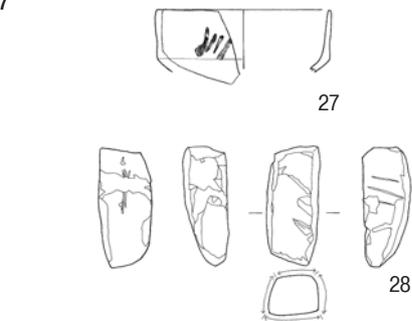
溝6



溝12

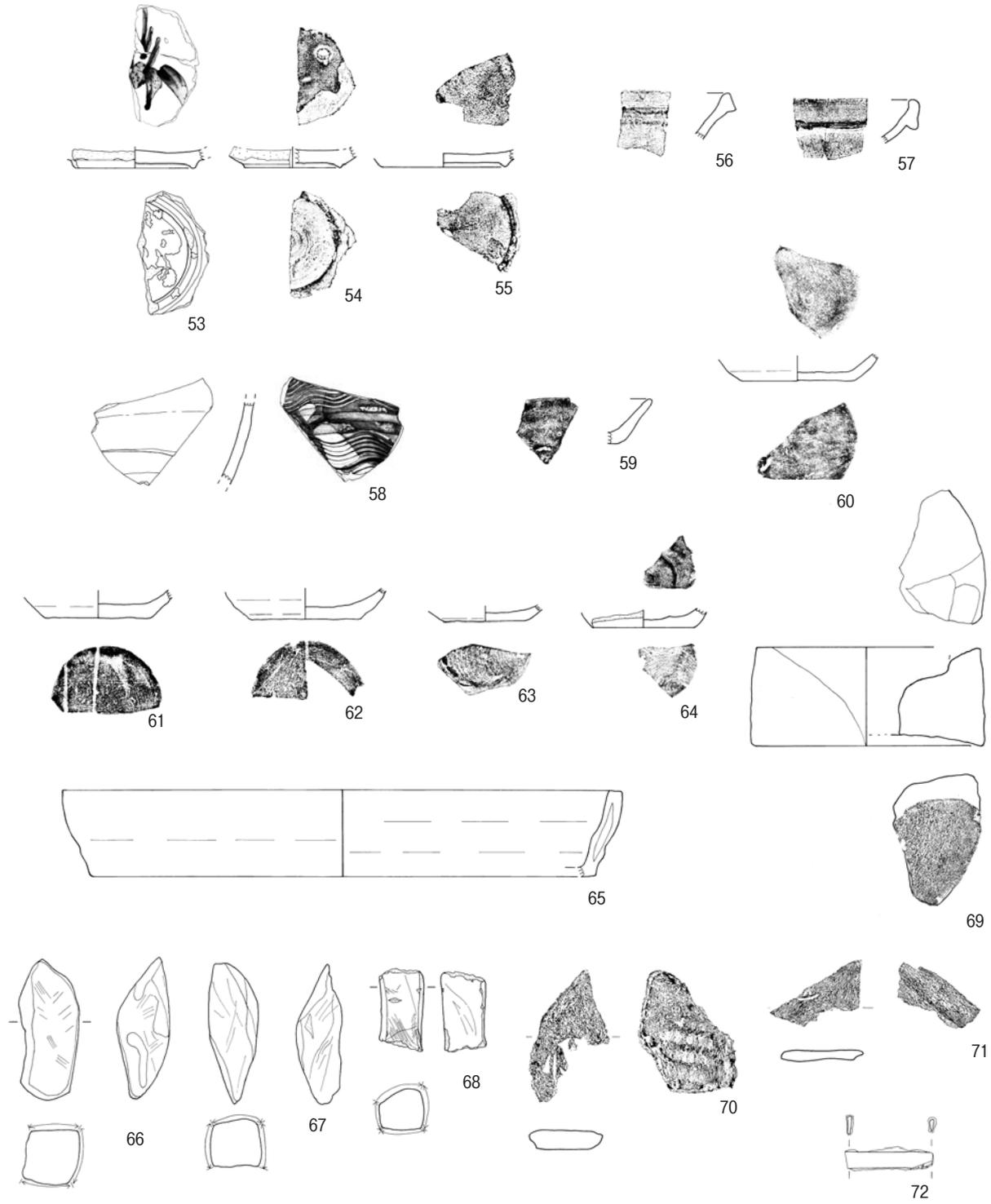


溝7

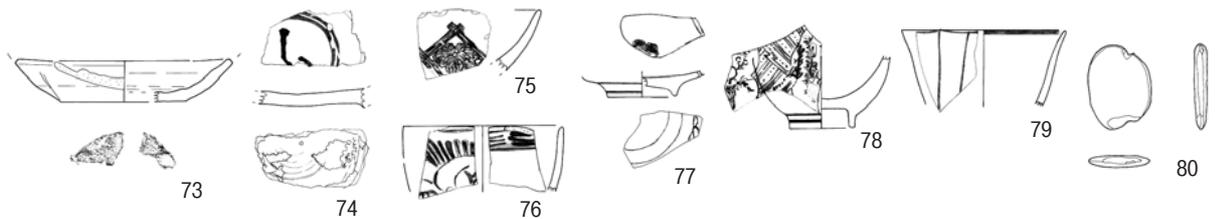


第177図 本村遺跡 溝1・2・6・7・12出土遺物 (1 / 1.1 / 4)

本村遺跡第5地点

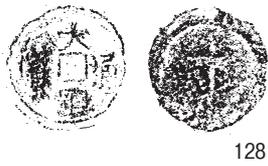
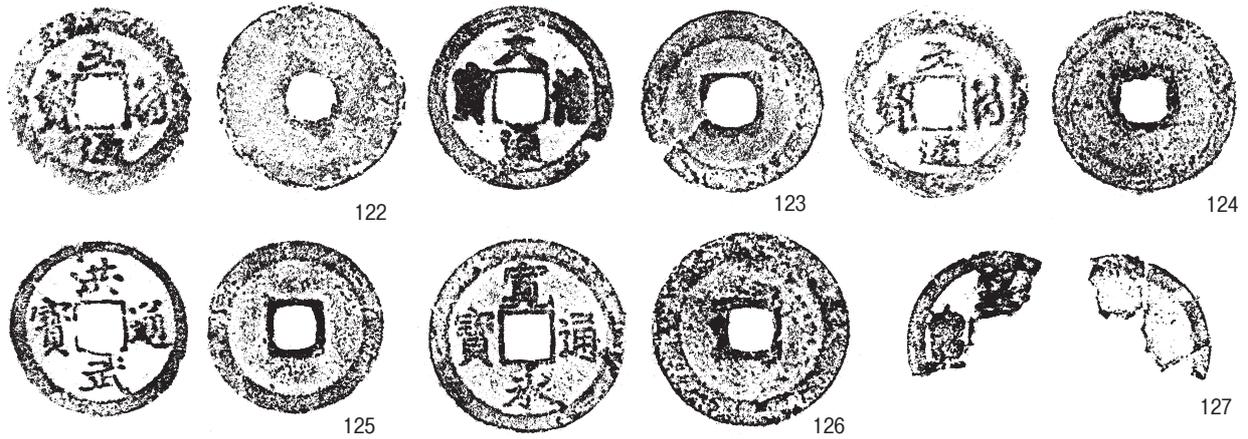


本村遺跡第6地点

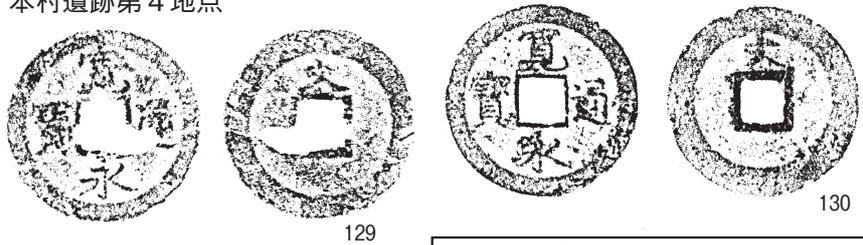


第 184 図 本村遺跡 第 5・6 地点遺構外出土遺物 (1 / 4・1 / 6)

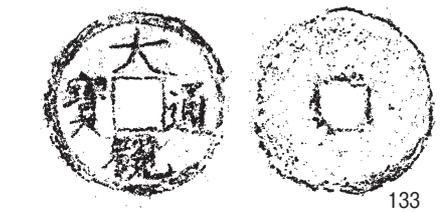
本村遺跡第3地点



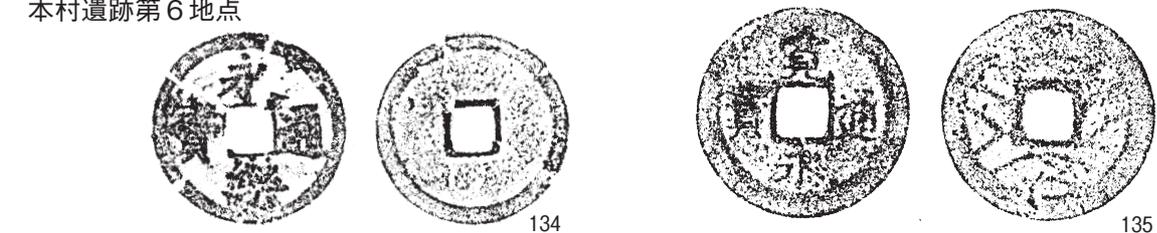
本村遺跡第4地点



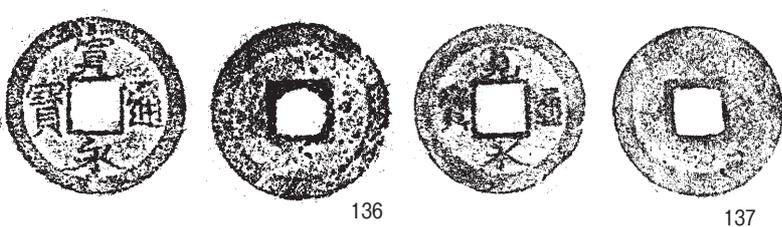
本村遺跡第5地点



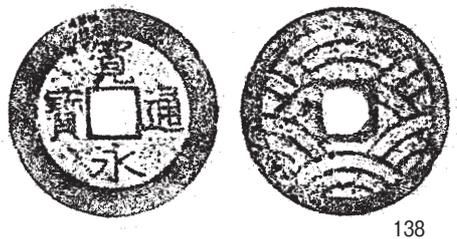
本村遺跡第6地点



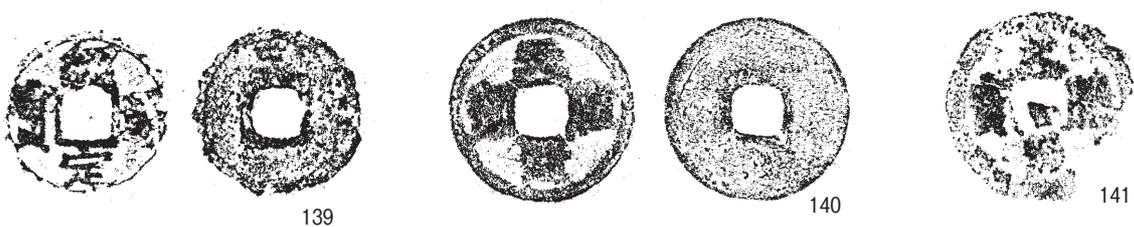
本村遺跡第14地点



本村遺跡第15地点



本村遺跡第24地点



第187図 本村遺跡 第3～6・14・15・24地点遺構外出土銭貨 (1/1)

第18表 本村遺跡 出土遺物観察表

遺構	図版 No	種別・器種	口径・ 長 (cm)	底径・ 幅 (cm)	器高・ 厚 (cm)	技法 / 文様 / その他	推定生産地	推定年代	残存	備考
本村遺跡地下式墳										
1号地下式墳	159 図1	焼締陶器・片口鉢				紐積み成形、体部下半縦に篋撫で。	常滑		10号土坑として取りあげる	
3号地下式墳	2	土器・カワラケ	11.0	5.7		ロクロ成形、回転糸切り(右) / 見込み中央凹む。胎土粉質 / 外側に煤・タール付着。	在地	16世紀前半	1/2以上残存	
	3	銭貨	(第19表参照)							
	4	銭貨								
4号地下式墳	5	陶器・皿		5.0	(1.5)	ロクロ成形、回転糸切り(右) / 灰釉	瀬戸・美濃	15世紀末～16世紀初	底部破片。内面の釉薬に陶器片付着	大窯1 1480～1530
	6	陶器・播鉢				紐積ロクロ成形 / 錆釉	瀬戸・美濃	15世紀末～16世紀初	口縁部破片	
	7	陶器・播鉢	(28.2)		(4.0)	紐積ロクロ成形 / 錆釉、櫛目9本以上	瀬戸・美濃	16世紀末～17世紀初	口縁部破片	大窯4後 1590～1610
	8	土器・内耳鍋				紐作り成形、外面口縁部横撫で、/ 砂粒多量含む。海面骨針含む。	在地	16世紀	口縁部破片	河越館跡、深谷新田ウラ等
	9	土器・カワラケ	11.7	6.2	3.0	ロクロ成形、静止糸切り / 胎土粉質 / 内外面に泥付着。	在地	16世紀後半		水引、10と均質
	10	土器・カワラケ	11.7	6.4	2.7	ロクロ成形、静止糸切り / 胎土粉質 / 内外面一部に煤・タール付着。	在地	16世紀後半	1/2以上残存	水引、9と均質
	11	銭貨	(第19表参照)							
6号地下式墳	12	陶器・花瓶	2.8		(6.0)	ロクロ成形 / 灰釉			1/2以下残存	
	13	銭貨	(第19表参照)							
	14	銭貨								
8号地下式墳	15	焼締陶器・甕				紐積み成形	常滑	14世紀前半	口縁部破片。	7型式
12号地下式墳	16	土器・カワラケ		6.4	(1.5)	ロクロ成形、回転糸切り(右) / 見込み中央凹む。/ 外側に泥付着。	在地	16世紀前半	底部破片	
	17	石製品・粉挽臼・下臼			(11.0)	分画不明。芯棒孔有り。えぐり深さ2.0cm。	砂岩(緻密)		1/2以下残存	
13号地下式墳	18	焼締陶器・甕				紐積み成形	常滑		胴部破片。	
	19	土器・カワラケ	(10.8)	(5.5)	2.8	ロクロ成形、回転糸切り(右) / 胎土粉質。橙色粒含む。	在地	16世紀後半	1/4以下残存	
15号地下式墳	160 図20	磁器・碗		4.8	(1.5)	ロクロ成形、回転削り出し高台(右) / 青磁			底部破片	
16号地下式墳	21	焼締陶器・甕				紐積み成形	常滑	13世紀中葉	口縁部破片。	6a型式N字口縁
17号地下式墳	22	焼締陶器・壺	(13.5)		(3.2)	紐積み成形	常滑	14世紀前半	口縁部破片。	7型式
	23	石製品・茶臼・下臼			6.6	8分画、溝間隔0.7cm。受皿欠。えぐり0.7cm。	安山岩		1 / 4 残 存	
18号地下式墳	24	陶器・播鉢		9.0	(8.5)	ロクロ成形、回転糸切り(右) / 錆釉、櫛目8本	瀬戸・美濃		1/2以下残存	
	25	石製品・板碑	(9.4)	(7.6)	1.8		緑泥片岩			
26号地下式墳	26	陶器・瓶・梅瓶				ロクロ成形、/ 肩部三重沈線、灰釉	瀬戸・美濃	14世紀～15世紀	肩部破片。	古瀬戸後期
	27	焼締陶器・片口鉢	(12.8)	(4.5)		紐積み成形、下半指頭圧痕、底裏砂底 / 内面磨耗	常滑	15世紀～16世紀	底部破片。	
	28	土器・カワラケ				ロクロ成形、/ 胎土粉質。橙色粒含む。	在地		口縁部破片。	
27号地下式墳	29	石製品・粉挽臼・上臼		(27.2)	9.2	6分画、溝間隔3.7cm。受皿深2.3cm、上縁幅3.0cm、断面方形。供給口有り。	砂岩		1/4残存	
28号地下式墳	30	土器・カワラケ・灯明皿	6.9	5.0	2.6	ロクロ成形、回転糸切り(右) 後一部篋削り / 内外面煤付着	在地			
	31	土器・鉢				紐積み成形、口縁横撫で。口唇部は内外面に丸く端部を撫で付け玉縁状になる。/ 砂粒(長石粒多い)多量含む。内面磨耗	在地		口縁部破片	臼樹原D類
	32	石製品・砥石	(6.8)	2.7	2.2	表裏側4面砥面。中央括れる。	凝灰岩		1/2以上残存	
	33	鉄・不明	(7.3)	0.7	0.7					鉄鏝?
30号地下式墳	34	土器・鉢	(35.8)		(8.4)	紐積み成形、口縁横撫で。口唇部は内外面に丸く端部を撫で付け玉縁状になる。体部外面指撫で / 砂粒(長石粒多い)多量含む。内面磨耗。外表面剥離。	在地	15世紀後半	口縁部破片	臼樹原D類
31号地下式墳	35	土器・鉢		(11.8)	(8.8)	紐積み成形、体部外面指撫で / 砂粒(長石粒・片岩粒)多量含む。内面底部磨耗。	在地	15世紀	底部破片	
本村遺跡 井戸										
井戸2	161 図1	陶器・播鉢				紐積ロクロ成形 / 錆釉、	瀬戸・美濃	15世紀前半	口縁部破片	
	2	石製品・砥石	(11.3)	5.2	3.7	2面砥面	凝灰岩		上下裏面破損	
	3	石製品・粉挽臼・上臼		29.2	11.8	分画は不明、溝間隔2.3cm。中央は磨耗し、周縁部の目立ちはやや放射状になる。受皿深2.6cm、上縁幅3.5cm、断面方形。供給口は円形、径3.0cm。芯棒受はドーム形、径3.3cm。挽手穴は方形だが欠ける、奥行4.0cm。挽手穴、芯棒受、供給口は一直線に並ぶ。ふくみ厚3.0cm。	砂岩(緻密)		1/2残存 鉄錆、煤付着	
井戸3	4	土器・カワラケ		(6.0)	(1.3)	ロクロ成形、回転糸切	在地	中世	底部破片	
	5	石製品・粉挽臼・下臼		30.2	15.3	6分画5本溝、溝間隔2.3cm。芯棒孔は上下から穿つ、径3.9cm。ふくみ厚1.3cm。えぐりの深さ2.5cm。	砂岩		1/2残存 鉄錆、煤付着	
井戸4	6	土器・カワラケ		(6.7)	(2.0)	ロクロ成形、回転糸切	在地	中世	底部破片	
	7	焼締陶器・甕					常滑	中世	胴部破片	
	8	土器・焙烙				紐作り成形、口縁部横撫で / 赤色粒子、白色粘土がマーブル状に混入。	在地		口縁部破片	
	9	石製品・砥石	(8.9)	2.9	2.3	表を上下方向に2面と裏面を砥面	凝灰岩			
	10	石製品・砥石	(12.8)	4.5	4.5	表裏側4面砥面	凝灰岩			
	11	石製品・粉挽臼・上臼		(28.0)	(8.8)	溝は放射状、溝間隔1.5～2.3cm。上縁欠損。供給口は円形、径3.8cm。ふくみ厚2.7cm。	砂岩(小礫多量含む)		1/2以下残存 鉄錆、煤付着	
	12	石製品・粉挽臼・下臼		(28.0)	(9.6)	上面欠損。芯棒孔有り。えぐりの深さ2.56cm。	砂岩(小礫多量含む)		1/2残存 鉄錆、煤付着	
井戸5	162 図14	陶器・播鉢				紐積ロクロ成形 / 錆釉	瀬戸・美濃	16世紀～17世紀初頭	口縁部破片	
	15	石製品・粉挽臼・上臼		(32.8)	11.8	溝は放射状、溝間隔1.5～2.7cm。受皿深2.7cm、上縁幅3.5cm、断面円形。ふくみ厚6.5cm。	砂岩(小礫多量含む)		1/4以下残存	
	16	石製品・板碑	(27.0)	(20.8)	3.6	両側縁打ち削り後一部磨く / 柵線有り、銘文は判読不明	緑泥片岩(黄鉄鉱多い)		下部破片	
	17	石製品・板碑	(18.4)	(18.6)	2.7	両側縁打ち削り後一部磨く	緑泥片岩		下部破片	

遺構	図版 No.	種別・器種	口径・長 (cm)	底径・幅 (cm)	器高・厚 (cm)	技法 / 文様 / その他	推定生産地	推定年代	残存	備考
溝 2	22	瓦質土器・鍋		(17.8)	(1.8)	紐作り成形、外面横撫で / 砂粒多量含む。白色粘土がマーブル状に混入。	在地		底部破片	
	23	磁器・皿・端反皿	(13.2)		(2.2)	ロクロ成形 / 青磁		15世紀	口縁部破片	
	24	磁器・碗・筒茶碗		(4.2)	(1.6)	ロクロ成形 / 染付。見込み五弁花	肥前	1740～1810年	底部破片	豊島区、肥前筒碗 1740～1810年
	25	陶器・煙硝摺	(13.1)		(3.6)	ロクロ成形 / 外面から内面口縁まで鉄軸	瀬戸・美濃	17世紀末～18世紀初頭	口縁部破片	瀬戸紀要VI 1987 本兵衛窯、本業焼 4.5期
溝 6	26	焼締陶器・片口鉢	(28.8)	(10.8)		紐積み成形、口縁横撫で、下半指頭圧痕。底裏砂底 / 内面下半磨耗	常滑	15世紀後半	1/2以下残存	10型式
	27	陶器・碗・せんじ碗	(9.1)		(3.0)	ロクロ成形 / 灰釉、染付	瀬戸・美濃	1730～1820年	口縁部破片	豊島区、瀬戸美濃せんじ碗 1730～1820年
溝 12	28	砥石	(6.8)	2.8	2.1	表裏側 4面砥面。鑿節状に端部が磨り減る。	凝灰岩			
	29	陶器・皿・鉄絵志野皿		(5.2)	(1.5)	ロクロ成形、削出し高台 / 長石釉、鉄絵	瀬戸・美濃	1600～1625	底部破片	本業焼瀬戸紀要V
溝 13	178 図 30	陶器・播鉢				紐積ロクロ成形 / 箱釉	瀬戸・美濃	16世紀後半	口縁部破片	大窯 4
	31	石製品・板碑	(28.0)	19.0	2.2	両側縁打ち割り、裏面平ノミ痕 / 主尊種子「キリーク(阿弥陀)蓮座」、紀年銘「応永十八(年)」、右「十月」、左「八日」	緑泥片岩(点紋)	応永18年(1411)	1/2以下残存	
溝 19	32	焼締陶器・片口鉢				紐積み成形、口縁横撫で、下半指頭圧痕。底裏砂底 / 内面下半磨耗	常滑	14世紀後半	口縁部破片	8型式
	33	磁器・碗・端反碗				ロクロ成形 / 染付	瀬戸・美濃	1820～1830年	底部破片	豊島区、瀬戸美濃端反碗 b 1820～1830年
	34	磁器・仏飯具		4.1	(4.2)	ロクロ成形 / 染付	肥前	1750～1760年代	底部破片	江戸シンボVI a 期 1750～1760年代
	35	鉄製品・鎌	2.5	11.8	0.6					柄部欠
溝 30	36	陶器・花瓶		10.1	(4.3)	ロクロ成形、回転糸切り(右) / 灰釉	瀬戸・美濃	14世紀後半	口縁部破片	古瀬戸後期 I 花瓶Ⅲ類 14世紀第IV
	37	陶器・播鉢		(10.4)	(8.0)	紐積ロクロ成形、回転糸切り(右) / 箱釉、櫛目9本	瀬戸・美濃	1440～1480年代	底部破片	古瀬戸後期IV
	38	陶器・播鉢		(11.0)	(4.3)	紐積ロクロ成形、回転糸切り(右) / 箱釉、櫛目10本	瀬戸・美濃	1480～1530年代	底部破片	大窯 1 1480～1530
	39	土器・焙烙				紐作り成形、外面口縁部横撫で、内耳粘土紐を貼付け / 赤色粒子、白色粘土がマーブル状に混入。	在地	16世紀後半		井戸76No.83と同一
	40	土器・カワラケ		(4.0)	(2.2)	ロクロ成形、回転糸切り(右) / 胎土粉質	在地	16世紀後半	底部破片	
	41	土器・カワラケ		4.9	(1.5)	ロクロ成形、回転糸切り(右) 後一部撫で / 内外面襍付着				
	42	羽口・鍛冶炉羽口	(11.2)	9.3	3.0	内径 2.8cm 胎土に小礫多量含む。端部は溶解し発泡する。炉への突出部は 15° の角度を持つ。				
溝 31	43	焼締陶器・甕				紐積み成形	常滑		胴部破片	
	44	陶器・播鉢				紐積ロクロ成形 / 箱釉	志戸呂	16世紀	体部破片	
	45	土器・鉢				紐積み成形、口縁横撫で、下半指頭圧痕 / 白色小礫多量、赤色粒子含む。内面下半磨耗	在地	14世紀後半～15世紀初	口縁部破片	
	46	砥石	(10.0)	3.1	1.8	表裏側 4面砥面。鑿節状に端部が磨り減る。				
	47	銭貨				(第19表参照)				
溝 33	48	土器・カワラケ	(9.8)		(2.8)	ロクロ成形 / 胎土粉質。橙色粒含む。	在地	16世紀	口縁部破片	
	49	土器・カワラケ		(5.6)	(0.8)	ロクロ成形、回転糸切り後に板目状圧痕 / 細砂粒多量、赤色粒含む。	在地		底部破片	
	50	土器・カワラケ		(4.8)	(2.1)	ロクロ成形 / 胎土粉質。橙色粒含む。	在地	16世紀	底部破片	
溝 36a	179 図 51	焼締陶器・甕				紐積み成形	常滑	16世紀前半	口縁部破片	11型式
	52	焼締陶器・甕				紐積み成形	常滑		胴部破片	
	53	焼締陶器・壺		(9.5)	(4.0)	紐積み成形	常滑		底部破片	焼成灰色、自然釉
	54	陶器・播鉢	28.2		(4.2)	紐積ロクロ成形 / 箱釉、櫛目9本以上	瀬戸・美濃	16世紀末～17世紀初	口縁部破片	大窯 4 後 1590～1610
	55	土器・カワラケ		5.5	(1.9)	ロクロ成形、回転糸切り(右) / 見込み外周及び中央やや凹む。白色細粒子多量 / 内面にクール状物質が 0.5mm厚で付着	在地	16世紀	底部破片	
	56	瓦質土器・鉢				紐積み成形、体部横方向撫で / 砂礫粒(長石粒主)多量含む。	在地		胴部破片	
	57	石製品・粉挽臼・上臼		31.4	12.8	6分画? 5本溝、溝間隔 2.0cm、中心付近は磨耗、目立では粗く、やや放射状気味になる。受皿深 3.5cm、上縁幅 4.0cm、断面やや丸い。供給口径 4.4cm。芯棒受はドーム形、径 3.1cm。外周が膨らむ箇所受皿から側面にかけて幅 1.1cmの溝状部分有り。挽手部分か? ふくみ厚 1.8cm。	砂岩		1/2以上残存	埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第77集「深谷城跡(第8～11次)」2006深谷市教育委員会
	58	石製品・粉挽臼・上臼		(26.0)	7.4	磨耗し分画不明。受皿深 3.5cm、上縁幅 4.0cm、断面やや丸い。供給口径 4.4cm。芯棒受はドーム形、径 3.0cm。挽手穴は縦 2.9×奥行 4.0cm。ふくみ厚 1.4cm。モノクハリ溝有り、幅 1cm。	砂岩		1/2以下残存	鉄錆付着
	59	石製品・板碑	(9.8)	(11.6)	1.8	縁打ち割り / 種子「月輪キリーク(阿弥陀)」か左脇持種子「月輪サク(勢至)」	緑泥片岩		破片	
	60	石製品・板碑	(8.6)	(11.6)	1.6	縁打ち割り / 蓮座の一部	緑泥片岩(点紋)		破片	
	61	石製品・板碑	(15.0)	(11.6)	2.2	縁打ち割り / 種子の一部	緑泥片岩		破片	
62	石製品・板碑	(16.0)	(11.6)	2.1	縁打ち割り後磨き	緑泥片岩(点紋)		破片		
溝 40	63	陶器・皿		(5.8)	(1.9)	ロクロ成形、削出し高台 / 灰釉	瀬戸・美濃	1480～1530年代	底部破片	大窯 1 1480～1530
	64	陶器・碗	(10.0)		(4.0)	ロクロ成形 / 透明釉、一部胴縁釉	肥前	1610～1690年代	口縁部破片	II～III期
	65	焼締陶器・甕					渥美	12世紀中葉	口縁部破片	
	66	焼締陶器・壺				紐積み成形	備前	14世紀後半～15世紀初頭		中世3期 b 中世窯業の諸相
	67	焼締陶器・鉢				紐積み成形	常滑	12世紀～13世紀	体部破片	山茶碗系鉢か山茶碗
溝 41	68	焼締陶器・壺		(8.6)	(4.5)					
	69	瓦質土器・鉢				紐積み成形、口縁横撫で。了字形 / 砂粒(長石粒・角閃石多い)多量含む。	在地	15世紀	口縁部破片	荒川

遺構	図版 No.	種別・器種	口径・長 (cm)	底径・幅 (cm)	器高・厚 (cm)	技法 / 文様 / その他	推定生産地	推定年代	残存	備考
本村 5	55	陶器・皿・鉄絵皿		(7.8)	(0.9)	ロクロ成形、削り出し高台 / 長石釉、鉄絵、底部にトチン跡	瀬戸・美濃	17世紀後半	底部破片	本業焼き 3.4
	56	陶器・播鉢				紐積ロクロ成形 / 錆釉	瀬戸・美濃	17世紀前半	口縁部破片	本業焼き 2、3
	57	陶器・播鉢				紐積ロクロ成形 / 錆釉	瀬戸・美濃	1590～1610年代	口縁部破片	大窯 4
	58	陶器・鉢				ロクロ成形 / 白土による刷毛目に鉄釉と緑釉	肥前	1690～1750年代	体部破片	
	59	土器・カワラケ				ロクロ成形 / 胎土粉質	在地		口縁部破片	
	60	土器・カワラケ		7.0	(1.6)	ロクロ成形 / 見込み中央に沈線による渦巻き。赤色粒少量、胎土粉質	在地		底部破片	
	61	土器・カワラケ		6.6	(1.8)	ロクロ成形、回転糸切り / 赤色粒少量、胎土粉質	在地		底部破片	
	62	土器・カワラケ		7.0	(2.0)	ロクロ成形、回転糸切り / 赤色粒少量、胎土粉質 / 内面にタール付着	在地		底部破片	
	63	土器・カワラケ		5.0	(1.0)	ロクロ成形、回転糸切り / 赤色粒多量、胎土粉質	在地		底部破片	
	64	土器・鉢		(6.5)	(1.1)	ロクロ成形、回転糸切り (右)	在地	近世	底部破片	
	65	土器・焙烙	(36.0)	(32.4)	5.6	紐作り成形、口縁部横撫で、体部指頭圧痕 / 細砂粒 (角閃石)、橙色粒子多量。	在地		口縁部破片	
	66	石製品・砥石	(9.1)	3.3	3.5	表裏側 3 面砥面。鑿節状に端部が磨り減る。	凝灰岩			
	67	石製品・砥石	(9.1)	3.2	2.9	表裏側 3 面砥面。鑿節状に端部が磨り減る。	凝灰岩			
	68	石製品・砥石	(5.2)	2.8	2.6	表裏側 4 面砥面。鑿節状に端部が磨り減る。	凝灰岩			
69	石製品・粉挽臼・上臼		(22.2)	9.5	磨耗し溝は無し。上縁欠。	砂岩		1/4以下残存		
70	石製品・板碑	(13.6)	(7.6)	1.8	側縁打ち割り後磨き、裏面平ノミ痕 / 種子か	緑泥片岩		破片		
71	石製品・板碑	(6.4)	(8.6)	1.1	側縁打ち割り後磨き / 「月輪」	緑泥片岩		破片		
72	鉄製品・刀子	5.5	1.1	0.3				刃部欠		
本村 6	73	土器・カワラケ	(11.0)	(6.5)	2.1	ロクロ成形、回転糸切り (右) / 見込み外周及び中央やや凹む。細砂粒 (角閃石)、赤色粒子多量。	在地		1/2以下残存	
	74	陶器・皿・鉄絵皿				ロクロ成形、削り出し高台 / 長石釉、鉄絵、底部にトチン跡	瀬戸・美濃	17世紀前半	底部破片	本業焼き 1
	75	磁器・碗・丸碗				ロクロ成形 / コンニャク印判、染付け	肥前	1750～1770年代	口縁部破片	九州編年 V-2
	76	磁器・碗・丸碗	(8.3)		(3.5)	ロクロ成形 / 染付け	瀬戸・美濃	1810～1860年代	口縁部破片	
	77	磁器・碗・筒碗		(3.5)	(1.3)	ロクロ成形 / 見込みコンニャク印判の五弁花、染付け	肥前	1750～1810年代	底部破片	
	78	磁器・碗		(3.4)	(3.8)	ロクロ成形 / ゴム版、染付け		1920年代～	底部破片	
	79	磁器・小鉢	(8.5)		(4.0)	型打ち成形 / 染付け		近代～	口縁部破片	
	80	石垂	4.5	3.1	0.6					
本村 14	185 図 81	陶器・播鉢		14.0	(6.7)	ロクロ成形 / 鉄釉、備目 10 本以上	益子	近代～	底部破片	「図説江戸考古学研究事典」江戸遺跡研究会編 2001 柏音房
	82	陶器・茶甕				内面に鉄釉		近代～	胴部破片	
本村 15	83	土師器・甕				紐積み成形、口縁横撫で、胴部寛削り / 砂粒多量		古代	口縁部破片	
	84	土器・カワラケ		(4.7)	(1.9)	ロクロ成形、回転糸切り (左) / 赤色粒少量	在地	17世紀後葉	底部破片	
	85	陶器・皿・輪軸皿	(12.4)	(6.4)	2.2	ロクロ成形、削り出し高台 / 灰釉、高台露胎	瀬戸・美濃	1650～1675年代	1/2以下残存	本業焼き 3 期、輪軸皿第 2 型式
	86	陶器・皿・輪軸皿				ロクロ成形 / 灰釉	瀬戸・美濃	17世紀	口縁部破片	
	87	鉄製品・釘	4.1	0.5	0.5	切釘			下端部欠	
本村 19	88	鉄製品・釘	9.0	0.4	0.4	角釘			頭部欠	
本村 21	89	土器・カワラケ		(5.9)	(2.3)	ロクロ成形、回転糸切り / 砂粒 (片岩) 多量	在地		底部破片	
本村 24	90	陶器・皿・緑釉皿	9.6	(4.0)	2.6	ロクロ成形 / 灰釉	瀬戸・美濃	15世紀中葉	口縁部破片	古瀬戸後期 IV 期 1440～1480
	91	陶器・皿・鉄絵皿	(11.1)	(7.2)		ロクロ成形、削り出し高台 / 長石釉、鉄絵、底部にトチン跡	瀬戸・美濃	17世紀後半	底部破片	本業焼き 3.4
	92	陶器? 磁器? 小碗	(7.1)	3.1	3.3	ロクロ成形、削り出し高台 / 灰釉			1/2以下残存	
	93	陶器・灯明受皿		5.0	(1.0)	ロクロ成形 / 灰釉	信楽	19世紀前半	底部破片	
	94	焼締陶器・片口鉢		(8.2)	(4.0)	紐積み成形、縦に寛撫で、底裏砂底 / 内面磨耗	常滑		底部破片	
	95	土器・カワラケ		5.8	(1.9)	ロクロ成形、回転糸切り (右) / 見込み中央に沈線による渦巻き。赤色粒多量、胎土粉質	在地		底部破片	
	96	土器・カワラケ		5.2	(1.5)	ロクロ成形、回転糸切り (右) / 赤色粒多量、胎土粉質	在地		底部破片	
	97	土器・カワラケ		5.8	(1.4)	ロクロ成形、回転糸切り (右) / 胎土粉質	在地		底部破片	
	98	土器・カワラケ		3.8	(1.3)	ロクロ成形、回転糸切り (左) / 細砂粒多量	在地		底部破片	
	99	瓦質土器・鉢		(11.8)	(7.5)	紐積み成形、外面指頭圧痕、内面横撫で / 砂礫粒 (片岩粒等) 含む。 / 内面磨耗	在地		底部破片	
	100	土器・焙烙				紐作り成形、口縁部横撫で / 細砂粒多量。	在地		底部破片	
	101	土器・焙烙				紐作り成形、口縁部横撫で後外面水引 / 細砂粒 (角閃石等) 多量。	在地		底部破片	
	102	石製品・砥石	(6.4)	(2.7)	(1.9)	表裏側 3 面砥面。	凝灰岩			
	103	石製品・砥石	(6.6)	4.1	3.2	表裏側 4 面砥面。中央括れる。	凝灰岩			
104	石製品・粉挽臼・上臼		(29.6)	(5.2)	磨耗し溝は無し。上縁欠。供給口有り。	砂岩		1/4以下残存		
本村 28	186 図 105	磁器・碗・広東碗		(6.8)	(5.6)	ロクロ成形 / 染付け	肥前	1780～1860年代	底部破片	波佐見 V-3.4 おそらく 4.1820～1860
	106	陶器・蓋・土瓶蓋	(11.3)		2.3	ロクロ成形 / イッチン掛けの上に緑褐色透明釉	飯能	19世紀中葉～後葉	1/2以下残存	1832～1887年飯能市教育委員会「飯能の遺跡(27) 飯能焼原窯跡第 1・2 次調査」1999
	107	土製品・芥子面・お多福	2.9	2.2	0.9	型抜き	在地	19世紀後半	完形	
	108	銅製品・不明	(6.5)	0.7	1.7	扁平な筒状製品			端部欠	
	109	鉛・機銃弾	4.6	1.29		鉛、真鍮カバー / 50 口径、施条痕 6 本		20世紀	完形	
	110	鉛・機銃弾	6.0	1.29		鉛、真鍮カバー / 50 口径、施条痕 9 本		20世紀	完形	
	111	陶器・片口鉢	(19.4)		(9.6)	ロクロ成形、方口部分ロクロ成形半裁 / 灰釉	瀬戸・美濃	19世紀前半	1/2以下残存	

遺構	図版No.	種別・器種	口径・長 (cm)	底径・幅 (cm)	器高・厚 (cm)	技法 / 文様 / その他	推定生産地	推定年代	残存	備考	
本村 28	112	土器・カワラケ		4.1	〈0.8〉	ロクロ成形、回転糸切り (右) / 赤色粒多量、胎土粉質	在地		底部破片		
	113	磁器・ミニチュア鍋	3.0	2.2	1.5	型抜き / 灰釉		19世紀～	完形		
	114	陶片・おはじき	1.6	1.6	0.5	陶片を打ち欠き円形に成形					
	115	土製品・模造貨	1.0	1.5	0.3	「文政南寥録二朱判銀」					
	116	石製品・砥石	〈4.8〉	〈1.8〉	2.0	表裏側 3面砥面。	凝灰岩				
	117	石製品・砥石	〈7.5〉	4.3	2.4	表裏側 4面砥面。鏝節状に端部が磨り減る。	凝灰岩				
118	石製品・砥石	〈9.7〉	3.4	3.3	表裏側 3面砥面。	凝灰岩					
本村 31	119	焼締陶器・片口鉢		〈12.2〉	〈7.1〉	紐積み成形、指頭圧痕 / 内面磨耗	常滑		底部破片		
	120	石製品・砥石	〈6.7〉	3.2	2.1	表裏側 4面砥面。	凝灰岩				
	121	石製品・砥石	〈6.1〉	3.5	2.8	表裏側 4面砥面。	凝灰岩				
本村 3	187 図 122	銭貨	(第 19 表参照)					1098		元符通宝	
	123	銭貨					1017		天禧通宝		
	124	銭貨					1098		元符通宝		
	125	銭貨					1368		洪武通宝		
	126	銭貨					1668		寛永通宝		
	127	銭貨							2/3欠		
	128	銭貨					1107		小銭	大観通宝	
本村 4	129	銭貨					1668		寛永通宝		
	130	銭貨					1668		寛永通宝		
	131	銭貨					1714		寛永通宝		
	132	銭貨					1714		寛永通宝		
本村 5	133	銭貨					1107		大観通宝		
本村 6	134	銭貨					1408		永楽通宝		
	135	銭貨					1769		寛永通宝		
本村 14	136	銭貨					1697		寛永通宝		
	137	銭貨					1714		寛永通宝		
本村 15	138	銭貨					1768		寛永通宝		
本村 24	139	銭貨					1228		紹定通宝		
	140	銭貨					1017		天禧通宝		
	141	銭貨					1017		天禧通宝		
	188 図 142	銭貨					621		開元通宝		
	143	銭貨					621		開元通宝		
	144	銭貨					621		開元通宝		
	145	銭貨					976		太平通宝		
	146	銭貨					1009		祥符通宝		
	147	銭貨					1009		祥符元宝		
	148	銭貨					1009		祥符元宝		
	149	銭貨					998		咸平元宝		
	150	銭貨					1078		元豊通宝		
	151	銭貨					1078		元豊通宝		
	152	銭貨					1094		紹聖元宝		
	153	銭貨					1098		元符通宝		
	154	銭貨					1086		元祐通宝		
	155	銭貨					1111		政和通宝		
	156	銭貨					1111		政和通宝		
157	銭貨					1119		宣和通宝			
158	銭貨					1408		永楽通宝			
本村遺跡 3 地点南側 (新井氏)											
189 図 1	1	焼締陶器・片口鉢				紐積み成形、付け高台 / 内面磨耗	常滑	12世紀後半～12世紀前半	底部破片		
	2	焼締陶器・片口鉢				紐積み成形、外面縦撻撫で、底裏砂底 / 内面磨耗	常滑	13世紀後半	底部破片		
	3	陶器・搦鉢				紐積ロクロ成形 / 錆釉	瀬戸・美濃		口縁部破片		
	4	陶器・搦鉢		(9.4)	(3.2)	紐積ロクロ成形 / 錆釉、櫛目 17 本	瀬戸・美濃		底部破片		
	5	陶器・搦鉢		(9.3)	(4.3)	紐積ロクロ成形 / 錆釉、櫛目 13 本	瀬戸・美濃		底部破片		
	6	焼締陶器・甕				紐積み成形、口縁部横撫で	常滑	1175～1190	底部破片	常滑第 3 形式か瀬美	
	7	焼締陶器・甕				紐積み成形、胴部叩き目					
	8	焼締陶器・甕				紐積み成形、胴部内面指頭圧痕 / 内面凹部に黒漆が残る	常滑		胴部破片		
	9	瓦質土器・鉢	(25.9)		(6.9)	紐作り成形、口縁部横撫で / 砂礫粒 (長石粒主) 多量含む。白色粘土がマーブル状に混入。	在地	13世紀後半	口縁部破片		
	10	瓦質土器・鉢	(31.8)		(9.5)	紐作り成形、口縁部横撫で / 砂礫粒 (長石粒主) 多量含む。	在地	14世紀	口縁部破片		
	11	瓦質土器・鉢				紐作り成形、口縁部横撫で / 砂礫粒 (長石粒主) 多量含む。	在地	14世紀	口縁部破片		
	12	土器・焙烙				紐作り成形、口縁部横撫で / 細砂粒多量。	在地	16世紀	口縁部破片		
	13	土器・カワラケ				ロクロ成形、回転糸切り (右) /	在地		底部破片		
	14	磁器・飯茶碗	(11.7)		(3.4)	ロクロ成形 / 銅版絵付け	瀬戸・美濃	1890年代	口縁部破片		
	15	磁器・碗・厚手碗		3.8	(2.1)	ロクロ成形 / 染付。底裏銘有り	肥前	1780～1810年	底部破片	V-2	
	16	磁器・碗・厚手碗		(4.6)	(2.5)	ロクロ成形 / 染付。底裏銘角枠渦福、二重網目文、見込みに花文	肥前	1730～1770年	底部破片	器厚としては波佐見 V-4 の 1820～1860、文様は有田の IV 期の 1700～1780 にある。	

第19表 本村遺跡 遺構別出土銭一覧表

No	地点	遺構	銭種	径 (mm)	重さ (g)	図版番号
1	3	A区ピット1	祥符通寶	24.0	2.34	187 図 122
2	3	A区ピット2	天禧通寶	24.5	2.99	187 図 123
3	3	A区包含層	大観通寶	14.0	0.76	187 図 128
4	3	B区溝北ピット1	祥符通寶	23.5	2.31	
5	3	B区溝北ピット2	元符通寶	23.5	2.41	187 図 124
6	3	C区段切り	洪武通寶	22.5	2.34	187 図 125
7	3	E区溝4	不明元寶	(24.0)	75% 欠	187 図 127
8	3	E区包含層1	寛永通寶	25.0	2.69	187 図 126
9	4		寛永通寶	22.0		187 図 131
10	3	表採	大正14年	19.0		
11	4	溝1・(第六天-1)	咸平元寶	23.0	1.78	177 図 12
12	4	溝1・(第六天-2)	元豊通寶	(24.0)	45% 欠	177 図 13
13	4	溝1・(第六天-3)	寛永通寶	22.8	2.55	177 図 14
14	4	溝1・(第六天-4)	寛永通寶	22.0	2.41	177 図 15
15	4	溝1・(第六天-5)	寛永通寶	22.0	2.55	177 図 16
16	4	溝1・(第六天-6)	寛永通寶	23.0	2.19	177 図 17
17	4	溝1・(第六天-7)	寛永通寶	23.2	2.52	177 図 18
18	4	溝1・(第六天-8)	寛永通寶	23.0	2.14	177 図 19
19	4	溝1・(第六天-9)	寛永通寶	22.8	2.56	177 図 20
20	4	溝1・(第六天-10)	寛永通寶	22.6	2.08	177 図 21
21	4	A区包含層	紹熙通寶	23.8	2.35	
22	4	B区包含層	寛永通寶	24.8	2.62	187 図 130
23	4	H-1	寛永通寶	24.0	2.35	187 図 132
24	4	H-2	寛永通寶	24.8	3.43	187 図 129
25	5	P6	大観通寶	24.0	3.20	187 図 133
26	5	P78	永楽通寶	24.0	1.66	180 図 23
27	6	C区溝10A	永楽通寶	24.8	2.68	187 図 134
28	6	C区H	寛永通寶	27.2	3.47	187 図 135
29	8	21号井戸	皇宋通寶	22.8	2.82	
30	8	C区G4-36	元祐通寶	22.5		
31	8	3号溝G4-36	宣和通寶	(24.0)	65% 欠	
32	8	7号溝	洪武通寶	23.0	1.71	
33	8	3号溝	寛永通寶	23.0	2.61	
34	14	B区18号土坑	開元通寶	24.5	2.12	
35	14	骨片プラン	元豊通寶	25.5	2.29	181 図 1
36	14	A区プラン1	不明	(24.5)	55%	181 図 2
37	14	A区プラン2	不明		25%	
38	14	A区プラン2	不明	25.5	2.98	
39	14	A区耕作土	寛永通寶	22.5	2.34	187 図 137
40	14	B区包含層	寛永通寶	23.5	2.48	187 図 136
41	15	C区北側	寛永通寶	27.5	4.05	187 図 138
42	19	4号地下式墳	政和通寶	24.0	2.12	159 図 11
43	19	7号土坑8	不明	23.0	1.89	
44	19	6号地下式墳	永楽通寶	24.8	(1.63)	159 図 13
45	19	6号地下式墳	紹熙通寶	24.6	1.81	159 図 14
46	19	3号地下式墳	元豊通寶	24.0	2.02	159 図 4
47	19	3号地下式墳	洪武通寶	23.5	2.83	159 図 3
48	24	P73・22号掘立	永楽通寶	24.4	2.26	
49	24	土坑353-A	開元通寶	23.8	3.11	174 図 67
50	24	土坑353-A	開元通寶	24.0	2.40	174 図 68
51	24	土坑353-A	開元通寶	22.8	1.85	174 図 69
52	24	土坑353-A	無文	23.8	1.67	174 図 70
53	24	土坑353-A	無文	23.8	2.51	174 図 71
54	24	土坑353-B	開元通寶	23.8	2.61	174 図 72
55	24	土坑353-B	祥符通寶	24.2	3.34	174 図 73
56	24	土坑353-B	祥符元寶	24.2	3.24	174 図 74
57	24	土坑353-B	洪武通寶	22.8	3.30	174 図 75
58	24	土坑353-B	洪武通寶	22.2	2.42	174 図 76
59	24	土坑353-B	世高通寶	23.2	2.64	174 図 77
60	24	土坑353-C	祥符元寶	24.0	2.34	174 図 78
61	24	土坑353-C	天禧通寶	24.0	2.62	174 図 79
62	24	土坑353-C	天禧元寶	24.0	2.22	174 図 80
63	24	土坑353-C	紹聖通寶	24.0	3.14	174 図 81

No	地点	遺構	銭種	径 (mm)	重さ (g)	図版番号
64	24	土坑353-C	洪武通寶	23.1	3.44	174 図 82
65	24	土坑353-D	鉄銭	(28.0)	2.32	174 図 83
66	24	212	永楽通寶	25.1	2.67	
67	24	214	天禧通寶	(24.2)	45% 欠	
68	24	溝31	洪武通寶	23.0	(1.68)	178 図 47
69	24	90-424	祥符元寶	(22.0)	(1.68)	
70	24	90-42G	紹定通寶	(22.0)	(2.28)	187 図 139
71	24	91-42-1	天禧通寶	24.0	2.21	187 図 140
72	24	91-42-2	不明	(23.2)	破片	187 図 141
73	24	包含層中-1	開元通寶	24.2	3.53	188 図 142
74	24	包含層中-2	開元通寶	23.8	2.67	188 図 143
75	24	包含層中-3	開元通寶	23.9	2.54	188 図 144
76	24	包含層中-4	太平通寶	23.2	2.65	188 図 145
77	24	包含層中-5	天聖通寶	24.0	3.99	188 図 146
78	24	包含層中-6	天禧元寶	23.0	2.69	188 図 147
79	24	包含層中-7	皇宋通寶	23.2	3.82	188 図 148
80	24	包含層中-8	治平元寶	23.2	3.62	188 図 149
81	24	包含層中-9	元豊通寶	23.5	3.66	188 図 150
82	24	包含層中-10	元祐通寶	23.8	3.24	188 図 151
83	24	包含層中-11	元豊通寶	23.8	3.34	188 図 152
84	24	包含層中-12	元符通寶	23.0	3.22	188 図 153
85	24	包含層中-13	政和通寶	23.6	3.63	188 図 155
86	24	包含層中-14	政和通寶	23.2	2.61	188 図 156
87	24	包含層中-15	宣和通寶	23.8	2.66	188 図 157
88	24	包含層中-16	永楽通寶	24.0	3.74	188 図 158
89	24	土坑50	元豊通寶		80% 欠	
90	24	溝A表土	寛永通寶	22.8	2.91	
91	28	424号土坑-1	寛永通寶	25.2	3.34	175 図 93
92	28	424号土坑-2	寛永通寶	24.4	2.81	175 図 94
93	28	424号土坑-3	寛永通寶	25.0	3.77	175 図 95
94	28	424号土坑-4	寛永通寶	23.8	3.00	175 図 96
95	28	424号土坑-5	寛永通寶	24.0	2.52	175 図 97
96	28	424号土坑-6	寛永通寶	25.2	3.44	175 図 98
97	28	425号土坑-1	寛永通寶	24.5	3.72	175 図 101
98	28	425号土坑-2	寛永通寶	24.5	3.01	175 図 102
99	28	425号土坑-3	寛永通寶	25.1	3.43	175 図 103
100	28	425号土坑-4	寛永通寶	25.1	3.74	175 図 104
101	28	425号土坑-5	寛永通寶	25.2	3.81	175 図 105
102	28	425号土坑-6	寛永通寶	24.9	4.35	175 図 106
103	28	426号土坑-1	寛永通寶	25.2	3.44	176 図 109
104	28	426号土坑-2	寛永通寶	25.1	4.20	176 図 110
105	28	426号土坑-3	寛永通寶	24.2	2.52	176 図 111
106	28	426号土坑-4	寛永通寶	24.2	3.81	176 図 112
107	28	426号土坑-5	寛永通寶	24.2	2.98	176 図 113
108	28	426号土坑-6	寛永通寶	24.5	3.81	176 図 114
109	28	426号土坑-7	寛永通寶	24.5	4.29	176 図 115
110	28	426号土坑-8	寛永通寶	24.8	3.78	176 図 116
111	28	426号土坑-9	寛永通寶	25.1	3.80	176 図 117
112	28	426号土坑-10	寛永通寶	25.2	3.39	176 図 118
113	28	426号土坑-11	寛永通寶	25.2	3.46	176 図 119
114	28	426号土坑-12	寛永通寶	25.2	3.84	176 図 120
115	28	426号土坑-13	寛永通寶	25.8	4.85	176 図 121
116	28	426号土坑-14	寛永通寶	25.2	3.31	176 図 122
117	28	427号土坑-1	寛永通寶	23.2	2.57	176 図 124
118	28	427号土坑-2	寛永通寶	24.5	4.24	176 図 123
119	28	427号土坑-3	寛永通寶	24.3	3.87	176 図 125
120	28	427号土坑-4	寛永通寶	24.0	3.26	176 図 126
121	28	427号土坑-5	寛永通寶	25.0		176 図 127
122	28	427号土坑-6	寛永通寶	25.0		176 図 128
123	28	422号土坑-1	念仏銭	24.5	4.52	175 図 89
124	28	422号土坑-2	念仏銭	24.6	4.43	175 図 90
125	28	A区焼土範囲内	永楽通寶	25.1	2.66	181 図 2

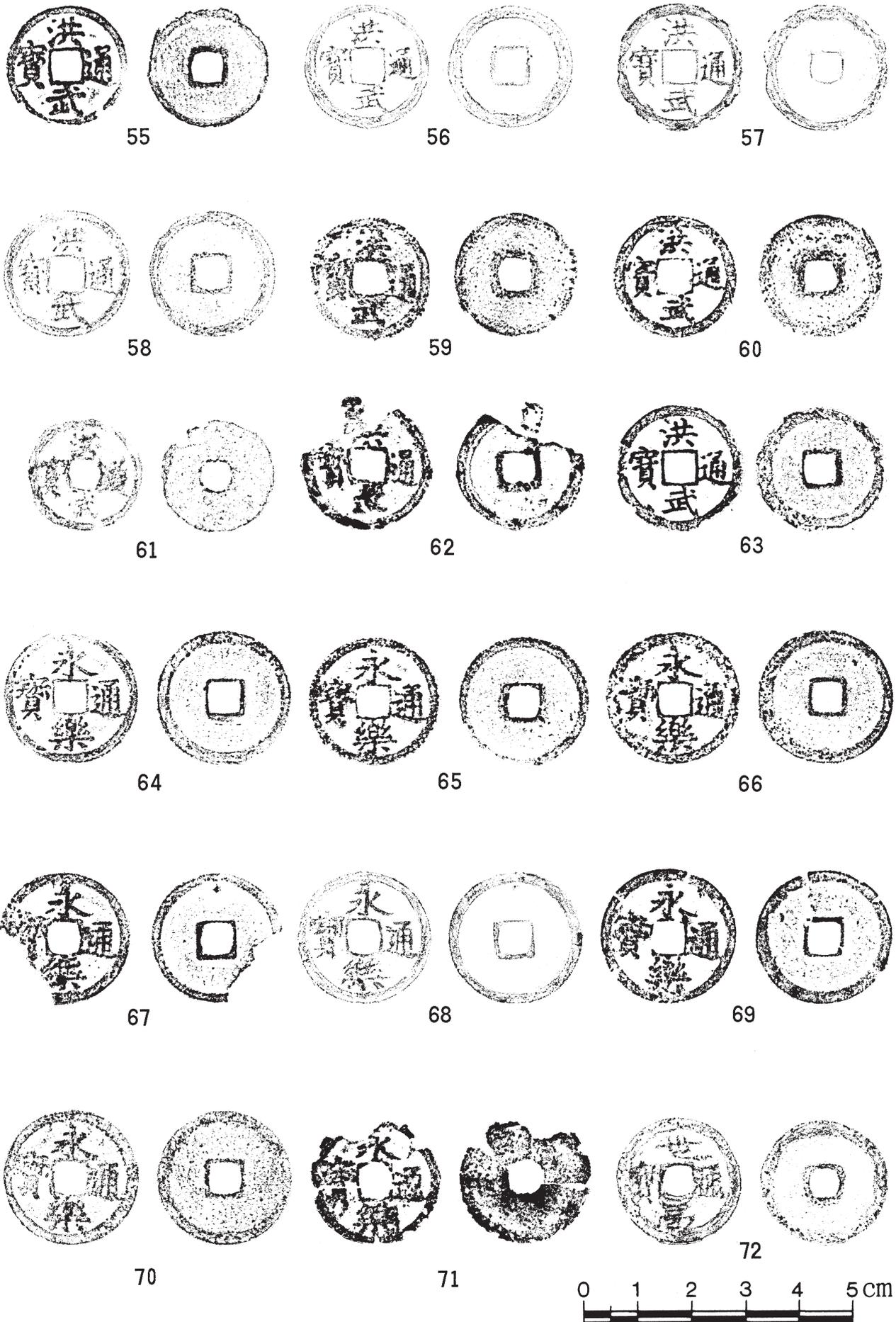
第32表 本村遺跡・大井氏館跡遺跡出土銭一覧表（渡来銭と模鑄銭）

No	地点	遺構	銭種	A	B	c1	d1	c2	d2	厚さ (mm)	重量 (g)	裏面	初鑄年	備考	図版番号
1	本村 24	包含層 1	開元通寶	24.2	6.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	3.63		621	大字 1型チビ	262 図-1
2	本村 24	包含層 2	開元通寶	23.8	6.5	2.0	2.0	1.0	1.0	0.9	2.67	廓抜・型ズレ	621	短頭元 外縁欠有	262 図-2
3	本村 24	包含層 3	開元通寶	23.9	6.0	2.0	2.0	1.0	1.0	0.9	2.54	廓抜・型ズレ	621	短頭元 型チビ緑青多 模鑄	262 図-3
4	大井 6	2号地下式壙	開元通寶	21.6	6.0			0.6	1.0	0.6	1.34	廓抜	960	外区欠く 型崩れ大 薄い 鑄没 鑄写 銭模鑄	262 図-8
5	本村 14	土坑 176	開元通寶	24.5	6.0	1.5	2.0	0.8	1.0	0.8	2.12	廓抜	621	3片 15%欠 もろい青灰白色 鑄写銭 模鑄	262 図-4
6	本村 24	土坑 353-A	開元通寶	23.8	6.0	2.0	2.0	1.0	0.8	0.8	3.11	廓抜	621	型チビ大 模鑄	262 図-6
7	本村 24	土坑 353-B	開元通寶	24.0	6.0	2.0	2.0	0.8		0.6	1.95	廓抜・段抜	621	型チビ 緑青多 模鑄	262 図-7
8	本村 24		開元通寶	22.8	6.0	1~2	2.0	0.6		0.8	1.71	縁抜	621	4片 型崩れ 青灰白色 鑄写銭 模鑄	
9	本村 24	土坑 353-A	開元通寶	23.8	6.5	2.0	2.0	0.8	1.0	1.0	2.67	廓抜	621	裏外区分ナシ 寶下星 緑青多 鑄写銭 模鑄	262 図-5
10	本村 24	包含層 4	太平通寶	23.2	5.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	2.65		976	真書 緑青多 渡来	262 図-9
11	大井 3	6号地下式壙 148-6	至道元寶	22.0	6.0	2.0		0.6	1.0	1.0	2.25	廓・縁抜	995	行書 裏外縁とぶ 鑄放し アバタ 模鑄	262 図-10
12	本村 4	第六天-1	咸平元寶	23.0	6.4	2.0	1.5	0.6	1.0	0.8	1.78	廓・縁抜	998	型崩れ 孔ゆがみ 縁欠け 鑄写銭 模鑄	262 図-11
13	本村 24	土坑 353-B	祥符通寶	24.2	5.8	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	3.44		1009	真書 渡来	262 図-12
14	本村 3	A区ビット1	祥符通寶	24.0	6.5	2.0	3.0	1.0	1.0	0.9	2.34	縁抜	1009	真書 型チビ大 青灰白色 模鑄	262 図-14
15	本村 3	B区溝北ビット1	祥符通寶	23.5	6.0	2.0	1~2	0.8	2.0	1.0	2.31		1009	真書 型チビ 潤縁	262 図-13
16	本村 24	土坑 353-C	祥符元寶	24.2	6.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	3.44	廓抜	1009	文字チビ マネ字 縁一部欠け 鑄写銭 模鑄	262 図-16
17	本村 24	90-424	祥符元寶	(22.0)	6.0			1.0	1.0	0.8	(1.68)		1009	真書 文字孔に付く 青灰白色 鑄写銭 模鑄	
18	本村 24	土坑 353-B	祥符元寶	24.0	5.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	2.34	段不鮮明	1009	真書 型チビ 模鑄	262 図-15
19	本村 3	A区ビット2	天禧通寶	24.5	6.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	2.99		1017	真書 背チビ 縁損傷 鑄没 鑄写銭 模鑄	262 図-17
20	本村 24	土坑 353-C	天禧通寶	24.0	6.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	2.62	廓・縁抜	1017	45%欠 もろく破損 緑青多 青灰白色 模鑄	262 図-18
21	本村 24	包含層 6	天禧通寶	23.0	6.5	2.0	1.5	1.0		1.0	2.69	縁抜	1017	真書 型チビ大 青灰色 模鑄	263 図-24
22	本村 24	214	天禧通寶	24.2	5.5	2.0		1.0	1.0	1.0	45%欠	廓・縁抜	1017	もろい2片 緑青多 粗悪 模鑄	263 図-20
23	本村 24	91-42-1	天禧通寶	24.0	6.0	2.0		0.8		0.8	欠損	縁不整	1017	真書 4片 型崩れ 鑄写銭 模鑄	263 図-19
24	本村 24	土坑 353-C	天禧元寶	24.0	6.5	2.0	1.5	0.8		1.0		廓抜・型ズレ	1017	真書 カエ字 通→元 マネ字 加刀 日本鑄	263 図-21
25	大井 3	6号地下式壙 148-2	天聖通寶	25.1	6.0	2.0	1.0	2.0	0.8	1.0	3.21	廓抜・付着有	1023	篆書 型ズレ 鑄写銭 模鑄	263 図-22
26	本村 24	包含層 5	天聖通寶	24.0	7.0	2.0	2.0	0.6	1.5	1.0	2.99		1023	篆書 2段外縁 模鑄	263 図-23
27	大井 5	6号堀 P 71	天聖元寶	24.2	7.0	2.0	2.4	0.8		1~2		縁抜・アバタ	1023	真書 縁一部欠け 粗悪 模鑄	263 図-25
28	大井 3	6号地下式壙 148-5	景祐元寶	25.2	5.9	2.2	0.7	0.8	1.0	1.0	3.64	廓・縁抜	1034	篆書 型ツブレ 覆輪銭 模鑄	263 図-26
29	本村 8	41号井戸	皇宋通寶	22.8	6.8	1.8	2.0	0.8	0.8	1.0	3.82		1038	真書 小孔有 鑄写銭 模鑄	263 図-27
30	本村 24	包含層 7	皇宋通寶	23.2	6.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	3.82	廓抜・型ズレ	1038	篆書 型ツブレ 銅良質 ?	263 図-28
31	本村 24	包含層 8	治平元寶	23.2	6.5	2.0	3.5	0.6	1.5	1.0	3.62		1064	真書 孔有 緑青若干 渡来	263 図-29
32	大井 5	1号溝 1	熙寧元寶	23.6	7.0	2.0	2.0	0.8	1~2	0.9	2.47	縁段小	1068	篆書 (大里型) 緑青多 渡来?	263 図-30
33	大井 5	1号溝 2	熙寧元寶	23.1	6.8	2.0	2.8	1.0	1~3	0.8	2.29		1068	真書 型崩れ 青灰白色 鑄没 鑄写銭 模鑄	263 図-31
34	大井 8	No1	熙寧元寶	23.1	6.0	2.0	2.2	0.5	2.0	1.0	2.17	片寄る	1068	篆書 型崩れ 大マネ字 細縁 日本鑄	263 図-32
35	本村 4	第六天-2	元豊通寶	(24.0)	6.5	2.5		0.8	2~3	0.8	45%欠	廓抜	1078	篆書 型崩れ 4片 青灰白色 日本鑄	264 図-37
36	本村 14	骨片プラン	元豊通寶	25.5	6.0	2.5	3.0	0.6	1.0	0.9	2.39	広縁	1078	行書 型チビ マネ字 模鑄	263 図-36
37	本村 18	3号地下式壙	元豊通寶	24.0	6.0	2.0	2.0	1.0	2~3	0.9	2.02	縁抜	1078	篆書 型潰 縁一部欠け 孔有 模鑄	263 図-33
38	本村 24	包含層 9	元豊通寶	23.5	7.0	2.0	5.0	0.8	1.5	1.0	3.66	広縁	1078	行書 緑青多 渡来?	263 図-34
39	本村 24	包含層 11	元豊通寶	23.8	7.0	2.0		0.7	1.0	1~2	3.34	縁不鮮明	1078	行書 縁一部欠け 模鑄	263 図-35
40	本村 24	364号土坑 50	元豊通寶		6.5	2.0	1.5	2.0		1.0	80%欠		1078	行書 破片2	266 図-73
41	本村 24	包含層 10	元祐通寶	23.8	7.0	2.0	2.0	0.8	1~4	0.8	2.79	型ズレ	1086	篆書	264 図-40
42	大井 3	6号地下式壙 148-3	元祐通寶	23.0	6.2	2.0	1~2	1.5		1.0	3.04	廓抜	1086	篆書 型潰有 鑄写銭 模鑄	264 図-38
43	本村 8	C区G 4-36	元祐通寶	22.5	6.5	2.5	2.5	0.8	1.0	1.0		不整	1086	篆書 文字加刀 青灰白色 模鑄	264 図-39

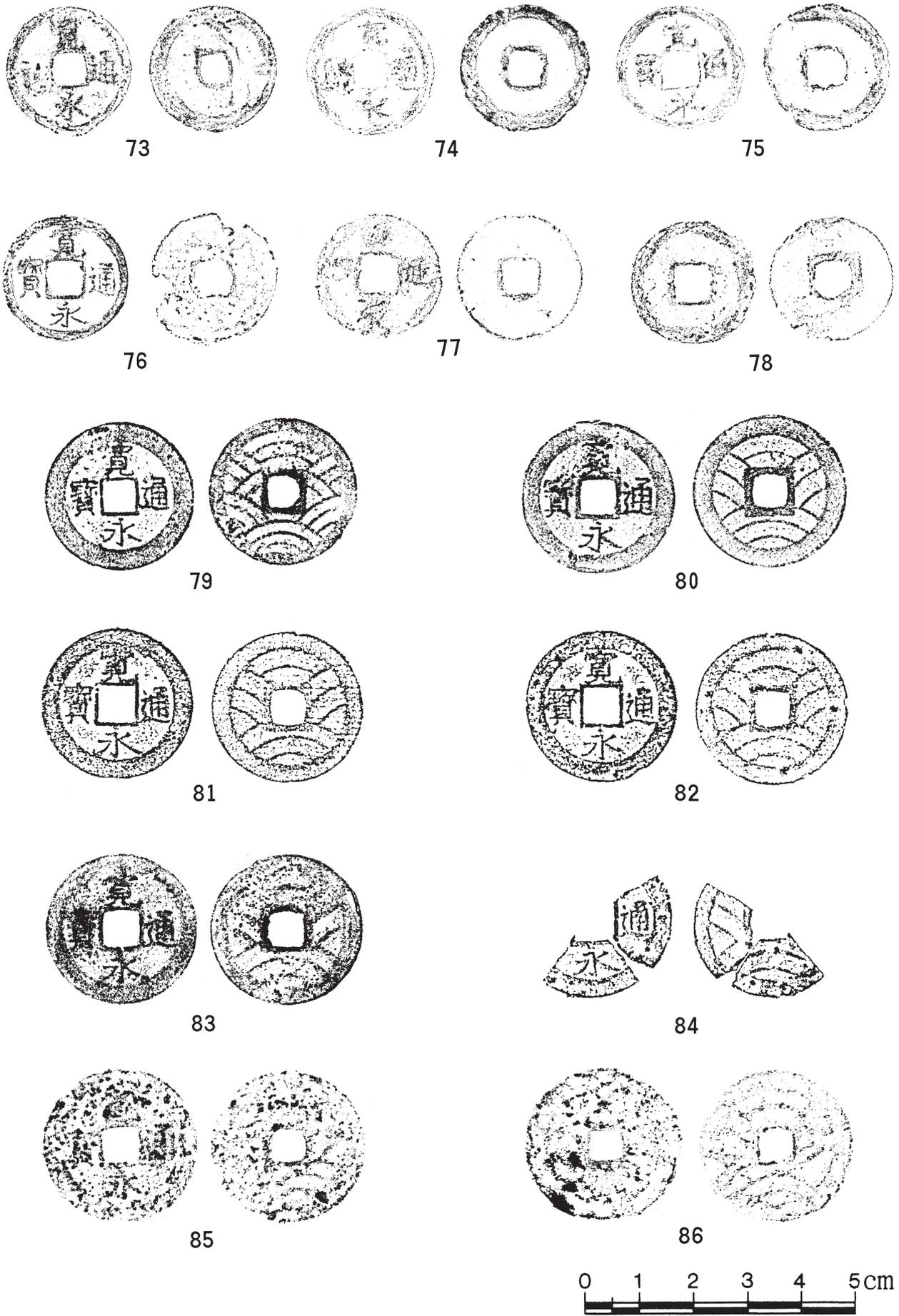
(大井は大井氏館跡遺跡)

No	地点	遺構	銭種	A	B	c1	d1	c2	d2	厚さ (mm)	重量 (g)	裏面	初铸年	備考	図版番号
44	本村 24	土坑 353 - C	紹聖通寶	24.0	5.5	2.0	1 ~ 3	1.0	1 ~ 3	1.0	3.14	型ズレ	1094	行書 マネ字 型チビ大 模铸	264 図 - 42
45	大井 3	6号地下式壙 148 - 4	紹聖元寶	24.6	6.5	2.2	3.0	0.7	2 ~ 3	1.0	2.80	広縁	1094	篆書 型チビ縁 一部欠 模铸	264 図 - 41
46	本村 3	B区溝北ピット 2	元符通寶	23.5	6.0	2 ~ 3		0.8	1 ~ 3	0.8	2.41	広縁・型ズレ	1098	行書 裏孔丸 反有 元加工 铸写銭 模铸	264 図 - 43
47	本村 24	包含層 12	元符通寶	23.0	6.5	2.0	2.0	0.8	1.0	1.0	4.49	不整	1098	行書 型チビ 縁一部欠け 模铸	264 図 - 44
48	本村 5	P 6	大観通寶	24.0	6.0	2.0	2.0	0.5		1.0	3.30	縁抜・アバタ	1107	真書 文字加工 鑄凌 模铸	264 図 - 45
49	本村 3	A区包含層	大観通寶	14.0	3.0	1.5	1.5	0.5	1 ~ 2	0.8	(0.76)	孔ナシ	1107	真書 型ズレ 模造土製品	264 図 - 46
50	本村 19	地下式壙 4	政和通寶	24.0	6.0	2.0		0.8		1.0	2.18	廓・縁抜	1111	分階 ヨジレ有 型チビ 模铸	264 図 - 47
51	本村 24	包含層 14	政和通寶	23.2	6.0	1.8	2.0	0.6	1.0	1.0	2.61	廓・縁抜	1111	分階 型チビ 文字加 范屑残 日本铸	264 図 - 49
52	本村 24	包含層 13	政和通寶	23.6	6.0	2.0	1.5	0.8	1.0	1.0	2.72	型ズレ	1111	篆書 型チビ 模铸	264 図 - 48
53	大井 5	P 102	政和通寶	22 ~ 23	7.0	2.0	2.0	0.8	1 ~ 3	0.8	2.61	アバタ	1111	行書 型チビ著しく判読困難 4片 日本铸	266 図 - 85
54	本村 24	包含層 15	宣和通寶	23.8	6.5	2.0	2.0	1.0	1 ~ 2	1.0	2.66		1119	分階 縁一部欠け 渡来	264 図 - 50
55	本村 8	7号溝 G 4 - 36	宣和通寶	(24.0)	6.5	2.0	2.0	0.8	1.0	1.0	65%欠		1119	篆書 3片 模铸	266 図 - 75
56	本村 19	19号土坑 5	紹熙通寶	24.6	6.0	3.0	1.0	1.0		1.0	1.81	廓・縁抜	1190	篆書 薄い広縁 青灰白色 模铸	264 図 - 51
57	本村 4	A区包含層	紹熙通寶	23.8	6.5	2.5		0.8		0.8	2.35	廓・縁抜	1190	5片 ひずみ 薄い 型崩大 青灰白色 模铸	264 図 - 52
58	本村 24	91 - 42 G	紹定通寶	(22.0)	6.0			1.0	1.0	1.0	(1.48)	縁ナシ	1228	真書 縁欠け有 鑄凌 日本铸	264 図 - 53
59	大井 3	6号地下式壙 148 - 1	皇宋元寶	24.4	6.5	2.0	1 ~ 4	0.8	1 ~ 2	1.0	2.79	五・背ズレ	1253	真書 背五 文字加刀 型チビ 模铸	264 図 - 54
60	大井 5	6号掘立建物	大元通寶	24.0	7.0	2.0	2.5	1.0	1 ~ 2	1.0	3.30		1310		
61	本村 24	207 - 5	洪武通寶	23.1	6.0	2.0	2.0	1.0	1 ~ 2	1.0	3.44		1368	真書 文字鮮明 太字 渡来	265 図 - 55
62	本村 3	C区段切	洪武通寶	22.5	5.5	2.0	2.0	0.5	1.0	1.0	2.34		1368	無背 単点通 細字	265 図 - 56
63	本村 8	7号溝	洪武通寶	23.0	5.5	1.5	2.5	0.8		1.0	2.71	廓抜・型ズレ	1368	真書 鑄放し 模铸	265 図 - 57
64	本村 18	3号地下式壙	洪武通寶	23.5	5.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	2.83		1368	真書 寶下貝・武末ハネナシ 縁青多 模铸	265 図 - 58
65	本村 24	土坑 353 - B	洪武通寶	22.8	5.5	2.0	2.0	1.6	1.5	1.0	3.41	縁段弱	1368	真書 型崩れ 模铸	265 図 - 59
66	本村 24	土坑 353 - B	洪武通寶	22.2	5.5	2.0	1 ~ 2	1.0	1.0	1.0	2.42		1368	真書 3片割 25%欠 青灰白色 模铸	265 図 - 62
67	本村 24	31号溝 309	洪武通寶	23.0	5.5	2.0		1.0		1.0	1.68	廓・縁抜	1368	真書 太字 縁欠有 薄い 日本铸	265 図 - 61
68	大井 6	10号地下式壙	洪武通寶	21.0	5.0	2.0	1.5	0.8	1 ~ 3	0.6	1.55	アバタ	1368	真書 型崩れ 薄い 模铸	265 図 - 60
69	本村 8	低層溝	洪武通寶	23.0	6.0	1.8	2.0	0.8	1.0	1.0	3.44	きず有	1368	真書 鮮明 渡来銭	265 図 - 63
70	本村 24	包含層 16	永楽通寶	24.0	5.6	2.0	2.0	0.6	1.0	1.0	3.74		1408	真書 文字鮮明 渡来	265 図 - 64
71	本村 24	212	永楽通寶	25.1	5.5	2.0	2 ~ 3	0.8	1.0	1.0	2.67	型ズレ	1408	真書	265 図 - 66
72	本村 28	A区焼土	永楽通寶	25.1	5.0	2.0	1.0	2.0	0 ~ 2	1.0	2.76	型ズレ	1408	真書 型崩れ 模铸	265 図 - 70
73	本村 6	C区溝 10 A	永楽通寶	24.8	6.5	2.0	2.0	1.0	1 ~ 2	1.0	2.68	型ズレ	1408	真書 2片型 チビ 模铸	265 図 - 69
74	本村 24	P 73・22号掘立	永楽通寶	24.4	5.5	2.0	2.0	0.8	1.0	1.0	2.26	型ズレ	1408	真書 型チビ若干	265 図 - 65
75	本村 5	P 8	永楽通寶	24.0	5.8	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.66	孔丸・廓抜	1408	真書 3片 縁欠損 型チビ著しい 日本铸	265 図 - 71
76	本村 19	19号土坑 1	永楽通寶	24.8	5.5	2.0	1.5	1 ~ 2	1.0	1.0	(1.63)		1408	真書 一部欠 型崩れ大 青灰白色 日本铸	265 図 - 68
77	本村 24	土坑 353 - B	世高通寶	23.2	5.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	2.74		1461	琉球銭 鑄大 型チビ 渡来	265 図 - 72
78	大井 3	現道下 No1		23.5	6.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.83			無文 文字座チビ 2片 日本铸	266 図 - 79
79	本村 3	E区溝 4	元寶	(24.0)	(6.0)						75%欠	星		篆書 型ツブレ 大・小円孔有 日本铸	266 図 - 74
80	本村 19	7号土坑 8	不明	23.0	6.0	2.0		1.0		0.8	1.89	廓・縁抜		型崩れ大 裏区分チビ 模铸	266 図 - 78
81	本村 14	A区プラン 2	不明	25.5	5.5	2.0	2.0	1.0	1.5	1.0	2.98			青錆化著し 縁青多 寛永通寶 4期? 日本铸	266 図 - 80
82	本村 14	A区プラン 1	不明	24.5	5.0									無文 55%欠 日本铸	266 図 - 83
83	本村 14	A区プラン 2												無文 75%欠 日本铸	266 図 - 82
84	本村 24	91 - 42 - 2	不明	23.2	6.8	2.0		0.8						不明 元寶は確實 文字座有型 チビ著しい 日本铸	266 図 - 81
85	本村 24	205 - 4	無文	23.8	6.5	1 ~ 2		4.0		1.0	2.67	廓・縁抜		文字座のみ 型崩れ大 日本铸	266 図 - 78
86	本村 24	205 - 5	無文	23.8	5.8	1 ~ 2	2.0	0.6		1.0	2.51	廓・縁抜		文字座のみ 型崩れ大 鑄放し 日本铸	266 図 - 76
87	大井 9	5号土坑	無文	(23.0)							60%欠	廓・縁抜		無文 型崩れ大 2片 日本铸	266 図 - 84

No	地点	遺構	銭種	A	B	c1	d1	c2	d2	厚さ (mm)	重量 (g)	裏面	初鋳年	備考	図版番号
44	本村 3	E区包含層	寛永通寶	25.0	6.0	2.2	3.0	0.8	1.5	1.0	2.69		1697	新寛永 3期	269 図 - 44
45	本村 3	E区包含層	寛永通寶	22.0	7.0	2.0	3.0	0.8	1.5		(1.70)		1697	新寛永 3期 外区一部欠	269 図 - 45
46	本村 4	第六天	寛永通寶	23.2	6.5	2.0	2.0	0.8	2.0		2.14		1697	新寛永 3期	269 図 - 46
47	本村 4	第六天	寛永通寶	23.0	6.5	2.0	2.0	1.0	1.5		2.56		1697	新寛永 3期	269 図 - 47
48	大井 5	18 D 1	寛永通寶	25.0	6.5	3.0	3.0	1.0	1 ~ 2	1.0			1697	新寛永 3期	269 図 - 48
49	大井 5	18 D 2	寛永通寶	22.5	6.0	2.0	3.0	1.0	2 ~ 3	1.0			1714	新寛永 4期	269 図 - 49
50	大井 5	18 D 3	寛永通寶	22.0	7.0	1.5	2.0	1.0	1 ~ 2	1.0			1714	新寛永 4期	269 図 - 50
51	大井 5	18 D 4	寛永通寶	22.0	8.0	1.5	2 - 3	1.0	1 ~ 2	1.0			1714	新寛永 4期	269 図 - 51
52	大井 5	18 D 5	寛永通寶	24.0	6.5	2.0	2.5	1.0	2.0	1.0			1697	新寛永 3期	269 図 - 52
53	大井 5	18 D 6	寛永通寶	24.0	6.5	2.5	2 - 3	1.0	2.0	1.0			1697	新寛永 3期	269 図 - 53
54	大井 5	18 D 7	寛永通寶	23.0	6.5	2.0	2.5	1.0	2.0	1.0			1714	新寛永 4期	269 図 - 54
55	本村 14	A区耕作土	寛永通寶	22.5	6.0	2.0	2.0	1.0	1.5	1.0	2.34	元	1741	新寛永 4期 高津銭	270 図 - 55
56	本村 14	B区包含層	寛永通寶	23.5	5.5	2.0	2.5	0.8	1.5	0.8	2.48		1668	新寛永 3期	270 図 - 56
57	本村 14	C区北側	寛永通寶	27.5	5.5	3.5	2.0	0.8	1.2	1.0	4.05	21波	1768	新寛永 4期 青銭	271 図 - 79
58	本村 24	溝A表土	寛永通寶	22.8	5.6	2.0	3.0	1.0	1 ~ 2	1.0	2.91		1714	新寛永 4期	270 図 - 71
59	本村 6	C区H	寛永通寶	27.2	6.8	3.0	3.0	1.0	1.5	1.0	3.47	11波	1769	新寛永 4期	271 図 - 81
60	本村 28	427号土坑	寛永通寶	23.2	6.0	2.0	3.0	0.8	1.5	1.0	2.51		1697	新寛永 3期	270 図 - 59
61	本村 28	427号土坑	寛永通寶	24.5	6.0	2.5	3.0	0.6	1 ~ 2	1.0	3.98		1697	新寛永 3期	270 図 - 62
62	本村 28	427号土坑	寛永通寶	24.3	5.8	2.0	2.5	0.6	1.2	1.0	3.37		1697	新寛永 3期	270 図 - 59
63	本村 28	427号土坑	寛永通寶	24.0	6.0	2.0	2.5	0.8	1.0	1.0	2.55		1714	新寛永 4期	270 図 - 61
64	本村 28	427号土坑	寛永通寶	23.1	6.0	2.0	3.0	0.6	1 ~ 2	1.0	2.66		1714	新寛永 4期	270 図 - 68
65	大井 3	1号地下式壙上層	寛永通寶	23.1	6.0	2.0	2.0	1.0	1.5	1.0	1.84		1697	新寛永 3期	270 図 - 69
66	大井 3	3号土坑 44	寛永通寶	23.9	6.5	2.0	2.0	0.6	1.0	1.0	2.45		1697	新寛永 3期	270 図 - 70
67	大井 5	B区No 7	寛永通寶	28.1	9.0	5.0	5.0	1.5	2.0	1.0	3.77	11波	1769	新寛永 4期	271 図 - 80
68	大井 5	1住近く	寛永通寶	22.0									1714	新寛永 4期	270 図 - 72
69	大井 5	P 220 近く	寛永通寶	21.0									1714	新寛永 4期	271 図 - 73
70	大井 5	P 220 近く	寛永通寶	22.0											
71	大井 5	P 220 近く	寛永通寶	28.0	7.0					3.8		11波	1769	新寛永 4期	271 図 - 82
72	大井 5	P 220 近く	寛永通寶	24.0											
73	大井 5	P 220 近く	寛永通寶	28.0								11波	1769	新寛永 5期 半欠	271 図 - 84
74	本村 5	P 261	寛永通寶	25.0									1668	中寛永 2期	
75	本村 5	P 261	寛永通寶	22.0											
76	本村 5	2号地下式壙	寛永通寶	22.0									1697	新寛永 3期	
77	本村 5	P 263 近く	寛永通寶	23.0											
78	本村 5	H	寛永通寶	28.0	7.0							11波	1769	新寛永 5期	271 図 - 83
79	本村 5	152 D	寛永通寶	23.0											
80	本村 5	152 D	寛永通寶	24.0											
81	本村 5	148 D	寛永通寶	22.0											
82	本村 5	152 D	寛永通寶	24.0									1668	中寛永 2期B	
83	大井 5		寛永通寶	28.1	7.0							11波	1769	新寛永 5期 鑄崩れ	271 図 - 85
84	大井 5	148 D	寛永通寶	28.0	7.0						3.78	11波	1769	新寛永 5期	271 図 - 86
85	本村 28	422 D - 1	念佛銭	24.5	5.0	2.8	2.5	0.8	1.5	2.0	4.52			南無阿弥陀佛 精良	174 図 - 89
86	本村 28	422 D - 2	念佛銭	24.6	5.0	2.8	2.5	0.8	1.5	2.0	4.63			南無阿弥陀佛 精良	174 図 - 90



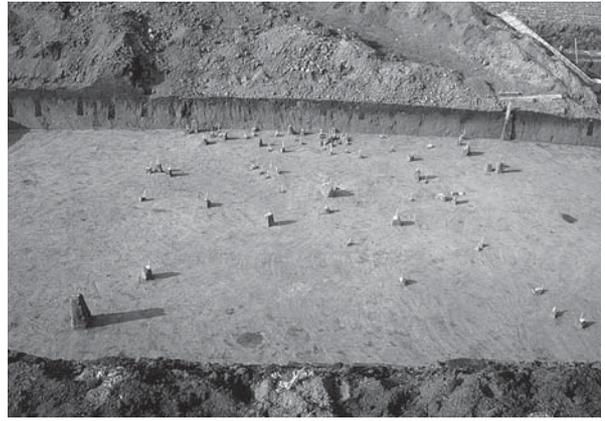
第 265 図 明銭（模鑄銭含む）・琉球銭 1（1 / 1）



第 271 図 寛永通宝 No73 ~ 86 (1 / 1)



第2地点 旧石器出土状況



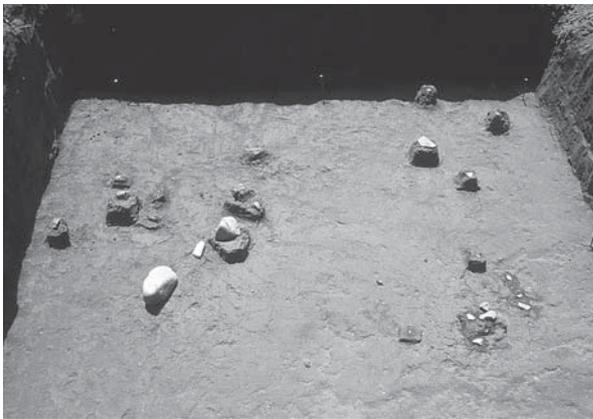
第2地点 旧石器出土状況 (石器群 2・2号礫群) (北より)



第6地点 5号礫群



第6地点 石器群 4 出土状況



第6地点 石器群 4 出土状況



第19地点 6号礫群出土状況 (西より)



第19地点 6号礫群



第24地点 7号礫群



第2地点 縄文1号集石 (西より)



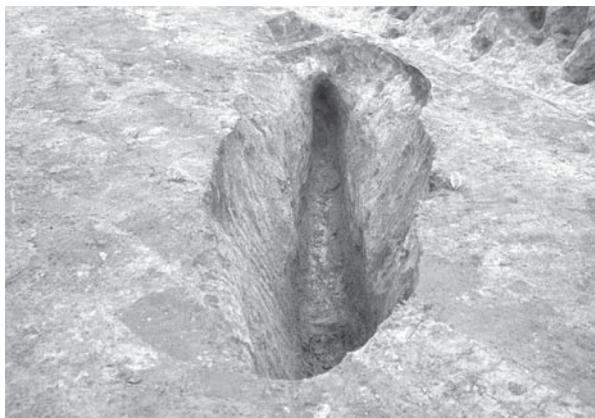
第2地点 縄文1号土坑



第2地点 縄文2号土坑 (西より)



第2地点 縄文5号土坑



第6地点 縄文7号土坑



第6地点 縄文6号土坑 (南より)



第15地点 縄文10号おとし穴 (東より)



第15地点 縄文11号おとし穴 (東より)



第3地点 土坑群 (北より)



第3地点 土坑の切りあい



第3地点 土坑33 (発見時)



第6地点 土坑158



第5地点 C区遺構群



第5地点 C区遺構群 (北より)



第5地点 C区遺構群 (東より)



第5地点 遺構群



第6地点 7号溝 (西より)



第3地点 埋没河川



第6地点 3号溝 (東より)



第14地点 13号溝 (北より)



第14地点 13号溝 (西より)



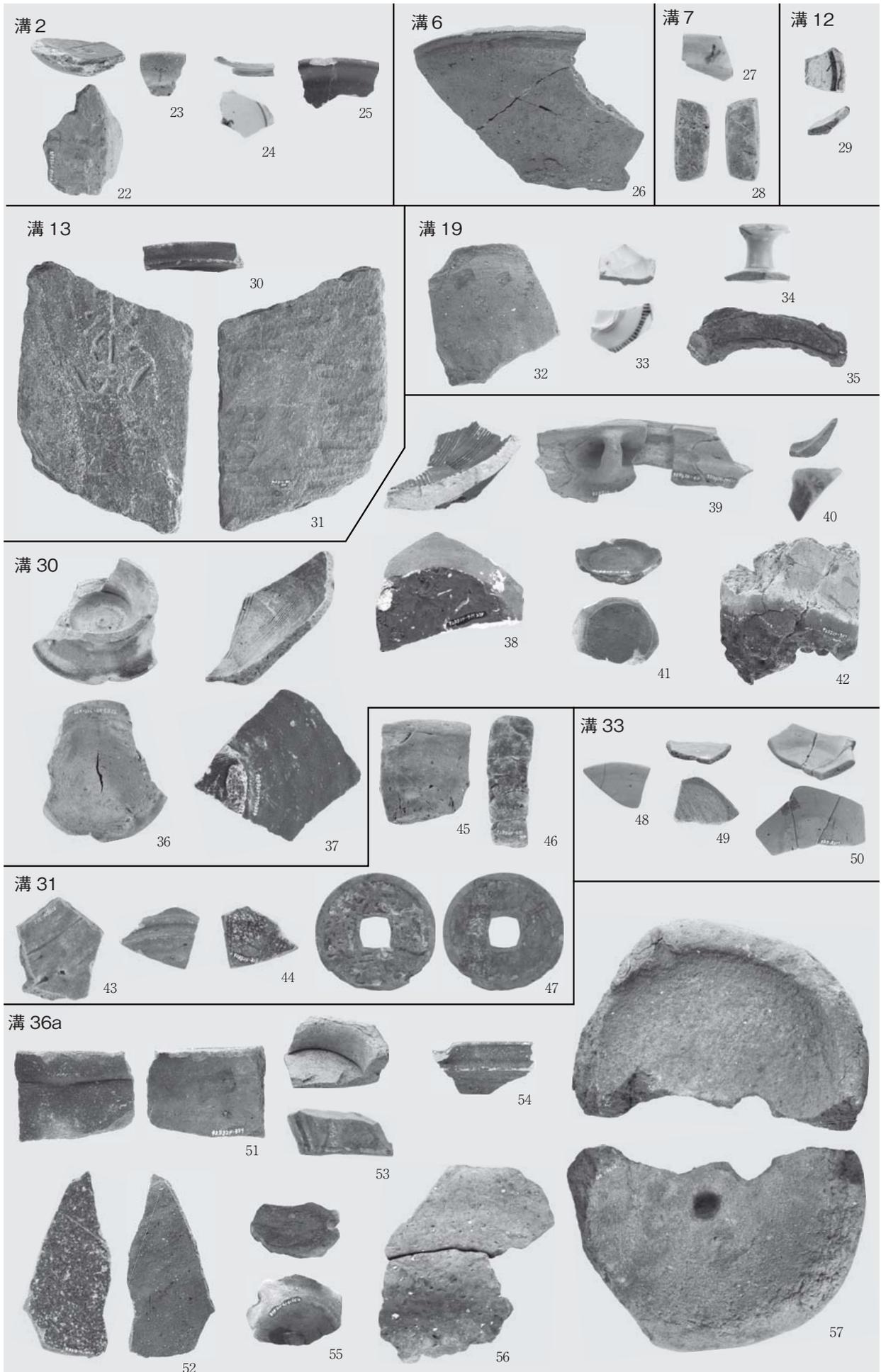
第14地点 13号溝 (西より)



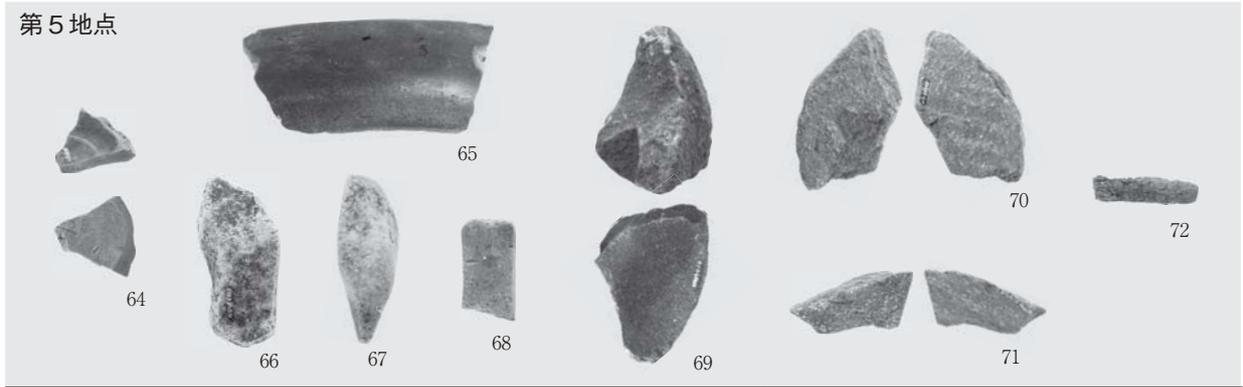
第14地点 12号溝 (西より)



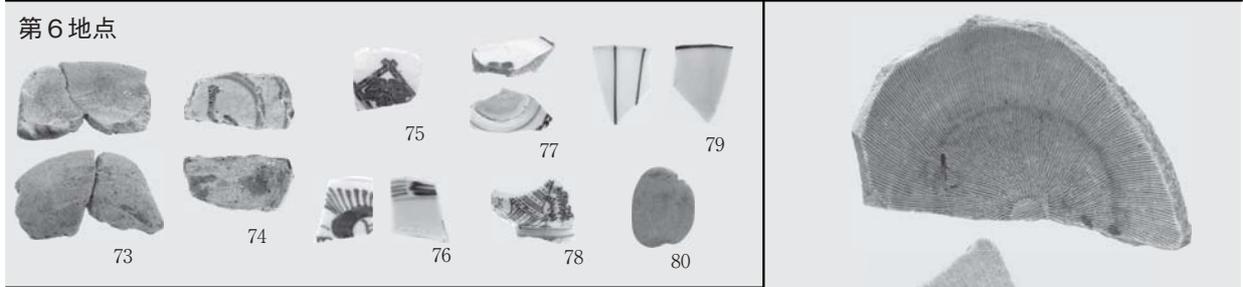
第14地点 19号溝プラン (西より)



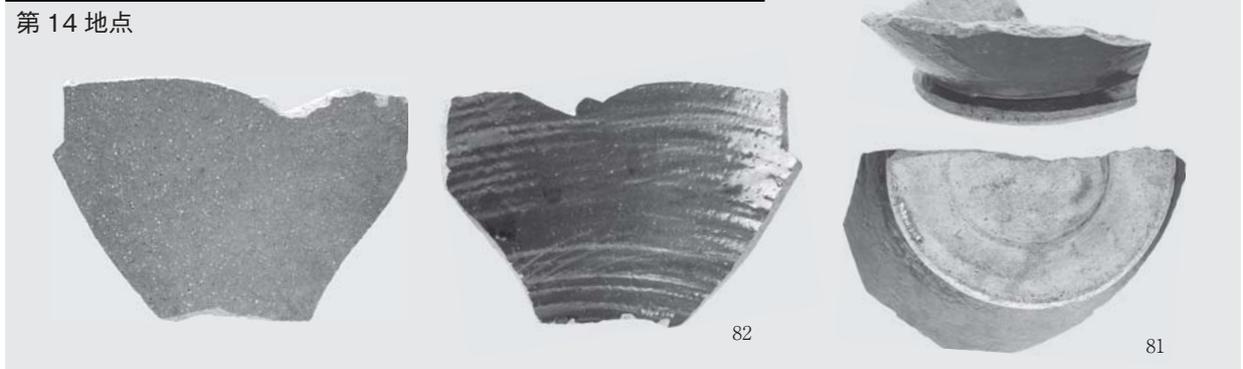
第5地点



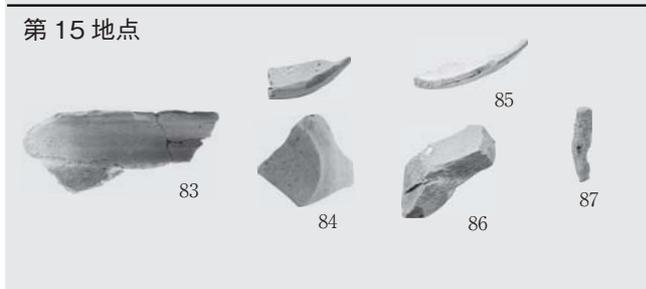
第6地点



第14地点



第15地点



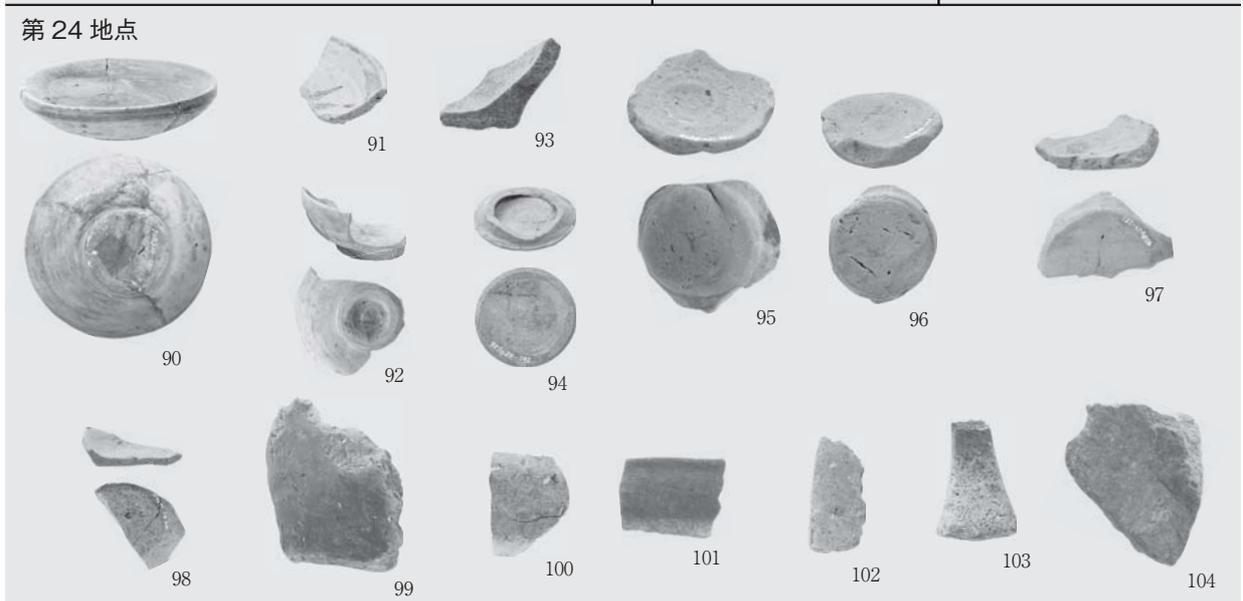
第19地点



第21地点



第24地点



第6地点



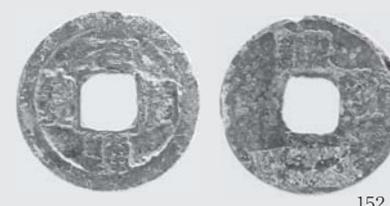
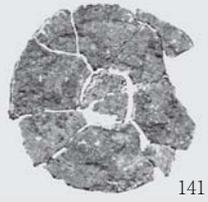
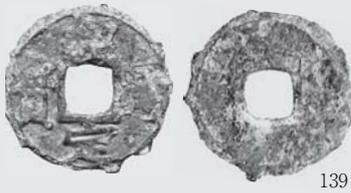
第14地点



第15地点



第24地点



本村遺跡出土遺物集計表

出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
本村2地点						
本村2-A区	旧石器	18				
	常滑	1	鉢	1		
	土器	19	壺	1		
			カワラケ	13		
			焙烙	5		
	近世陶器	2	瀬戸・美濃	2		
縄文土器	10					
合計	50					
本村2-B区	瀬戸・美濃	1	天目	1		
	近世陶器	1	瀬戸・美濃	1		
	土器	14	カワラケ	10		
			焙烙	3		
			不明	1		
	金属遺物	1	鉄滓	1		
	縄文土器	7				
合計	24					
本村2-C区	土器	6	鉢	1		
			カワラケ	4		
			焙烙	1		
	瓦	1				
縄文土器	2					
合計	9					
本村2-D区	旧石器	3				
	縄文土器	1				
合計	4					
本村2-E区	近世磁器	1	肥前・磁器	1		
	合計	1				
本村2-F区	常滑	1	甕	1		
	土器	11	カワラケ	7		
			不明	3		
			植木鉢	1		
	近世陶器	3	瀬戸・美濃	3	鉢	1
					皿	1
	不明	1				
縄文土器	5					
合計	20					
本村2地点一括	石製品	2	板碑	2		
	常滑	2	甕	2		
	瀬戸・美濃	3	天目	1		
			皿	2		
	土器	20	カワラケ	10		
			焙烙	4		
			土師器	5		
			鉢	1		
			近世陶磁器	35	肥前・陶器	1
	肥前・磁器	7	碗	5		
	皿	1				
	その他	1				
	瀬戸・美濃	8	皿	6		
	碗	2				
	信楽	1	灯明皿	1		
	その他	18				
	土製品	3	泥面子	1		
その他	2					
金属遺物	1	簪	1			
石器	2					
縄文土器	6					
合計	74					
本村3地点						
地下式墳1	常滑	1	鉢	1		
	合計	1				
井戸2	瀬戸・美濃	1	播鉢	1		
	石製品	2	砥石	1		
			石臼	1		
	土器	2	カワラケ	2		
合計	5					
井戸3	石製品	1	石臼	1		
	金属遺物	1	刃子	1		
	合計	2				
井戸4	常滑	1	甕	1		
	瀬戸・美濃	1	皿	1		
	土器	3	カワラケ	2		
			焙烙	1		
	石製品	6	板碑	3		
石臼	2					

出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
			砥石	1		
	合計	11				
井戸5	瀬戸・美濃	1	播鉢	1		
	石製品	4	板碑	3		
			石臼	1		
	合計	5				
井戸6	常滑	3	甕	3		
	合計	3				
井戸7	常滑	6	鉢	6		
	土器	5	鉢	5		
	石製品	1	砥石	1		
	合計	12				
井戸8	金属遺物	2	釘	2		
	合計	2				
井戸10	土器	1	カワラケ	1		
	石製品	2	砥石	1		
			板碑	1		
	合計	3				
井戸13	石製品	1	板碑	1		
	合計	1				
井戸14	石製品	1	板碑	1		
	合計	1				
井戸15	常滑	1	甕	1		
	石器	1				
	合計	2				
井戸17	常滑	1	甕	1		
	合計	1				
井戸18	瀬戸・美濃	1	碗	1		
	合計	1				
井戸19	常滑	1	鉢	1		
	合計	1				
井戸20	石製品	4	板碑	4		
	合計	4				
土坑8	近世陶器	1	瀬戸・美濃	1	皿	1
	合計	1				
土坑33	常滑	22	甕	15		
			鉢	7		
	瀬戸・美濃	3	皿	1		
			播鉢	2		
	備前	1	鉢	1		
	土器	9	鍋	1		
			鉢	6		
			壺・甕	2		
	石製品	18	石臼	6		
			板碑	10		
			砥石	2		
	近世磁器	1	肥前	1		
	石器	1				
合計	55					
土坑38	瀬戸・美濃	1	播鉢	1		
	合計	1				
土坑57	瀬戸・美濃	1	播鉢	1		
	合計	1				
土坑65	常滑	1	甕	1		
	合計	1				
土坑77	常滑	1	鉢	1		
	金属遺物	2	釘	2		
	合計	3				
土坑84	土器	1	カワラケ	1		
	合計	1				
土坑89	土器	1	須恵器	1	壺	1
	合計	1				
土坑100	金属遺物	1	鉄砲弾	1		
	合計	1				
土坑101	瀬戸・美濃	1	壺	1		
	合計	1				
土坑114	貿易陶磁器	1	青磁	1		
	合計	1				
土坑120	土器	2	カワラケ	2		
	合計	2				
土坑125	土器	1	カワラケ	1		
	石製品	1	砥石	1		
	合計	2				
土坑126	土器	1	須恵器	1	蓋	1
	合計	1				
溝32	石製品	1	板碑	1		
	合計	1				

出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
	合計	2				
ピット2	土器	2	カワラケ	2		
	合計	2				
ピット3	土器	6	カワラケ	5		
			その他	1		
	合計	6				
ピット4	土器	2	カワラケ	2		
	合計	2				
ピット5	土器	1	カワラケ	1		
	合計	1				
本村5-B区	常滑	1	鉢	1		
	土器	5	鍋	2		
			カワラケ	2		
			焙烙	1		
	近世磁器	3	肥前・磁器	2	皿	2
			瀬戸・美濃	1	碗	1
	近世陶器	1	瀬戸・美濃	1		
	瓦	1	瓦	1		
	金属遺物	3	鉄製品	3		
	合計	14				
本村5-C区	貿易陶磁器	1	白磁	1		
	常滑	4	甕	4		
	瀬戸・美濃	10	皿	6		
			播鉢	4		
	土器	38	カワラケ	30		
			鍋	1		
			鉢	1		
			焙烙	6		
	近世磁器	10	肥前・磁器	6	皿	2
					碗	2
					その他	2
			瀬戸・美濃磁器	4	碗	1
					その他	3
	近世陶器	6	瀬戸・美濃	6	皿	5
					鉢	1
	瓦	1	瓦	1		
	土製品	1	泥面子	1		
	金属遺物	3	鉄片	1		
			鉄刃子	1		
			釘	1		
	縄文土器	2				
	合計	76				
5地点遺構外一括	土器	1	カワラケ	1		
	近世磁器	4	肥前・磁器	3		
			瀬戸・美濃磁器	1		
	近世陶器	1	瀬戸・美濃	1		
	石製品	8	板碑	4		
			石臼	1		
			砥石	3		
	銭貨	1				
	合計	15				
本村6地点						
土坑155	近世磁器	5	肥前・磁器	2	皿	1
					碗	1
			瀬戸・美濃磁器	3	碗	1
					その他	2
	合計	5				
溝2	貿易陶磁器	1	青磁	1		
	土器	1	カワラケ	1		
	近世陶磁器	2	備前・磁器	1		
			瀬戸・美濃陶器	1		
	合計	4				
溝6	常滑	1	片口鉢	1		
	合計	1				
溝7	近世陶器	1	瀬戸・美濃	1	碗	1
	石製品	1	砥石	1		
	合計	2				
6地点一括	旧石器	33				
	貿易陶磁器	1	青磁	1		
	常滑	3	甕	1		
			鉢	2		
	瀬戸・美濃	2	天目	1		
			皿	1		
	土器	14	カワラケ	7		
			焙烙	5		
			鍋	1		
			鉢	1		
	近世磁器	10	肥前・磁器	10	碗	7
					皿	2
					その他	1
	近世陶器	4	瀬戸・美濃	3	皿	1
					その他	2

出土地点	種別	数	器種	数	細分名	数
			肥前・陶器	1	皿	1
	石製品	2	砥石	1		
			板碑	1		
	金属遺物	1	鉄塊	1		
	縄文土器	3				
	銭貨	2				
	合計	75				
本村14地点						
土坑279	土器	1	カワラケ	1		
	近世陶器	2	瀬戸・美濃	2	碗	1
					その他	1
	合計	3				
土坑286	土器	4	カワラケ	1		
			焙烙	3		
	合計	4				
土坑289	瀬戸・美濃	1	皿	1		
	石製品	1	砥石	1		
	合計	2				
井戸49	石製品	2	板碑	2		
	合計	2				
井戸50	瀬戸・美濃	1	播鉢	1		
	土器	1	焙烙	1		
	近世陶器	2	瀬戸・美濃	2	茶壺	1
					その他	1
	石製品	2	板碑	2		
	瓦	2				
	合計	8				
溝12	近世陶器	1	瀬戸・美濃	1	その他	1
	合計	1				
溝13	常滑	1	甕	1		
	石製品	2	板碑	2		
	合計	3				
溝19	常滑	1	鉢	1		
	土器	2	カワラケ	2		
	近世陶器	2	瀬戸・美濃	2	鉢	1
					その他	1
	近世磁器	9	瀬戸・美濃	8	碗	6
					その他	2
			肥前	1	その他	1
	瓦	2				2
	金属遺物	1	カマ	1		
	合計	17				
ピット10	常滑	1	甕	1		
	合計	1				
骨片・焼土範囲	銭貨	2				
	合計	2				
14地点一括	瀬戸・美濃	1	播鉢	1		
	貿易陶磁	1	青磁	1		
	土器	8	カワラケ	3		
			焙烙	5		
	近世陶器	5	瀬戸・美濃	5	皿	2
					茶壺	3
	近世磁器	1	瀬戸・美濃	1	碗	1
	瓦	2				
	縄文土器	1				
	銭貨	3				
	合計	22				
本村15地点						
井戸51	土器	2	カワラケ	2		
	石製品	1	板碑	1		
	合計	3				
井戸53	常滑	2	甕	1		
			鉢	1		
	合計	2				
井戸54	常滑	2	甕	2		
	石製品	1	砥石	1		
	合計	3				
井戸55	常滑	1	鉢	1		
	石製品	2	砥石	2		
	合計	3				
井戸56	常滑	2	甕	2		
	合計	2				
井戸57	常滑	2	甕	1		
			鉢	1		
	土器	1	内耳鍋	1		
	石製品	1	板碑	1		
	縄文土器	2				
	合計	6				
井戸58	常滑	2	甕	2		
	土器	4	鉢	1		
			焙烙	3		
	合計	6				